

第七十三回帝國議會
衆議院

商法中改正法律案外二件委員會會議錄(速記)第十回

付託議案
商法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
商法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
有限會社法案(政府提出、貴族院送付)

會議

昭和十三年三月十五日(火曜日)午前十時十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野村 嘉六君

理事西田 郁平君 理事仲井間宗一君

理事宮崎 一君

一松 定吉君 內藤 正剛君

池田 清秋君 田村 秀吉君

原 玉重君 山本 条吉君

川副 隆君 江原 三郎君

金澤 正雄君 松本 弘君

森 榮藏君 中野 治介君

佐竹 晴記君 菊地養之輔君

田川大吉郎君

出席政府委員左ノ如シ

司法省民事局長 大森 洪太君

司法省刑事局長 松阪 廣政君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

商法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○野村委員長 是ヨリ開會致シマス、第七

節會社整理

○大森政府委員 第七節會社ノ整理ハ全ク

新設ノ規定デアリマス、新設致シマシタ其趣旨ニ付キマシテハ、包括的説明ノ際ニ申述ベタノデアリマスルガ、御承知ノ通りニ會社ガ營業上蹉跌ヲ致シマシテ、窮境ニ陥リマシタ場合ニハ、從來事實上整理ト稱シマシテ、會社ノ債權債務ノ處理ト云フモノ

ガ行ハレテ居タノデアリマス、然ルニ此所謂整理ナルモノハ現行法ニハ全ク規定ガナカッタモノデアリマスルカラ、事實上ノ問題デアリマシテモ、法律上ノ力ガ全ク之ニ加ッテ居ナカッタノデアリマス、所ガ其實際ノ成績ヲ見マスルト、斯様ナ場合ニ最モ必要ナ

マス、然ルニ右申シマシタ通りニ、法律上ノ力ガナイモノデアリマスルカラ、此保全ノ處分ガ出來ナイノデアリマス、又委員トシテ整理ニ出テ來マスル人モ事實上ノ問題トシテ之ニ携ルダケデ、何等法律上ノ保障ガナイノデアリマスルカラ、思ヒ切ッタコト

ガ出來ナイノデアリマス、又無責任ニ流レ

ルト云フ弊害モ少クハナカッタノデアリマス、斯様ニ致シマシテ多クノ場合ニハ、此整理ヲ重ネテ居リマスル間ニ、却テ財産ノ減少ヲ來シマシテ、ソレガ已ムラ得ズ破産ニナッテシマヒマスル場合ニ、破産財産ガ極メテ少イ、多數ノ債權者ガ非常ナ迷惑ヲ被

ルト云フコトハ、比々皆然ル狀態デアッタノデアリマス、ソレデ現行規定ノ最モ重大ナ缺陷ト言フベキハ、成程會社ガ破産ニナッテシマヘバ、是ハ問題ハナイノデアリマス

ルガ、破産ノ一步前若クハ數歩前ニ會社ノ財産ノ散逸ヲ防イデ、債權債務ノ處理ヲスルト云フコトガ最モ必要デアリ、又會社ニ更生ノ機會ガアルナラバ更生セシムルト云フコトガ、固ヨリ必要デアリマスルガ、是等ニ付テ全ク規定ガナカッタノデアリマス、此事弊ニ鑑ミマシテ會社ノ整理ト云フ節ヲ

情ニ依リマシテ、支拂不能又ハ債務超過ニ

陥ルノ虞アル場合デアリマス、又會社ノ支拂不能又ハ債務超過ノ疑アリト認メラル、場合モ同様デアリマス、是ハ支拂不能又ハ債務超過ニナッテシマヒマスレバ、破産ノ事由デアリマスカラ、ソレ迄ニ行カナイ場合

ノコトデアリマス、サウシテ此申立ヲ爲シ得ル者ハ取締役、監査役、少數株主、ソレカラ一定額以上ノ債權者デアリマス、サウシテ此手續ヲ掌リマス裁判所ハ、會社本店ノ所在地ヲ管轄スル司法裁判所デアリマスルガ、其事ハ非訟事件手續法ニ詳細規定スル積リデアリマス、併シ此案トシテハ司法裁判所主義デ進ム積リデアリマス、是ガ第一項デアリマス、第二項ハ會社ニ付テ監督官廳ノ

アル場合デアリマス、例ヘバ銀行デ申シマスト大藏省、ソレカラ保險會社デ申シマスト商工省ト云ツヤウナ例デアリマス、斯様ナ監督官廳ハ會社ガ蹉跌ニ瀕シマシタ場合ニ、裁判所ニ其旨ノ通告ヲスルコトガ出來ル、此通告ヲ受ケマスルナラバ、裁判所ハ職權ヲ以テ整理開始ヲ命ズルコトガ出來ルト

茲ニ新設致シタ次第デアリマス、以下順次申述ベテ參リタイト思ヒマス、第三百八十一條ハ裁判所ニ整理開始ノ申立ヲ爲シ得ルコトヲ明ニシタノデアリマス、整理開始ヲ裁判所ガ命ジマスルノハ會社ノ現況其他事

第六類第十號 商法中改正法律案外二件委員會會議錄 第十回 昭和十三年三月十五日

云フコトニ致シマシタ、即チ是等ノ監督官廳ハ、申立ノ權利ハナイノデアリマスルケレドモ、裁判所ニ通告ヲ致シマシテ、其通告ニ基キマシテ、裁判所ガ職權ヲ以テ發動スルト云フコトニ致シマシタ、是ガ第二項デアリマス、然ルニ斯様ナ整理開始ノ申立ガ、又他面ニ於テ考ヘマスルト會社荒シ、會社恐喝ノ用ニ供セラレルト云フコトモ考ヘナケレバナリマセヌカラ、申立ガ權利ノ濫用其他不當ノ目的ニ出ヅルモノト認ムルナラバ、裁判所ハ其申立ヲ却下スベキモノデアルト云フコトヲ第三項デ明ニ致シマシタ、第三百八十二條ハ整理開始ヲ命ジマシタ場合ノ登記デアリマシテ、此會社ガ整理開始ノ命令ヲ受ケテ居ルト云フコトヲ、一般ニ知ラシメル必要ニ出デタモノデアリマス、第三百八十三條ハ此整理手續ト破産、和議、強制執行等ノ手續トノ相互ノ關係ヲ規定シタモノデアリマス、第一項ハ整理開始ノ申立又ハ通告ガアリマシテ、マダ命令ヲ出ス前ノ間ニ於ケル關係デアリマス、其場合ニ於テ裁判所ガ必要アリト認メマスルナラバ、破産及ビ和議ノ手續ノ中止ヲ命ズルコトガ出來ルト致シマシタ、第二項ハ整理開始ノ命令ガアリマシタ後ノ場合デアリマシテ、一旦此命令ガアリマシタナラバ、破産ノ申立、	和議ノ申立、強制執行、假差押、假處分ハ出來ナイコトニ致シマシタ、サウシテ既ニ進行シテ居リマスル破産、和議、強制執行、假差押、假處分ハ中止セラレルト云フコトニ致シマシタ、第三項ハ更ニ進ミマシテ、整理開始ノ命令ガ確定シタ場合デアリマシテ、是ガ確定致シマシタナラバ、第二項ニ依リマシテ中止ヲシマシタ手續、又第一項ニ依リマシテ中止ヲ命ゼラレマシタ手續ハ、整理ニ關スル關係ニ於キマシテハ、其效力ヲ失フト云フコトニ致シマシタ、詰リ一方ニ於テ整理ガ進ンデ居リマスルノニ、他方ニ於テ破産、和議ガ進ムト云フコトハ、是ハ事柄ノ性質上アリ得ザルコトデアリマシ、又強制執行ガドシ、進ンデ居ルト云フコトニナリマスルト、整理ノ事業ハ甚シク阻害セラレマスルカラシテ、是等ニ付テ第三百八十三條ノ規定ヲ設ケタ次第デアリマス、第三百八十四條ハ整理ノ手續ト競賣法ニ依ル競賣手續トノ關係デアリマス、御承知ノ通りニ競賣法ニ依ル競賣ハ、擔保權者ノ權利ノ實行デアリマシテ、是ハ整理ニ關係ナク進ンデ宜イ筈デアリマス、デアリマスカラ理論上ヨリ申シマスルナラバ、整理ニ關係ナク競賣法ニ依ル競賣ハ進ンデ宜イノデアリマスルケレドモ、此競賣法ノ競	賣ノ目的ニナツテ居リマスルモノガ、譬ヘテ申シマスルト、會社ノ重要ナ財産デアツテ、是ガ脱ケテシマヒマスルナラバ、整理ノ實ヲ擧ゲルコトガ出來ナイト云ツクヤウナ場合ニ、此競賣ノ債權者ガ整理ニ理解ヲ持チ、同情ヲ持チマシテ、暫ク之ヲ待ツテヤラウ、或ハ自分ノ債權ノ幾分ヲ割イテヤラウト云フヤウナコトガアリ得ルノデアリマシテ、若シ左様ナコトガアリマスルナラバ、整理ノ方ガ大變工合良ク進捗スル譯デアリマスルカラ、整理開始ノ命令ガ、競賣法ノ競賣手續ヲ中止スルト云フコトニハ出來マセヌケレドモ、債權者一般ノ利益ニ適應シ、且ツ競賣申立人ニ不當ノ損害ヲ及ボス虞ノナイ場合ニ於テハ、裁判所ハ一時的ニ此手續ノ中止ヲ命ズルコトヲ得ルコトニ致シマシタ、第三百八十五條デアリマスガ、是ハ時効ノ關係ニ付テ規定ヲ設ケタモノデアリマシテ、整理手續ガ明ニ設ケラレマシタ關係上、斯ル時効關係ノ整頓ヲスルコトハ、蓋シ必要デアラウト思フノデアリマス、第三百八十六條ハ此整理手續ニ於テ如何ナルコトヲスルノデアルカ、一體整理ト云フノハ如何ナル實質ヲ持ツモノデアルカト云フコトヲ、明確ニシタ規定デアリマス、先程申述ベマシタ通りニ、整理ハ裁判所監督ノ下ニ行ハ	レルノデアリマスガ、是ハ其事情ニ依リマシテ、或ハ強キ命令ヲ出シ、或ハ弱イ命令ヲ出スト云フヤウニ、相成ル譯デアリマス、多クノ場合ニ於キマシテハ、先ヅ緩ヤカナ命令ヲ出シマシテ、ソレデ事足レバ結構デアリマスルガ、ソレデ事足りナイ場合ニ、漸次強イ命令ニ進ンデ行クト云フコトニ、相成ルダラウト思フノデアリマス、隨テ各種ノ事情ニ應ジマシテ、適當ナル措置ヲ講ジナケレバナリマセヌカラ、整理手續ニ於キマシテ裁判所ノ爲シ得ル命令ト云フノハ、數種アル譯デアリマシテ、其數種ニ強弱色色ノ段階ガアル譯デアリマス、ソレガ第一項ノ第一號カラ第十一號マデニ明ニナツテ居ルノデアリマスガ、先ヅ第一號「會社ノ業務ノ制限其ノ他會社財産ノ保全處分」是ハ先以テ必要ダラウト思フノデアリマス、整理ハ會社解散前デアリマスルカラ、仕事ガ出來ル譯デアリマス、併シ放漫ニ無制限ニ仕事ヲスルト云フコトハ、整理ヲ害スルコトニ相成リマセウカラ、裁判所ハ必要ト認メルナラバ、會社業務ノ制限モ出來マス、ソレカラ會社財産ノ保全處分ノ必要デアリマスルコトハ、前申述ベタ通りデアリマス、第二號ハ株主ノ名義書換ノ禁止デアリマシテ、是ハ株主ガ逃ゲテ行クトヲ防グ積リ
---	---	--	--

デアリマス、先ヅ此第一、第二ノ如キハ最も多クノ場合ニ於テ、最初ニ爲スベキ手續デアリマセウ、第三號ハ所謂檢査命令デアリマシテ、ソレガ稍、進ンデ是ダケデハドウモ工合ガ惡イト云フ場合ニ、檢査ヲ命ズルノデアリマシテ、會社ノ業務及ビ財産ニ付テ檢査ヲ致シマシテ、其檢査ノ結果如何ナル策ヲ施スベキデアルカト云フ心構ヘヲスル譯デアリマス、詰リ今後出テ來マスル所ノ諸般ノ命令ノ前提ニナリマスル行爲デアリマス、四ハ整理又ハ和議ニ關スル立案實行ノ命令デアリマシテ、會社自身ノ整理ガ出來ル、又和議ガ出來ルト云フ場合デアリマスルナラバ、裁判所ガ之ニ手助けヲ致シマシテ、其整理ガウマク行キマスルヤウ、又和議ガウマク行キマスルヤウニ助力ヲスルト云フ命令ガ、即チ是デアリマス、五ハ取締役又ハ監査役ノ解任、是ハ申上ゲル迄モナク不適任ナル重役ヲ解任スル譯デアリマス、六ハ發起人、取締役又ハ監査役ノ責任ノ免除ノ禁止、斯様ナ場合ニ會社ハドウモ無責任ニナッテ居ルト云フコトハ普通デアリマセウカラ、是等ハ發起人重役ノ責任ヲ、往々免除スルト云フコトニナリ易イノデアリマス、ソレヲ先以テ禁止スルト云フノガ第六號デアリマス、七八、是等ノ責任ノ免除ガ既ニ

アリマシタ場合ニ、ソレヲ取消スコトデアリマス、併シ整理開始ヨリ一年前ニ爲シマシタ免除ニ付テハ、不正ノ目的ニ出デタル場合ニ限ッテ、此取消ガ出來ルト云フコトニ制限ヲ致シマシタ、八ハ發起人ナリ重役ナリノ責任ニ基ク損害賠償額ノ査定デアリマス、之ニ對スル損害賠償額ガ十萬圓デアアルカ、百萬圓デアアルカト云フコトハ、是ハ本來ナラバ訴訟ニ依リマシテ、裁判デナケレバ確定ガ出來ナイノデアリマスケレドモ、整理手續ニ於キマシテハ、事迅速ヲ必要ト致シマス、デアリマスカラ非訟事件手續ニ依リマシテ、是等ノ額ヲ査定スルト云フコトヲ茲ニ定メタノデアリマス、九ハ是等ノ損害賠償請求權ニ付キマシテ、發起人ナリ重役ナリノ個人ノ財産ノ保全處分ヲシナケレバナリマセヌ、第一號ハ會社ノ財産ノ保全處分デアリマスガ、九號ハ發起人、重役ノ個人財産ノ保全處分デアリマス、即チ是等ガ義務回避ノ爲メ財産隠匿等ヲ致ス虞ガアリマシタ場合ニ、此保全處分ヲスルノデアリマス、第十八更ニ進ンダ場合デアリマシテ、即チ是ダケデハ整理モ出來ナイ、和議モ出來ナイ、斯ウ云フ場合デアリマシテ、其場合ニ於テハ會社ノ業務及財産ニ付テ監督命令ヲ出シマス、第十一ハ更ニソレヨリ

モ惡イ場合デアリマシテ、監督命令デ監督ノ目ヲ張ッテ居ルト云フダケデハ足りナイノデアリマシテ、其場合ニ管理命令ヲ出シマシテ、管理人ノ手ニ於テ此會社ノ事業ヲスツカリ管理シテシマフト云フ手續デアリマシテ、是等ノ手續ニ付キマシテハ、更ニ次ニ申述べマスガ、要スルニ裁判所ガ斯ル處分ヲ爲スコトガ出來ルト云フコトヲ、茲ニ列舉シタノデアリマシテ、此處分ノ間ニ強弱ノ差等ノアルコトハ、只今申述べタ通りデ、先ヅ緩ヤカナ方カラ段々強イ方ニ進ンデ行クト云フノガ、自然ノ狀態デアラウト信ジマス、第二項ハ假處分の處分ヲ茲ニ掲ゲタノデアリマシテ、是亦必要ニ應ズル適當ノ規定デアラウト思フノデアリマス、第三百八十七條ハ前申シマシタ處分ニ付テ生ジマス登記ノ關係デアリマス、即チ是等ノ處分ヲ致シマシタ場合ニ、或ルモノニ付テハ登記ヲスル必要ガアリマス、第一項デ申シマス、取締役、監査役ノ解任、ソレカラ監督命令、管理命令、是等ヲ致シマシタ時ニハ、其旨ノ登記ヲシナケレバナリマセヌ、第二項ハ會社財産ノ保全處分、ソレカラ發起人、重役ナドノ個人財産ノ保全處分ヲ致シマシタ時ニ、其財産ニシテ登記登錄ニ關スルモノガアルナラバ、ヤハリ其旨

ノ登記登錄ヲシテ其事ヲ明ニスル、申上ゲル迄モナク不動産ニ付テ保全處分ヲシマスレバ、其不動産ガ保全處分ニ掛ル所以ヲ、登記デ明ニスルト云フ積リデアリマス、第三百八十八條ハ檢査命令ニ關スル規定デアリマス、其檢査ガ如何ナル方法ニ依ッテ爲スカト云フコトニ付テノ規定デアリマス、即チ檢査命令ノ實行ハ、會社ノ業務及ビ財産狀況、其他會社ノ整理ニ必要ナル事項ニ付キマシテ、裁判所ノ選任シタル檢査役ガ之ヲ爲ス譯デアリマス、檢査役ハ會社ノ業績ガ不良トナリマシタ事情、ソレカラ發起人又ハ重役ニ不正行爲ガナカッタカ、又懈怠ガナカッタカドウカト云フコトモ、調査ヲシナケレバナラナイト云フコトヲ明ニ致シマシタ、前回モ御意見ノ御陳述ガアリマシタガ、今日會社ノ檢査役トシテ仕事ヲシテ居ラレル此檢査役ノ仕事ガシ惡イト云フ實情ハ、今日デハ確ニアルノデアリマス、左様ナ關係モアリマセウガ、檢査役ノ檢査ノ實績ガ舉ッテ居ナイト云フ遺憾ナ點モ、確ニアルノデアリマス、今回ノ此會社整理ニ於キマシテハ、檢査役ノ實績ガ十分舉リマセウニ、私共ニ於テ最善ノ努力ヲ致シタイト存ジテ居ルノデアリマス、第三百八十九條ハ檢査役ガ檢査ヲ致シマシテ、ソレカラドウ

スルカト云フ規定デアリマシテ、検査役ハ調査ノ結果ヲ裁判所ニ報告スルノデアリマス、然ラバ如何ナル目的デ以テ、如何ナル事項ヲ報告スルカト申シマス、整理ノ見込ガアルカドウカ、又發起人、重役等ニ責任ヲ負フベキ事實ガアルカドウカ、會社ノ業務、財産ニ付テ唯ノ検査ダケハ足リナイトカ、又整理、和議等デハ濟マナイトカ、是ハ進シテ監督命令ヲ出サナケレバナラス、或ハ更ニ進シテ管理命令ヲ出サナケレバナラス、斯ウ云フ必要ノ有無、之ヲモ報告シナケレバナリマセス、四ハ會社財産ノ保全處分ヲ爲ス必要ガアルカドウカ、五ハ發起人重役ノ個人財産ニ對シテ、保全處分ヲ爲ス必要ガアルカドウカト云フコトヲ、報告シナケレバナラナイト云フコトヲ明ニ致シマシタ、第三百九十條ハ検査役ノ權限ヲ定メタ規定デアリマス、此第一項ハ發起人ナリ、重役、支配人、其他ノ使用人ニ對シマシテ、會社ノ業務、財産ノ狀況ニ付テ報告ヲ求メル、尙其外ニ會社ノ帳簿、書類、金錢其他ノ物件ノ検査ヲ、進シテ自分ガ爲スコトガ出來ルト云フコトヲ明ニシマシタ、是ガ第一項デアリマスガ、尙ホ第二項ニ御注意ヲ願ヒタイノデアリマシテ、検査役ハ其調査ノ實施ノ爲メ必要

デアリマスルナラバ、裁判所ノ許可ヲ得マシテ執達吏又ハ警察官吏ノ援助ヲ求メルコトガ出來ルト云フコトニ致シマシタ、前同佐竹委員カラ今日ノ検査役ノ權限行使ニ付テ、其助力ノ機關ノナイコトニ付テノ御意見ガアリマシタ、洵ニ御尤ナ次第デアリマシテ、會社ノ整理ニ付テ、殊ニ検査役ニ付テハ其權限ヲ與ヘナケレバナラナイト存ジタ次第デアリマス、是マデガ検査命令ニ關スル事項デアリマシテ、第三百九十一條ハ和議及ビ整理ノ立案竝ニ實行ニ關スル規定デアリマス、詰リ會社ノ財産ノ保全處分ヲ致シマシタリ、其他検査役ノ調査ニ依リマスレバ、會社ニマダ更生ノ餘地ガアル、或ハ和議デ進シテ行ッテ、ソレデ片ガ付ク、斯様ナコトガ分リマシタ場合ニ、詰リ監督命令、管理命令ト云フコトマデ進マナイデ、其以前ニ圓滿ニ片ガ付キマスルナラバ、是ハ結構ナコトデアリマスルカラ、左様ナ場合ニ和議、整理ノ立案、實行ト云フ手續ヲ茲ニ規定シタノデアリマス、其場合ニ必要ガアリマスルナラバ、裁判所ハ整理委員ヲ選任シテ宜シイト云フコトニ致シマシタ、此整理委員ハ取締役ノ仕事ヲ排斥スルノデハナイノデアリマス、取締役ニハ在來通りノ仕事ヲサセルノデアリマスケレドモ、之ニ整理

委員ガ協力スルノデアリマス、此程度ニ於テハマダ取締役ヲ排斥スル必要ガナイ、是ト相談ニ依ッテ相共ニ仕事ヲシテ行クト云フノガ、此整理ノ程度デアリマス、ソレカラ末項ハ整理委員ノ權限ノ問題デアリマスルガ、是ハ先程申シマシタ検査役ニ付テノ第三百九十條ノ第一項ノ權限ヲ認メマシテ、此整理委員ニハ検査役ノヤウニ、執達吏又ハ警察官吏ノ援助ヲ求メルト云フ程ノ權限ヲ、與ヘル必要ハナイノデアリマシテ、隨テ整理委員ノ權限ハ第三百九十條ノ第一項通りデアリマシテ、其第二項ヲ包含シナイノデアリマス、第三百九十二條ハ整理ノ實行ノ必要ニ應ジ、又和議ノ爲メノ必要ニ應ジマシテ、株金ノ拂込ヲ命ズルコトニ關スル簡易手續ヲ、茲ニ開イタモノデアリマス、御承知ノ通りニ株金ノ拂込モ之ニ應ジマセスケレバ、訴訟ヲ起シテ判決ヲ得ナケレバナラナイノデアリマス、併シ是ハ相當ノ期間ヲ要スルノデアリマシテ、殊ニ多數ノ株主ニ對シテ一樣ニ判決ヲ得ルト云フコトハ、相當困難デモアリ、又大分長キ時日ヲ要スルノデアリマス、斯様ナコトハ整理ニハ向カナイコトデアリマスカラ、非訟事件手續ト致シマシテ、茲ニ簡易ノ手續ヲ案出致シタノデアリマス、ソレガ即チ第三百九十二

條ノ規定デアリマシテ、取締役ガ各株主ニ對シマシテ其有ッテ居ル株式ノ數、ソレカラ未拂込ノ株金額ヲ通知致シマシテ、ソレニ異議ガアレバ一定期間内ニ之ヲ述ベト云フコトヲ催告スルノデアリマス、株主ガ其期間内ニ異議ヲ述ベマセスケレバ、通知事項ノ承認ガアツタモノト看做サレマス、ソコデソレガ承認サレタモノト看做サレルナラバ、ソレデ結構デアリマスルガ、株主ガ之ニ對シテノ異議ヲ述ベマスルナラバ、取締役ハ其確定ヲ裁判所ニ請求スルノデアリマス、即チ或ル株主ノ持ッテ居ル株式ガ幾ラデアッテ、之ニ對スル未拂込額ガ幾ラデアルカト云フコトノ確定ヲ、裁判所ニ請求スルノデアリマス、此請求手續ハ非訟事件デアリマシテ、是等ニ關スル詳細ノ手續ハ、非訟事件手續法ニ之ヲ明記スル積リデアリマス、第三百九十三條ハ前條ヲ受ケタ規定デアリマシテ、此株主ノ持ッテ居リマスル株式竝ニ株主ノ負擔スル未拂込額、是ガ株主自身ノ承認ニ依リ、又ハ株主ガ異議ヲ述ベタ場合ニ、前條ニ依ル裁判所ノ確定ガアリマシタ場合ニ、之ニ基イテ株主表ヲ作ルノデアリマス、ソコデ取締役ガ株金ノ拂込ヲサセヨウト思ヒマスナラバ、其拂込金額ニ付テ裁判所ノ認可ヲ得ル譯デアリマス、

即チ未拂込ガ例ヘバ四分ノ三殘ツテ居ル、斯ウ云フ場合ニ、必要ガアリマスルナラバ四分ノ三全額ヲ拂込マシムルコト亦可ナリデアリマスケレドモ、整理ノ必要ヲ越エテ拂込マシメル必要ハナイノデアリマスルカラ、幾ラ拂込マシメルト云フコトノ認可ヲ、裁判所カラ受ケルノデアリマス、斯クシテ裁判所ノ認可ヲ受ケマスルナラバ、其株主表ノ抄本ニ基イテ、強制執行ガ出來ルト云フコトニ致シマシタ、即チ株主ノ責任ニ付テ非訟事件デ之ヲ確定シ、又非訟事件デ之ヲ認定シテ、是ガ本ニナッテ強制執行ガ出來ルト云フ手續ニ相成ルノデアリマス、第三百九十四條ハ發起人又ハ重役ノ責任ニ基ク損害賠償請求權ノ査定ガ、第三百八十六條ノ處分、即チ會社ノ整理手續ニ於ケル裁判所ノ命令デ出來ルト云フコトハ、前ニ申述べマシタ、即チ此發起人ニ對シテハ一万圓ノ損害賠償請求權ガアリ、此取締役ニ付テハ十万圓ノ損害賠償請求權アリト云フコトヲ、整理手續ニ於テ裁判所ガ査定致シマス、是デ進行ガ早イノデアリマスケレドモ、査定ニ不服ノアリマシタ者ガ、是等ノ手續ニ依ッテ一切解決スルト云フコトニナリマスルト、是ハ迷惑デアリマス、デアリマスルカラ之ニ對シテ不服ノ訴ノ途ヲ開

キマシタ、是ガ第三百九十四條ノ規定デアリマス、此査定ニ不服ノアル者ハ、査定告知ヲ受ケタ日カラ一月内ニ異議ノ訴ヲ提起スルコトガ出來ルト云フコトヲ明ニシタノデアリマス、此異議ノ訴ハ所謂不服ノ訴デアリマシテ、是ガ第一審デアリマス、サウシテ是ハ通常ノ訴訟デアリマスルカラ、通常ノ民事訴訟ニ從ヒマシテ進行シテ行キマスルコトハ、申ス迄モナイノデアリマス、ソレデ其判決ガドウナルカト申シマスルト、査定ヲ認可スルト云フコトニモナリマセウシ、或ハ査定ヲ變更スルト云フコトニモナリマセウ、デアリマスルカラ此判決自身ノ恰好カラ申シマスルト、給付ヲ命ズル判決ハナイ譯デアリマス、デアリマスルケレドモ之ニ基イテ強制執行ヲシテ行カナケレバナラスノデアリマスルカラ、第二項ニ依リマシテ是ハ性質上給付判決ハナイケレドモ、強制執行ニ關シテハ給付判決ト同一ノ效力ヲ有ツモノダト云フコトヲ、茲ニ明ニシタノデアリマス、第三項ハ裁判管轄及手續ニ關スル規定デアリマス、第三百九十五條デアリマスルガ、是ハ査定ノ效力デアリマス、即チ前ニ申シマシタ訴ノ提起ノナイ時ニハ、査定ハ給付ヲ命ズル確定判決ト同一ノ效力ヲ有ツコトニ致シマシタ、又訴

ノ提起ガアリマシテモ、ソレガ却下ニナリマスレバ、ヤハリ査定ガ其儘活キル譯デアリマスカラ、査定ハヤハリ給付ヲ命ズル確定判決ト同一ノ效力ヲ有ツト云フコトニ相成ルノデアリマス、第三百九十六條ハ此査定タルヤ是亦全ク新シイ手續デアリマスルカラ、時效中斷ニ關スル關係ニ於テ、之ヲ裁判上ノ請求ト同一ニ取扱フ必要ヲ生ジマシタ、ソレニ對スル規定デアリマス、第三百九十七條ハ更ニ進シテ手續デアリマシテ、即チ監督命令ヲ出ス場合ノ規定デアリマス、其監督命令ハ如何ニシテ爲スカト云フコトヲ、茲ニ明ニシタモノデアリマス、此監督ハ裁判所ガ監督員ト云フモノヲ選任シテ、之ニ監督ヲ爲サシムルノデアルト云フコトニ致シマシタ、然ラバ其監督員ガドウ云フコトヲスルノデアアルカト申シマスルト、取締役ガ裁判所ノ指定シタ行爲ヲ爲シマスルニハ、監督員ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス、詰リ其監督員ガ重要事項ニ付テ同意、不同意ノ權ヲ持ツ譯ニナルノデアリマス、即チ此手續ニ於テモ尙ホ取締役ヲシテ會社ノ仕事ヲヤラセルノデアリマスケレドモ、監督員見張ノ下ニヤラセルト云フコトニナルノデアリマス、第三項ハ監督員ノ權限デアリマシテ、先程申シマシタ検査役ニ對スル第三百

九十條ノ第一項ノ權限ダケヲ認メルノデアリマス、例ノ執達吏、警察官吏ノ援助ヲ求メルト云フ第二項ノ權限ハ、之ニ認メナカタノデアリマス、監督員ニハ其必要ガナイノデアッテ、此關係ハ丁度整理委員ト同様デアリマス、第三百九十八條ハ是ハ最モ進シダ場合デアリマシテ、會社整理手續ニ於テハ最モ會社ノ不良ノ場合デアリマス、此場合ニハ管理命令ヲ出スノデアリマシテ、其管理命令ノ實施ハ如何ニシテ爲スカト云フコトヲ、茲ニ明ニシタノデアリマス、此管理ハ裁判所ノ選任ニ係ル管理人ガ之ヲ爲スノデアリマス、此管理命令ニ於キマシテハ、監督命令トハ甚シク其選任異ニ致シマシテ、最早取締役ニハ仕事ヲサセナイノデアリマス、ソレデアリマスルカラ會社ノ代表權、業務ノ執行權、ソレカラ會社財産ノ管理並ニ處分ノ權利モ、全ク管理人ニ移ッテシマフノデアリマス、此點ハ丁度破産管財人ニ總テノ權限ガ移ッテシマフト同ジコトニナルノデアリマス、固ヨリマダ破産デハアリマセヌカラ、破産管財人デハナイノデアリマスルケレドモ、丁度ソレト似タヤウニ、取締役ノ手カラ總テノ權限ヲ奪ヒマシテ、之ヲ管理人ニ委ネルノデアリマス、第二項ニ種々ノ條文ガ引用シテアリマスルガ、

是ハ取締役ノ權限ニナツテ居リマスル、即チ取締役トシテ訴ノ原告ニナリ得ルト云フ規定ヲ、茲ニ引用シタノデアリマス、即チ決議取消ノ訴、増資無効ノ訴、減資無効ノ訴、合併無効ノ訴、設立無効ノ訴、是等ノ訴ヲ取締役トシテ提起シ得ルノデアリマスルガ、最早管理命令ガ出マスルト、取締役ガ訴ノ提起ヲ爲スコトガ出來ナイノデアリマシテ、ソレハ管理人ノ手カラ訴ヲ提起スルト云フコトニナル、ソレヲ明ニ致シタノデアリマス、第三項ハ權限ニ關スル規定デアリマスルガ、御注意ヲ御願致シマスルノハ、此準用ハ第三百九十條ノ第一項モ第二項モ共ニ準用致シテ居リマス、デアリマスルカラ、丁度検査役ノヤウニ必要ニ應ジテ裁判所ノ許可ヲ得マシテ、執達吏、警察官吏ノ援助ガ求メラレル譯デアリマス、即チ整理手續ニ於キマシテ、斯ル援助ヲ求メ得ルノハ検査役ト管理人トデアリマス、斯ル援助ヲ求ムルコトノ出來ナイノハ、整理委員ト監督員トデアリマス、次ニ第三百九十九條ハ整理終結ニ關スル規定デアリマシテ、整理ガ終了シ、又ハ整理ノ必要ガナクナツタト云フ場合ニハ、裁判所ハ中立ニ依リマシテ整理終結ノ決定ヲスル次第デアリマス、第四百條ハ整理終結ノ決定

ノアリマシタ場合ノ登記ノ規定デアリマス、整理開始命令ノ取消ノアツタ場合モ、ヤハリ同様デアリマス、第四百一條ハ此整理手續ト和議トノ關係デアリマシテ、整理開始ノ命令ガアリマシタ場合ニ、債權者ノ一般ノ利益ノ爲メ必要ガアルト認メルナラバ裁判所ハ和議ノ申立ヲ爲シテ宜イト云フ認可ヲスルコトガ出來ルノデアリマス、先程申シマシタヤウニ、整理ノ手續ガアリマスルナラバ、和議ノ手續ガハ併立シナイ、中止サレル譯デアリマスルケレドモ、裁判所ガ整理ノ手續ノ中味ヲ能ク見マシテ、是ハ和議ニ廻ハス方ガ宜イト考ヘマスルナラバ、整理手續ヲ離脱シテ、直チニ和議法ニ依ル和議ノ手續ニ入ル譯デアリマス、第四百二條ハ是ハ整理ノ極メテ悪い場合デアリマシテ、到底整理デヤ駄目ダ、斯様ナ手續イコトデヤ濟マナイノダト云フコトガ明ニナリマスルナラバ、裁判所ハ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲ス譯デアリマス、御承知ノ通り、今日破産手續ハ區裁判所ノ手續ニナツテ居リマスルケレドモ、此整理カラ流レテ來マスル破産ハ、司法裁判所ノ手續ニスル積リデアリマス、是亦他ノ法規デソレヲ明確ニスル積リデアリマス、前條ニ於テ申シマシタ和議モ亦同様デアリマス、即チ整理カラ

流レテ行キマスル和議、又整理カラ流レテ行キマスル破産、何レモ是ハ地方裁判所ノ管轄トシテ取扱フ積リデアリマス、第四百三條ハ破産法ノ規定ヲ準用シテ居リマスルガ、特ニ擧ゲテ居リマスル破産法第四百條ハ、御承知ノ通り相殺ヲ制限スル規定デアリマス、又破産法ノ第六十三條乃至第六十六條ハ破産管財人ノ職責ナリ、其代理人ノ選任ナリ、又破産管財人ニ對スル費用ノ前拂、報酬、是等ニ關スル規定デアリマシテ、是等ト同様ノ規定ヲ以テ整理ノ場合ヲ律スル積リデアリマス

○江原委員 三百八十七條ト四百條ニ付テ伺ヒマス、整理開始ノ命令ガアリマシタ場合ニハ、保全處分ガアリマス、保全處分ガアツテ、會社ノ財産ニ付テ其登記ガアリマス、其時ニ整理開始ノ進行ノ工合ニ依ツテハ、或ハ和議マデ行カナイデ終了スルコトガアルカモ知レナイ、サウ云フ場合ニハ保全處分ヲサレタ登記ノ後始末ハドウナルカ、ソレカラ和議ニ入りマシタ時ハ、勿論和議ノ規定ガアリマセウ、破産ノ場合ニ入ッタ時ハ破産ノ規定ニ從ツテ後始末ヲサレル、之ニ付テ私、經驗シタコトガアルノデ一寸申シマスガ、ソレハ和議事件問題デスガ、和議開始ノ決定ガアリマス、職權デ和議開

始決定ノ登記ヲスルコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソコデ和議認可ニナリマシテ、ソレガ決定ニナリマスト同様ニ、又認可決定ノ登記ヲスル、ソコデ裁判所ハ普通認可サレマシタ和議ノ條件ニ基イテ和議ヲ履行スル、全部履行済ニナリマシタ時ニ、知ラナイデ居リマシテ、結局自分ノ不動産デ金ヲ借りヨウト云フコトヲ考ヘテ、銀行ニ金ヲ借りル交渉ニ行クト、其不動産ニハ相變ラズ和議開始決定ノ登記ト、和議認可終結ノ登記ガアル、是ガ故障ニナリマシテ中々金ヲ貸サナイ、斯ウ云フコトガアリマス、ソコデ和議ノ場合ニ履行ガ濟ンダナラバ、ソレヲ抹消スル方法ハナイノダラウカト云フヤウナコトヲ、裁判所デ相談ヲシテ見タ、サウスルト裁判所ノ意見トシテハ、和議開始決定ノ場合ニ登記スルニハ、和議認可ニナル迄ノ間、結局不動産處分ノ制限ヲスル、和議ガ認可ニナツテ確定シタ場合ニハ、其處分ノ制限ハナクナル、ダカラ結局和議開始決定ノ登記ガ認可ノ決定ノ登記デ抹消サレタト同ジニナルカラ、宜イデヤナイカト云フ話モアツタ、所ガサウ云フ理窟ヲ一般銀行デハ承知シナイ、是ト同様ナコトガ、ヤハリ整理開始ノ場合ニアリマス、又同ジヤウナ迷惑ヲ被ル會社ガアリハシナイカ

ト思フ、斯ウ云フ點ガアルノデヤナイカト
思ヒマスガ、此點ニ付テ承リタイノデアリ
マス

○大森政府委員 御注意ハ洵ニ多トスル次
第デアリマス、ソレ等ハ總テ手續法ニ明確
ニ致シマシテ、整理ノ手ガ離レマシタ時ニ、
和議ノ手ガ離レマシタ時ニ、總テ抹消シマ
シテ、原形ニ復スルヤウニ手續決メル積
リデ居リマス、尙ホ和議法ダケニ付キマシ
テハ、司法省デ全般的ノ改正ノ準備ヲ致シ
テ居リマスカラ、其時ニ御譲リヲ願ヒタイ
ト存ズルデアリマス

○佐竹委員 三百八十一條ノ最初ニアリマ
ス「債務超過ニ陥ルノ虞アリト認ムルトキ」
其次ニ「債務超過ノ疑アリト認ムルトキ亦
同ジ」トアリマスガ「虞アリト認ムルトキ」
「疑アリト認ムルトキ」ナドト云フ文字ノ用
ヒ方ハ、往々ニシテ解釋ノ分ル、餘地ガア
ルノデゴザイマスガ、此際今少シク具體的
ニ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス

○大森政府委員 之ヲ具體的ニ申述ベルコ
トハ洵ニ困難デアリマシテ、斯ク規定ヲ致
シマシタ經過ヲ御諒察願ヒタイノデアリマ
ス、先程モ申シマシタ通りニ、斯様な場合
ハ會社ガ營業ニ蹉跌ヲ生ジマシテ、餘程ノ
窮境ニ陥ッテ居ル場合デアアリマスケレド

モ、觀念上ト致シマシテ支拂不能、債務超
過ニナッテシマッテ居リマスレバ、是ハ破産
ノ問題デアリマシテ、最早整理ノ問題ヲ脱
却シテ居ル譯デアリマス、デアリマスカラ
左様な場合ハ、茲ニハ擧ゲラレナイノデア
リマシテ、ソレノ一步手前デアルト云フコ
トヲ明カニショウト思ヒマシテ、ソレデ「虞
アリ」「疑アリ」ト云フヤウナ文字ヲ用ヒタ
ノデアリマス、其趣旨ニ御諒承ヲ願ヒタイ
ノデアリマス

○佐竹委員 結局虞ノアル場合ハ、疑ノア
ル場合ト殆ド同一デハナイカト思ハル、ノ
デゴザイマスガ、特ニ「疑アリト認ムルト
キ亦同ジ」ト茲ニ明記致シマシタ理由ヲ承
リタイ譯デアリマス

○大森政府委員 御説ノ通りニ虞レノアル
場合ト、疑ノアル場合トハ、先ヅ實質ニ於
テ大體同様デアラウト思フノデアリマス、
唯虞レダケヲ書キマスルナラバ、或ル部分
デ脱ケハシナイカ、又同様ニ疑ヒダケヲ書
ケバ、他ノ部分デ脱ケハシナイカ、斯ウ云
フコトヲ虞レタ次第デアリマス

○野村委員長 ソレデハ第七節會社ノ整理、
之ニ付テハ他ニ御質問ハナイト認メマス
ス——第八節解散——大森政府委員
○大森政府委員 第八節解散ニ付テ申述ベ

タイト存ジマス、先ヅ第四百四條デアリマ
スルガ、此解散ノ理由ヲ少シク改メタノデ
アリマス、既ニ合名會社デ申述ベマシタ通
リニ「會社ノ目的タル事業ノ成功又ハ成功ノ
不能」ヲ解散ノ事由カラ除キマシタ、是ハ成
功ノ不能ト云フ觀念ガ、實際上甚ダ不明確
デアリマスルノミナラズ、第三者カラ見テ
イツ成功ニナッタノデアルカ、殊ニイツ成功
ノ不能ニナッタノデアルカト云フコトガ分
ラナイカラ、斯様な弊害ノアル事項ヲ削除
シタ次第デアリマス、尙ホ「株主ガ七人未滿
ニ減ジタルコト」之ヲ除イタノデアリマス、
御承知ノ通り此案ニ於キマシテモ、會社成
立ノ要件ト致シマシテハ、株主七人以上ト
云フコトヲ必要ト致シマスルケレドモ、ソ
レヲ減ジマシテモ當然ノ解散トスベキ必要
ハナイノデアリマシテ、多クノ外國法ノ規
定竝ニ其實績等ニ鑑ミマシテ、之ヲ解散事
由カラハ除イタ次第デアリマス、次ニ第四
百六條デアリマスルガ、御承知ノ通りニ現
行法ニ於キマシテハ、株式會社ニ付テハ會
社ノ繼續ガ是認セラレテ居ナカッタノデア
リマス、併シ株式會社ニ於キマシテモ、更
生ノ機會ガアリ得ル譯デアリマスルカラ、
之ヲ會社ノ繼續カラ除外スルト云フ理由ガ
ナイヤウニ思フノデアリマス、ノミナラズ

左様ニ限定シテ置キマスルノハ、確ニ不便
デアリマス、デアリマスルカラ株式會社ニ
モ會社ノ繼續ヲ茲ニ認メタノデアリマシテ、
ソレハ特別決議ニ依ラナケレバナラナイト
云フコトヲ、明ニ致シマシタ、第四百八條
以下ハ合併ノ手續ニ付テ、現行法ニ規定ノ
ナカッタ所ヲ補充致シタノデアリマス、即チ
株式會社ノ合併ニ付テ、現行法ハ餘リニ不
完全デアッタノデアリマシテ、ソレ等ノ手續
上ノ問題ヲ、茲ニ必要ト認ムル限度ニ於テ
補充ヲ致シタノデアリマス、第四百八條ハ
合併契約書ノ問題デアリマシテ、會社ガ合
併ヲ致シマスルノニハ、合併契約書ヲ作ッテ
株主總會ノ承認ヲ經ナケレバナラナイト云
フコトヲ明ニ致シマシタ、第二項ニ引用シ
テ居リマスル第二百三十二條ハ、御承知ノ
總會招集ノ手續ニ關スル規定デアリマス、
又第三項ニ引用シテ居リマスル第三百四十
三條ハ、特別決議ニ關スル規定デアリマシ
テ、合併契約書ノ承認ハ、特別決議ヲ必要
トスルト云フコトヲ茲ニ明ニ致シマシタ、
第四百九條ハ吸收合併ノ場合ニ於ケル合併
契約書ノ記載要件デアリマス、第四百十條
ハ新設合併ノ場合ニ於ケル合併契約書ノ記
載要件デアリマス、第四百十一條デアリマ
スルガ、吸收合併ニ於キマシテ存續會社ガ

株式會社デアリマスル場合、又新設合併ニ於キマシテ、新設ニナリマスル會社ガ株式會社デアリマスル場合、之ヲ要スルニ合併ニ因リマシテ殘リマスル會社ガ株式會社デアリマスルナラバ、其當事者ノ一方又ハ雙方ガ合名會社、合資會社デアリマシテモ、合併契約書ノコトヲ明ニシテ置ク必要ガアリマス、詰リ合名會社ト合資會社ト合併シテ合名會社ガ出來ルトカ、或ハ合資會社ガ出來ルトカ、斯ウ云フ場合ハ左程合併契約書ニ付テ、ヤカマシク考ヘル必要モナイノデアリマスルケレドモ、殘リマスル會社ガ株式會社デアリマスルナラバ、ヤハリ合併契約書ニ付テ規定ヲ設ケテ置ク必要ガアリマス、是ニ於テカ第四百十一條ヲ設ケタノデアリマシテ、左様ナ場合ニハ合併ノ當事者ガ合名會社、合資會社デアリマスル時デモ、合併契約書ヲ作ラナケレバナラナイト云フコトヲ明ニシ、且ツ其合併契約書ヲ作ルニ付テノ總社員ノ同意ヲ、必要トスルモノト云フコトヲ明ニ致シタ次第デアリマス、第四百十二條ハ吸收合併ノ場合ニ於ケル報告總會ノ規定デアリマス、是モ全然規定ガ缺ケテ居ッタノデアリマスルカラ、茲ニ之ヲ明ニシタ次第デアリマス、ソレカラ第二項ニ準用致シテ居リマスル第三百五

十一條ノ第二項ハ、御承知ノ増資ノ場合ニ於ケル規定デアリマシテ、新株ノ引受人ハ株主ト同一ノ權利ヲ有スルト云フ規定デアリマス、御承知ノ通りニ増資ハ増資ノ登記ニ依ッテ成立ラスルノデアリマスルカラ、報告總會當時ハマダ新株ノ引受人ハ株主ニナシテ居リマセヌ、併シ報告總會ニ參列致シマシテ、議決權ヲ行使セシメナケレバナリマセヌカラ、斯ル規定ヲ置イタノデアリマス、合併ニ付テモ同様デアリマシテ、合併ノ登記ニ依ッテ合併ハ成立スルノデアリマスルカラ、報告總會當時ニ於テハマダ是等ノ者ハ株主ニナシテ居リマセヌ、隨テ右申シタ規定ヲ準用スル必要ヲ生ジタ次第デアリマス、第四百十三條ハ新設合併ノ場合ニ於ケル創立總會デアリマス、申上ゲルマデモナク吸收合併ナラバ、報告總會ガ必要デアリマシ、新設合併ナラバ創立總會ヲ必要トスルノデアリマス、之ニ關スル規定デアリマス、末項ニ準用致シマシタ所ノ規定ハ、御承知ノ創立總會ノ規定デアリマシテ、會社設立ノ際ニ於ケル純粹ノ創立總會ニ關スル規定デアリマシテ、之ヲヤハリ其創立總會ニ準用スル必要ヲ感ジタ次第デアリマス、第四百十四條ハ合併ニ付テノ登記ノ規定デアリマス、第一項ハ現行法ト殆ド同趣旨デ

アリマシテ、屢、申述ベマシタ通りニ、本店ノ所在地デ二週間、支店ノ所在地デ三週間ト云フコトニ致シタノデアリマスカラ、實質上ニ變更ハアリマセヌケレドモ、第二項ハ新設ノ規定デアリマス、是ガ現行法ニ缺ケテ居ッタノデアリマス、缺ケタ儘運用サレテ居ッタノデアリマシテ、申譯ノナイ次第デアリマシタガ、ソレヲ今度ハ法文デ明ニシタ譯デアリマス、合併ニ因リマシテ殘リマスル會社ガ、合併ノ結果社債ヲ承繼致シマシタ時ニ、其社債ノ登記ヲシナケレバナラナイト云フコトヲ、明ニシタノデアリマス、今日迄是ガ全ク規定ガナカッタノデアリマス、第四百十五條ハ合併無効ノ訴ニ付テノ訴ノ提起者ヲ、茲ニ明ニシタ譯デアリマス、御承知ノ通り合名會社ニ付キマシテハ、第四百條以下ニ合併無効ニ關スル規定ガアリマス、ソレハ次ノ條文デ引用サレテ居リマス、此第四百十五條ニ於キマシテハ此訴ノ原告タリ得ル者ヲ、茲ニ明ニシタ次第デアリマス、第四百十六條ハ種々ノ規定ヲ準用シテ居リマスルガ、現行法モ此形ヲ取ッテ、種々ノ規定ヲ此處ニ持ッテ來テ居リマス、ソレト歩調ヲ合セタモノデアリマスルガ、此法案ニ於ケル新設規定ニシテ關係條文ハ、ヤハリ茲ニ引キ用ヒタノデアリマス、左様御諒承ヲ

願ヒマス

○山本委員 四百四條ノ營業全部ノ讓渡ハ、解散ノ事由トナッテ居リマスガ、私前ノ方ヲ引繰返ヘサナイノデ甚ダ認識不足デ、御笑ヒニナルカモ知レマセヌガ、營業全部ノ讓渡ハ取締役デ出來ルノデスカ、或ハ株主總會ノ議決ヲ要スルト云フ規定ガアリマシタカ、其點ガ私ハハッキリ認識シナイノデスカ、若シ株主總會ノ議決ナシニ、營業全部ノ讓渡ガ出來ルトシマスルト、取締役ガ營業全部ヲ讓渡シテシマフト、當然其會社ハ解散シテ清算ニ移ルカ、或ハ四百六條ニ依ッテ改メテ他ノ決議ニ依ッテ、會社ヲ存続スルト云フコトニナルノデスカ

○大森政府委員 營業全部ノ讓渡ニ付キマシテハ、此案デハ第二百四十五條ニ於キマシテ、特別決議ヲ必要トスルコトニ相成ッテ居リマスルカラ、今御尋ノ御懸念ハナイト思ヒマス、尙ホ御諒ヲシテ置キマスガ、第四百四條ニ於キマシテ營業全部ノ讓渡ト云フモノヲ、新ニ解散ノ理由ニ加ヘマシタ、其コトヲ申シ忘レマシタカラ、今ノ御注意ニ依ッテ茲ニ補充ヲ致シマス

○野村委員長 ソレデハ他ニ質疑ハナイト認メマス——第九節清算、第一款總則

○大森政府委員 第九節清算、第一款總則

ニ付テ申述ベタイト存ジマス、御承知ノ通
リニ現行法デハ此清算ノ規定ハ、別ノ款ニ
分レテナカッタノデアリマスルガ、本案ニ於
キマシテハ特別清算ト云フモノヲ一ツ設ケ
マシタカラ、特別清算デナク普通ノ清算ガ、
第一款則ニナッタ次第デアリマス、特別清
算ヲ設ケマシタ所以ハ、ヤハリ包括的説明
ニ於テ申述ベタ次第デアリマスルガ、從來
現行法ノ立前ハ、會社ガ解散ヲ致シマシテ、
サウシテ財産狀態ガ健全デアリマスルナラ
バ、會社ノ取締役ガ原則トシテ清算人ニナ
リマシテ、即チ此清算人ノ手ニ依ッテ清算ヲ
スル、即チ會社自身ガ清算ヲスル、ソレデ
結構ダト云フ譯デアッタノデアリマセウ、之
ニ反シテ會社ガ解散シテ財産狀態ガ惡イト
云フ場合ハ、是ハ必ズ破産ニナルノダ、斯
ウ云フ極メテ單純ナ程度ニ立案ヲサレテ
居ッタヤウニ考ヘルノデアリマス、然ルニ事
柄ハ是ト大イニ反スルノデアリマシテ、一
番多イノハ破産デハナイケレドモ、併シ會
社ノ財産ガ非常ニ少クテ、詰リ會社ガ極メ
テ悲境ニ陥ッテ解散ヲシタ、斯ウ云フ中間ノ
場合ガ多イノデアリマス、デアリマスカラ
此中間ノ場合ノ清算ニ裁判所ノ監督ヲ強ク
加ヘマシテ、特別清算ニ致シマシタ、併シ
總テ特別ノ清算ヲ必要トスルノデハナイノ

デアリマシテ、ヤハリ在來ノ清算ヲ以テ足
リルモノモアリマスルカラ、在來ノ清算ノ規
定ハ其儘ニ存置致シマシタ、是ガ第一款
ノ總則トシテ、殘ッテ居ルモノデアリマス、
第四百十八條ハ新設ノ規定デアリマス、清算
人ガ就職ノ日カラ二週間内ニ、解散ノ事由
及ビ其年月日、清算人ノ氏名、住所、之ヲ裁
判所ニ届出デルコトニ致シマシタ、何ガ故ニ
新ニ斯様ナ義務ヲ命ジタカト申シマスルト、
此清算ノ如何ニ依リマシテハ、特別清算ニ進
マナケレバナライカモ知レマセヌカラ、
裁判所ヲシテ斯ル清算ニアルト云フコトヲ知
ラシメテ置ク必要ガアルカラデアリマス、第
四百十九條ノ第二項モ新設デアリマス、是亦
前條ト同ジ趣旨デアリマシテ、清算人ハ財産
目錄及ビ貸借對照表ヲ裁判所ニ提出シナケ
レバナリマセヌ、是亦場合ニ依リマシテハ
特別清算ニ流レテ行クコトガアリ得ルカラ
デアリマス、次ハ第四百二十三條デアリマ
ス、御承知ノ通りニ清算ニハ債權申出ノ期
間ト云フモノヲ定メデアリマスルガ、其債
權申出ノ期間内ニ清算人ガ債權者ニ辨濟ヲ
爲シ得ルカ否ヤト云フコトハ、現行法上デ
ハ疑問デアッタノデアリマス、勿論現行法モ
趣旨ニ於テソレヲ禁ジテ居ルニ相違ガナイ
ノデアリマシテ、罰則ガアリマシタ、罰則

デ謂ハ、嚇シテ居ルダケデアッテ、實體規定
デソレガ出來ルカ出來ナイカト云フコトヲ、
明確ニ致シテ居リマセヌデシタ、デアリマ
スルカラ此處デソレヲ明ニ致シマシタ、第
二項ガ是亦新設ノ規定デアリマシテ、少額
債權及ビ擔保ノアル債權、其他之ヲ辨濟致
シマシテモ、他ノ債權者ヲ害スル虞ノナイ
債權、斯様ナモノニ付テハ申出期間内デモ
辨濟ガ出來ル、斯ウ云フコトヲ明ニ致シマ
シタ、御承知ノ通りニ小口債權ニ付テ之ニ
特殊ノ保護ヲ與ヘルト云フコトハ、全ク必
要デアリマス、今日和議法、破産法等ニ於
テ、ソレ等小口ノ債權ニ付テ特殊ノ關係ヲ
顧ミナカッタノハ、確ニ不備ダト存ズルノデ
アリマス、デアリマスルカラ此案ニ於キマ
シテハ、ソレ等ヲ特ニ保護スル趣旨カラ、
斯様ナ規定ヲ置キマシタ、尙ホ擔保ノアル
債權ハ、ドウセ擔保ニ依ッテ辨濟ヲ確保サレ
テ居ルノデアリマスルカラ、之ニ先ニ辨濟
ヲシテシマッタ所デ、他ノ債權者ヲ害シナ
イノデアリマス、左様ナ關係カラ致シマシ
テ、第二項ノ規定ヲ置イタノデアリマス、
第四百二十四條ノ第二項モ亦新設ノ規定デ
アリマスルガ、一部ノ株主ニ對シマシテ既
ニ分配ヲ爲シマシタ場合ニハ、是ト同一ノ
割合デ他ノ株主ニモ分配スルヤウニ、清算

ヲ仕向ケテ行カナケレバナラヌ、其必要カ
ラ第二項ノ規定ヲ置イタノデアリマス、詰
リ一部ノ株主ニ既ニ辨濟ヲ致シマシタナラ
バ、他ノ株主ニモソレト同一ノ割合デ分配
ヲ爲スニ要スル財産ダケハ、取ッテ置カナケ
レバナライト云フコトヲ明ニシタノデア
リマス、次ニ第四百二十七條ノ第二項デア
リマスルガ、是亦新設ノ規定デアリマス、
第一項ハ現行規定ト同趣旨デアリマシテ、
清算事務ガ終リマシタ場合ノ規定デアリマ
ス、サウシテ清算人ハ決算報告書ヲ作ッテ、
株主總會デ其承認ヲ求メルコトニナッテ居
リマス、所ガ此承認ノ結果ハ、清算人ノ責
任ガ解除セラル、カ否カト云フコトニ付テ
ハ、現行法ハ缺ケテ居リマシタ、デアリマ
スルカラ、之ヲ補ヒマシテ、此承認ガアレ
バ清算人ノ責任ガ解除サレタモノト看做ス
ト云フ規定ヲ、茲ニ置キマシタ、御承知ノ通
リニ現行法ニ於キマシテハ、取締役、監査役
ニ同趣旨ノ規定ガアリマシテ、計算書類ノ承
認ハ、是等ニ對スル責任ノ解除アリタルモノ
ト看做スト云フコトニナッテ居リマシタ、ソ
レヲ此案デハ改メマシテ、計算書類ノ承認
ハ、直チニ責任ノ解除ト云フ結果ニハナラ
ナイノデアッテ、承認後二年内ニ特段ノ決議
ガナケレバ、其一年ノ經過シタル時ヲ以テ、

責任ノ解除ニナルノデアルト云フコトニ致シマシタ、デアリマスルカラ計算書類ノ承認ノ後、二年内ハ大イニ責任ヲ問ウテモ宜イ譯デアリマス、ケレドモ清算人ニ付テハソレハ酷デアリマス、ノミナラズ、ソレガ爲ニ清算行爲ノ殘餘行爲ガ、更ニ殘ルコトニナリマシテモ、甚ダ法律關係ノ調整上工合ガ惡イノデアリマスカラ、清算人ニ付キマシテハ、現行法ニ於ケル取締役、監査役ト同様ニ、計算書類ノ承認ガ、即チ責任解除ダト云フコトニ致シタノデアリマス、第四百二十八條ハ設立無効ノ訴ニ關スル規定デアリマシテ、茲ニ第三項ニ準用ニナッテ居リマスルノハ、合名會社デ既ニ御説明ヲ申上ゲタ規定デアリマス、第四百三十條ニ多クノ條文ガ準用サレテ居リマスルガ、是ハ現行法ト全ク其趣旨モ規定ノ體裁モ同様デアリマス、唯本案ニ於テ新設セラレマシタ規定ガ、其必要部分ニ應ジテ加ッテ居ルダケデアリマス

○野村委員長 ソレデハ第二款特別清算

○大森政府委員 第二款特別清算ハ、先程申述ベマシタ通りニ、新設ノ規定デアリマス、思フニ解散後ノ清算手續トシテ適用セラレマスルノハ、此第二款場合ガ一番多クハナイカト豫想ヲスルノデアリマス、即

チ會社解散後ノ跡始末ト云フコトニナリマスルト、先程申述ベマシタ第一款ノ總則、即チ普通ノ清算ニ依ルカ、或ハ第二款ノ特別清算ニ依ルカ、或ハ又破産ニ依ルカト云フノデアリマス、即チ第一款總則ニ依リマスル場合ハ、工合ノ最モ宜シイ場合、破産ニ依リマス場合ハ工合ノ最モ惡イ場合、此最善最惡ノ場合ヲ除キマシテ、終款ノ特別清算ト云フノガ、爾後最モ適用ガ多クハナイカト存ジテ居リマス、第四百三十一條ハ如何ナル場合ニ特別清算ヲスルカト云フコトヲ明ニシタノデアリマス、ソレハ清算ノ遂行ニ著シキ支障ヲ來スベキ事情アリト認ムル場合、及ビ會社ニ債務超過ノ疑アリト認ムル場合デアリマス、サウシテ其申立權者ガヤハリ此規定ノ中ニ明ニナッテ居ルノデアリマシテ、債權者、清算人、監査役、株主、是等ノ申立又ハ職權ニ依ルノデアリマス、御承知ノ通りニ、會社整理ニ付キマシテハ、債權者モ亦整理開始ノ申立權者デアリマシタガ、是ハ一定額以上ノ債權者デナケレバナラナカッタノデアリマス、併シ特別清算ニハ其制限ヲ取リマシテ、是ハ既ニ解散後ノ問題デアリマスルカラ、別ニ之ヲ限定スル必要ガナイト思ッタノデアリマス、尙ホ第二項ニ於キマシテ會社

ニ債務超過ノ疑ガアルナラバ、清算人ノ義務トシテ、斯ル特別清算ノ申立ヲシナケレバナラナイト云フコトヲ明ニシタノデアリマス、末項ニ準用致シテ居リマスルノハ、會社整理ニ關スル規定デアリマシテ、例ノ監督官廳ノ申出、ソレカラ申立濫用ニ關スル規定デアリマス、第四百三十二條ハ特別清算開始前デモ、保全假處分的ニ出來マスル其處分ヲ、茲ニ規定シタノデアリマス、茲ニ準用シテ居リマスル條文ノ内容ハ、會社財産ノ保全處分、株式ノ名義書換ノ停止、發起人、重役等ノ個人ノ財産ノ保全處分、ソレ等ニ關スル規定デアリマス、次ニ第四百三十三條ニ準用ニナッテ居リマスル規定ハ、開始命令ニ基ク登記、破産手續、和議手續、強制執行、假差押、假處分ノ停止又ハ執行ニ付テノ規定、ソレカラ會社債權者ノ權利ノ時効ノ停止ニ關スル規定、何レモ會社整理ニ付テ申述ベタ所ト同様デアリマス、第四百三十四條ハ清算人ノ職責ヲ明ニ致シタ規定デアリマス、特別清算ノ場合ニ於テハ、清算人ハ會社株主及ビ債權者ニ對シ、公平且ツ誠實ニ清算事務ヲ處理スル義務ヲ帶ブト云フコトヲ明ニ致シマシタ、本來斯ル精神ハ、普通清算ニ於ケル清算人ニ付テモ同様デアラウト思フノデアリマスガ、併シ普

通清算ニ付テノ清算人ニハ、現行法ニモ本案ニモ、斯ル規定ヲ置カナカッタノデアリマス、ソレヲ何ガ故ニ特ニ特別清算ノ場合ニ限ッテ規定シタカト申シマス、特別清算ノ場合ニ於キマシテハ、破産デアリマセヌケレドモ、破産的色彩ガ大分加ッテ參ルノデアリマス、即チ裁判所ノ監督ガ餘程強クナッテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、此清算人ノ地位ガ普通ノ清算人ト言ヒマスヨリモ、寧ロ破産管理人ニ近キモノニナッテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ茲ニ此法文ヲ明ニ致シマシテ、其清算人ノ地位職責ヲ明確ニシテ置クコトガ、蓋シ必要デハナイカト存ジタ次第デアリマス、次ニ第四百三十五條ハ、清算人ヲ解任スルコトニ關スル規定デアリマス、第四百三十六條ハ、清算ノ監督ニ關スル規定デアリマス、御承知ノ通り普通清算ニ付キマシテモ、裁判所ノ監督ト云フコトガアリマスルケレドモ、是ハ個々ノ條文ニ個々ニ現ハレテ居ルノデアリマシテ、其監督ノ體裁モ比較的微弱デアリマス、併シ特別清算ハ其性質ニ鑑ミマシテ、左様ナ手續イ監督デハ足りナイノデアリマシテ、茲ニ其點ヲ明ニ致シテ居リマス、尤モ裁判所ノ監督ニ關スル規定ハ、是ダケデハナイノデアリマスガ、是ガ監

督ニ關スル基礎的ノ規定デアリマス、第四百三十七條ハ裁判所ガ清算ノ監督上必要アリト認メタル場合ニ、爲シ得ル處分ヲ掲ゲタルデアリマシテ、是亦準用ニナッテ居リマスルガ、ソレハ會社財産ノ保全處分、株式名義書換ノ停止ノ處分、發起人、重役等ノ個人財産ニ對スル保全ノ處分デアリマス、次ニ第四百三十八條ニ於キマシテ、會社ノ債務ニ付テノ分配ノ原則ヲ明確ニ致シマシタ、即チ第一項ニ於キマシテ、債權額ノ割合、按分主義デアリマシテ、所謂公平分配ノ主義ヲ明ニ致シマシタ、其趣旨ニ於テ破算手續ト同様デアリマス、併シ第二項ニ之ニ對スル例外ヲ規定シタノデアリマス、ソレハ第四百二十三條ノ第二項ヲ準用致シマシタガ、御承知ノ是ハ小口債權、ソレカラ擔保ノ附イテ居リマスル債權、是等デアリマス、小口ノ債權ニ付キマシテハ、是等債權者ノ地位ニ鑑ミマシテ、特殊ニ之ヲ考慮シテ利益ニ取扱ッテヤラナケレバナリマセス、又擔保附ノモノデアラナラバ、ドウセ擔保ガアルノデアリマスルカラ、全額ヲ辨濟致シマシテモ、他ノ債權者ノ害ニハナラナイカラデアリマス、第四百三十九條ハ債權者集會ニ關スル規定デアリマス、是ハ必要ノ手續デハナイノデアリマス、清算人

ガ清算ノ實行上必要アリト認メタル場合ニ、之ヲ招集スルノデアリマス、是ハ第一項デ明カデアリマス、併シ此清算人ガ招集シマスル場合ノ外ハ、所謂少數債權者ノ招集權モ認メテ置キマシタ、ソレカラ此末項デアリマスガ、破産ノ場合ニ於テ別除權ヲ行使スルコトヲ得ル、譬ヘテ申シマスレバ、抵當權者ノ如キモノ、是等ハ抵當權ノ行使ニ依リマシテ、完全ナル辨濟ヲ受ケ得ラレルノデアリマスカラ、是等ノ債權者集會ニ於テ、自分ノ權利ヲ行使スルト云フ必要ハナイノデアリマシテ、隨テ是等ノ債權額ハ、此基礎タル計算關係ヲ債權額ニ算入シナイト云フコトヲ明ニ致シタ次第デアリマス、次ニ第四百四十條デアリマス、此別除權ヲ持ッテ居リマスル者ハ、是ハ別除權ノ行使トシテ、自分ノ債權ヲ實行スレバ宜イノデアリマスルガ、是等ハ債權者集會デ議決權ノ行使ガ出來ナイト云フコトヲ明ニ致シマシタ、其關係上、前條ノ末項ノ債權額ヲ算入シナイト云フコトモ起ッテ來ルノデアリマス、併シ此別除權者ガ議決權ヲ持チマセスシ、隨テ此集會ノ組織員ニハナリマセスケレドモ、是等ガ非常ナル多額ノ債權者デアリマシテ、自分ノ債權ノ幾分ヲ割イテ他ニ廻ストカ、或ハ自分ノ權利ノ實行ヲ少シク待ツト云フヤウナコ

トヲシテ、多數債權者ノ爲ニ、自ラ進ンデ便益ヲ圖ッテ呉レルナラバ、他ノ債權者ガ大變好都合デアアルコトハ申ス迄モナイノデアリマス、デアリマスルカラ、此債權者ニ出席ノ機會ヲ與ヘ、サウシテ是ノ意見ヲ求メルト云フコトガ出來ル途ヲ開イテ置ク必要ガアリマス、即チ第二項、第三項ニ其コトヲ規定致シタ次第デアリマス、次ニ第四百四十一條デアリマスルガ、債權者集會ニ於ケル議決權行使ノ基準デアリマス、此種類ノ規定ガ、丁度御承知ノ和議法ニアリマスカラ、其和議法ノ規定ヲ參酌致シマシテ、同趣旨ノ規定ヲ茲ニ持ッテ參タノデアリマス、四百四十二條ハ修正ノ條文ヲ引用致シテ居ルノデアリマスガ、是ハ株主總會ニ付テノ本案ノ規定、ソレカラ債權者集會ノ決議方法ニ關スル破産法ノ規定、是等ヲ持ッテ參リマシテ、是等ノ規定ニ依リマシテ、特別清算ニ於ケル債權者集會ヲ律シヨウト致シタ次第デアリマス、四百四十三條ハ、此集會ニ對スル清算人ノ爲スベキ義務デアリマス、即チ清算人ハ、會社ノ業務、財産ノ狀況ヲ調査書、ソレカラ財産目錄、貸借對照表ヲ債權者集會ニ提出致シマシテ、整理ノ實行ノ方針ナリ、見込ニ付テ、自分ノ意見ヲ述ベナケレバナラナイト云フコトニ致

シマシタ、第四百四十四條ハ、債權者集會ガ自身デ以テ監査委員ノ選任ヲ、爲スコトガ出來ルト云フコトニ致シマシタ、此監査委員ハ、債權者集會デ選ブノデアリマスカラ、又債權者集會ニ於テ之ヲ解任スルコトモ出來ルノデアリマス、尤モ此選任解任ハ、裁判所ノ認可ヲ必要トスルコトニ致シマシタ、是ガ監査委員ニ關スル規定デアリマスルガ、次ニ第四百四十五條デアリマス、是ハ監査委員ノ權限ヲ茲ニ規定シタノデアリマス、監査委員ト云フノハ如何ナル事ヲスルノデアアルカ、即チ如何ナル事ヲスルコトニ於テ監査委員ヲ設クルノ必要ガアルカト云フコトガ、此條文デ明ニナル譯デアリマス、即チ茲ニ掲ゲデアリマスル事柄ヲ爲シマスルノニハ、監査委員ノ同意ヲ經ナケレバナラナイ、又若シ監査委員ガナケレバ、債權者集會ノ決議ガナケレバナラナイト云フコトヲ明ニ致シマシタ、ヤハリ和議法ニ同趣旨ノ規定ガアリマスカラ、ソレニ準ジタ次第デアリマス、次ニ第四百四十六條デアリマスガ、前條デ斯様ナ事柄ヲスルニ付テ、監査委員ノ同意、又ハ債權者集會ノ決議ヲ必要トセシメタ所以ノモノハ、蓋シ是等ノ財産ノ處分ヲ適正ニヤルト云フ趣旨カラ出デ參タノデアリマス、即チ清算人ガ勝手ニ

之ヲ投資スルト云ツタヤウナコトヲ防グ趣旨デアリマス、デアリマスカラ、清算人が競賣ニ依リマシテ、財産ノ換價ヲ致シマスナラバ、是ハ監査委員ガ之ニ容喙スル必要モナイノデアリマスシ、債權者集會ガ之ニ干涉スル必要モナイノデアリマス、蓋シ競賣ニ依リマスルト、其價格ガ適正デアルカラデアリマス、次ニ第四百四十七條デアリマスルガ、清算人ハ監査委員ノ意見ヲ聽キマシタ上デ、債權者集會ニ對シテ協定ノ申出ヲ爲スコトガ出來ルト云フコトヲ明ニ致シマシタ、茲ニ現レテ來マスル協定ト云フノハ、新シイ事柄デアリマス、協定ト云フ文字ヲ用ヒマシタケレドモ、實際上ハ一種ノ和議デアリマス、和議デアリマスケレドモ、和議法ニ依ル和議デハナイノデアリマシテ、特別清算ノ手續カラ生ズル一種ノ和議デアリマスカラ、和議ト云フ文字ヲ故ラニ避ケマシテ、協定ト云フ文字ニシタノデアリマス、蓋シ和議法ノ和議ト混同スルノ虞ガアツタカラデアリマス、第四百四十八條ハ協定ノ條件ヲ明ニシタノデアリマス、即チ協定ノ條件ハ、原則トシテ先以テ平等デナケレバナライト云フコトヲ明ニ致シマシタ、是モヤハリ和議ノ精神ト同様デアリマス、併シ和議法ニ缺ケテ居ル事デアリマシ

テ、而シテ實際上此缺ケテ居ルコトガ、甚シク非難ノ目的ニナツテ居ル所ヲ、茲ニ補充シタノデアリマスガ、即チ少額ノ債權ニ付別段ノ定メヲ爲シマシタリ、又差等ヲ設ケマシテモ、ソレガ一般ノ健全ナル常識カラ考ヘテ見マシテ、決シテ衡平ヲ害シナイモノダ、斯ウ云フ場合ニハ、必シモ平等ナルコトヲ要シナイ、詰リ平等ハ原則デアリマスケレドモ、平等ナラザルコトガ、却テ宜イト云フ場合ガアリ得ルノデアリマス、左様ナ場合ニハ必シモ平等ノ制限ニ拘束サレナイデ宜シイト云フコトヲ明ニ致シマシタ、ソレカラ第二項ニ一般ノ先取特權ノ優先權、是等ハ條件ヲ定ムルニ付テ、ヤハリ之ヲ斟酌シナケレバナライト云フコトヲ明ニ致シマシタ、即チ特殊ノ關係アル者ニ付テハ、其特殊ノ地位ヲ斟酌スベキデアル、徒ニ數量ニ於テノ平等ニコダハツテハイケナイト云フ精神ヲ、茲ニ表ハシタ積リデアリマス、次ニ第四百四十九條デアリマスガ、此協定案ノ作成ニ當リマシテ、必要ガアルナラバ、清算人ハ別除權者ノ參加ヲ求メテ宜シイト云フコトニ致シマシタ、別除權者ハ此手續カラハ除外セラレルノデアリマシテ、是ハ極メテ有利ナ地位デアリマシテ、自分ガ擔保權ヲ持ッテ居ル

ノデアリマスカラ、其擔保權ヲ満足ヲスル譯デアリマスガ、此別除權者ガ參加ヲシテ、自分達以外ノ債權者ノ爲ニ利益ヲ圖ッテ呉レマスカラバ、是ハ極メテ結構ナコトデアリマスカラ、清算人ノ方デ別除權者ニ泣付イテ其同情ヲ求メルト云フヤウナコトモ、大イニアリ得ルノデアリマス、左様ナ關係ヲ考慮致シマシテ、此條文ヲ置イタ次第デアリマス、第四百五十條ハ協定ヲ可決致シマスル其條件ヲ、茲ニ規定致シタノデアリマス、丁度特別決議ノヤウナ重キ要件ヲ茲ニ定メタノデアリマス、御承知ノ通りニ之ニ類スル規定ハ破産法、和議法ニモアリマスカラ、ソレ等ヲ參酌シテ此規定ヲ設ケタ次第デアリマス、第四百五十一條ハ協定ノ條件ヲ變更スル場合ニ關スル規定デアリマス、一且協定ガ出來マシテモ、會社財産ノ狀態ノ其後ノ變遷ニ依リマシテハ、協定ノ條件ヲ變更シテ行カナケレバナライ場合ガ生ジ得ルノデアリマス、其場合ニ付テ規定ヲ設ケテ置キマス、却テ協定ノ實行ト云フコトガ行ハレナイノデアリマス、現行和議法等ニハ是等ニ付テノ規定ガ不十分デアリマシガ爲ニ、兎角紛爭ヲ生ジテ居リマスガ、之ヲ一旦協定ガ出來タカラト云ッテ無理ニ強ヒ、又ハ強ヒルコトスラ出來ナイ場合モ起

リ得ルノデアリマシテ、左様ノ關係ノ爲ニ此協定條件ノ變更ノ場合ヲ豫想シテ、茲ニ規定ヲ致シマシタ、併シ其變更ニ付キマシテモ、ヤハリ原則トシテ平等ノ原則ヲ守ルトカ、或ハ議決權ノ行使ニ付テノ制限ヲ守ルバナリマセヌ、デアリマスカラ、前四條ノ規定ニ從ヒマシテ協定ノ變更ガ出來ルト云フコトヲ、茲ニ明ニシタ次第デアリマス、第四百五十二條ハ検査ヲ命ズル規定デアリマシテ、是ハ會社ノ整理ノ中ニモ既ニ斯様ナ規定ガアリマシタガ、ソレニ對應スル規定デアリマス、次ニ第四百五十三條ハ検査役ガ調査ノ結果、裁判所ニ報告スベキ事項ヲ茲ニ規定ヲ致シマシタ、是ハヤハリ會社ノ整理ノ検査ニ付テ申述ベタコトト同趣旨デアリマス、第四百五十四條ハ右検査役ノ報告ニ依リマシテ、裁判所ガ爲シ得ル處分ヲ茲ニ列舉致シタノデアリマス、是亦多ク會社整理ニ付テ申述ベタ所ト同様デアリマスカラ、繰返シ申述ベマスルコトハ差控ヘタイト存ジマス、第四百五十五條ハ是ハヤハリ最惡ノ場合デアリマシテ、特別清算ヲ折角ヤリマシタケレドモ、到底協定ノ見込ガナイト云フ場合ニハ、之ヲ破産ニ移スノ外ハナイノデアリマシテ、職權ヲ以テ破産法ニ

從ヒマシテ、破産ノ宣告ヲスルノデアリマス、協定實行ノ見込ノナイ時モ亦同様デアリマス、デアリマスカラ、之ヲ要スルニ特別清算ハ、特別清算トシテ裁判所監督ノ下ニ財産ノ分配ガ旨ク出來レバ、ソレデ結構デアリマスルシ、更ニ又特殊ノ方法トシテ協定ト云フモノヲ立案セシメ、實行セシメル譯デアリマス、所ガソレスラ出來ナカッタト云フ場合ニハ、破産ニ流レテ行クノ外ハナイノデアリマス、此破産モ亦地方裁判所ノ專屬管轄ニスル積リデアリマシテ、是亦必要ナ法規ノ改正ヲ致サナケレバナラス、第四百五十六條ハ會社整理ノ場合ニ於キマスル株金拂込ノ簡易手續、ソレカラ整理終結決定ニ關スル整理ノ規定デアリマス、ソレカラ相關スル整理ノ目的タル財産ノ處分ニ付殺禁止、又別除權ノ目的タル財産ノ處分ニ付テノ破産ノ規定、是等ヲ特別清算ノ場合ニ準用致シマシタリ、又破産管財人ノ代理人ノ選任ナリ、破産管財人ニ對スル費用ノ前拂、報酬、是等ニ關スル破産法ノ規定ヲ、ヤハリ清算人ニ持ッテ行ツタ次第デアリマス

○仲井間委員 是ハ條文ノ問題デハナイノデスガ、社債權者集會ト云フモノト、ソレカラ會社ノ整理ニ關スル一般ノ債權者トノ聯繫ニ付テ伺ヒタイノデスガ、社債權者集會ハ社債ニ對シテ其債權者ダケノ集會デス

ガ、普通ノ一般債權者モ此社債權者ト一緒ニ、何トカ行ケルト云フヤウナコトヲ御考ニハナリマセヌデシタカ、又實際問題トシテドウナッテ行キマスカ、其點ヲ一寸伺ヒタイ

○大森政府委員 社債權者集會ハ御承知ノ通り、社債權者ノ利益ノ爲ニノミ存スルノデアリマシテ、社債權ト云フ一團ノ債權者ノ權利行使ノ必要上、之ヲ設ケタモノデアリマス、デアリマスカラ、社債權者集會ト社債權者以外ノ債權者トノ間ニハ、別段ノ聯繫ハナイノデアリマシテ、之ニ聯繫ヲ付ケル程ノ必要モナイト存ジタ次第デアリマス、併シ此特別清算人ヲ置キマスル債權者集會ハ、是ハ一般ノ債權者ノ集會デアリマシテ、社債權者タルト否タルコトハ、固ヨリ問ハナイノデアリマス

○佐竹委員 小サナ問題デアリマスカ、第四百三十八條、四百四十八條等ニ規定致シテ居リマスル所謂少額債權、小口債權ノ限度ハ、凡ソドノ程度ノ御考デアリマセウカ

○大森政府委員 是ハ甚ダ無責任ノヤウデアリマスカ、私共ト致シマシテハ、其限度ヲ豫定致シテ居リマセヌ、ト云フノハ場合々々ニ應ジマシテ考ヘナケレバナラナイダラウト思フノデアリマス、ト申シマスルノハ例ヘバ之ヲ百圓ト致シマシテモ、其百

圓ノ所謂小口債權者ガ、或ル會社ニハ千人アリ、又或ル他ノ會社ニハ十人シカ居ナイト云フ場合モアリマス、デアリマスカラ、一般的ニ幾ラカ小口ノ標準デアルト云フコトハ、豫想ハ出來マセヌ、是ハ要スルニ裁判所ガ實情ニ適應シテ、適正ニ判斷ヲスル、詰リ健全ナル常識ヲ以テ運用スルト云フ外ニナイカト存ジテ居リマス

○山本委員 是ハ條文ノ問題デアリマセヌガ、アトニハ餘リナイヤウデスカラ、茲デ御尋致シタイト思ヒマス、本法ノ中デ特別清算、ソレカラ其他ノ各條項ノ中ニ裁判所ノ關與スベキ事項ガ非常ニ増大セラレテ居ル、又裁判所ノ職權ヲ以テ爲スベキ事項ガ非常ニ殖エテ居ル、ソレカラ裁判所ノ認可ヲ受クベキ事項モ殖エテ居ル、ソレカラ裁判所ニ申請シテ裁判所ノ決定ヲ俟ツベキ事項モ殖エテ居ル、斯様ニ裁判所ノ介入スベキ事項、竝ニ裁判所ノ選任シタル検査役等ノ爲スベキ事項ガ、非常ニ殖エテ居リマスカ、現在ノ裁判所ノ構成デハ折角改正セラレタ法案ノ實績ヲ舉ゲルニ、甚ダ疑ハシイト思ハレルノデアリマス、何トナレバ申ス迄モナク實業界ノ實情ト云フモノハ、中々理論通りニ行カナイノデ、隨デ會社ノ實際ノ狀況、實業界ノ實際ノ狀況、經濟

上ノ趨向ト云フヤウナモノヲ、最モ正確ニ認識セラレテ、サウシテ其時々々ニ極メテ適正妥當ナル命令ナリ、認可ナリ、許可ナリヲスルコトガ、本法案ノ實施ノ功績ヲ舉ゲル所以ダト思ハレルノデアリマス、然ルニ現在ノ裁判所ノ構成ノ狀態デハ、甚ダ御無禮カモ知レマセヌケレドモ、サウ云フ方面ニ極メテ堪能ナリト思料セラレル裁判官ガ、區裁判所ヤ地方裁判所ニハ數多ク居ラレナイト思ハレルノデアリマス、故ニ政府ハ本法案ノ實施ニ付テハ、特ニ此非訟事件關係ノ取扱ハ、非訟事件手續法ニ規定ガ出來ルデアリマセウケレドモ、其取扱ニ付テハ特別ノ部ヲ設ケルナリ、裁判官ノ任命ヲスルナリシテ、本法案實施ノ效力ヲ増大スル考アリヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒマス

○大森政府委員 洵ニ御尤ナ御尋デアリマシテ、只今御陳述ニナリマシタ所ハ、私共モ全ク其感ヲ同ジクスルノデアリマス、先ヅ第一ニ此法案ガ法律ニナリマシテ、ソレガ實施セラレル場合ニ、先以テ憂慮シナケレバナラヌノハ、判事ノ數ノ少イコトデアリマス、此判事ニ付キマシテハ、一般的ニ昨年御協賛ヲ仰ギマシタ豫算ニ依リマシテ、幾ラカ殖エマシタケレドモ、固ヨリ是ハ私共ニ於テ十分ダトハ思ハレナイノデア

リマス、ノミナラズ、ソコヘ此法案ニ依ッテ裁判所ノ爲スベキコトガ、甚シク殖エタノデアリマスルカラ、今日ノ判事ノ數デハ到底足りナイノデアリマス、デアリマスルカラ、此法案ガ法律トナッテ實施セラレマスル場合、私共ト致シマシテハ之ニ必要ナル判事ノ増員ヲ得ナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、是ハ數ノ問題デアリマスルガ、尙ホ實質ノ問題ニ於キマシテ、能ク此法案ノ運用ニ適シマスルヤウニ、御互ニ堅ク相戒メ、又督勵ヲ致シマシテ、十分此法案ノ趣旨ニ副フヤウニ、勉強ヲシナケレバナラナイト云フコトヲ、私共ハ考ヘテ居リマス、殊ニ此法案ニ於キマシテハ、非訟事件ノ仕事ガ殖エタノデアリマス、所ガ從來ハ非訟事件ニ兎角重キヲ置カナイト云フヤウナ弊害ガアッタヤウニモ思ハレルノデアリマス、是ハ甚ダ惡イコトデアリマシテ、是等ハ私共ハ諸方ニ居リマスル監督官ト能ク協議ヲ致シマシテ、此非訟事件ノ部ヲ充實スルト云フコトニ、十分ノ努力ヲ致シタイト存ズルノデアリマス、ドウカ私共ノ努力ニ對シマシテ、ソレゾレ御刺戟ナリ、御鞭撻ナリヲ賜ハラシコトヲ、深く希フ次第デアリマス

○山本委員 能ク諒承致シマシタ、サウ云フ御趣旨デアリマスレバ、本法案實施ニ際シマシテハ、必ズ司法當局ニ於テ、本法案實施ノ效力ヲ確保スル爲ニ、必要ナル判事増員、其他非訟事件取扱ニ關スル適正妥當ナル方法ヲ講ズル爲ニ、必要ナル經費等ヲ、議會ニ豫算ヲ提出セラレテ、實施スルト云フコトヲ御言明置キガ願ヒタイノデアリマス

○大森政府委員 御注意ハ洵ニ感謝ヲスル次第デアリマス、私共ト致シマシテモ、此實施ニ當リマシテ、必要ナル費用ハ固ヨリ之ヲ請求シナケレバナラナイト存ジテ居リマス、私共モ十分ノ努力ヲ致シマスルガ、ドウカ外部カラ直接間接ニ、此點ニ付キマシテ十分ナル御支援ヲ賜リタイト希望ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○野村委員長 ソレデハ午前ハ是デ休憩致シマシテ、午後一時半カラ始メルコトニシマス

經費ノ増加ノ必要ヲ痛感致シマス共ニ、公證人制度ノ改正、又在野法曹ヲシテ之ニ協力セシムルコト等ニ付テモ、相當御考慮ヲ願ハナケレバナラスト思ヒマスノデ、此際政府ノ意アル所ヲ伺ッテ置キタイト存ズル次第デアリマス、御承知ノ如ク債務調停法ガ實施サレマスルヤ、在野法曹團ハ極力之ニ反對ヲ致シマシタ、其所以ハ各種調停法ガ出來マシテ、次第ニ辯護士ヲ拔キニシヨウトスル傾向ガ生レタコト、之ニ依ッテ其職業上ニモ影響スル所ガ相當大ナルモノガアッタコトト考ヘルノデゴザイマス、私ハ私一個ノ意見トシテハ、此調停法ノ存在ハ洵ニ適當デアル、是ハ其存在ヲ必要トスルモノデアルト考ヘマスケレドモ、在野法曹ヲ拔キニシヨウトスル傾向ノ生レテ居リマスコトニ付テハ、相當考慮スベキコトデアルト存ズルノデゴザイマス、是デハ眞ニ圓滿ナル法ノ遂行ハ期シ得ナイト考ヘマス、進ンデ是ト緊密ナル關係ヲ保チ、之ヲ利用シ以テ其運用ノ完璧ヲ期スベキデハナイカト考ヘルノデアリマス、今茲ニ商法改正案ノ審議ニ當リマシテ考ヘマスルコトハ、商法改正案ガ通過致シマス時ハ、検査役選任ノ場合ガ非常ニ澤山ニ出テ參リマス、會社整理ニ關シマシテハ監督

員、管理人ノ選任ヲ必要トシ、更ニ特別清算ノ規定等ガ新設セラレマシテ、清算人ハ特ニ法律ノ知識ヲ有スルコトヲ要求セラル、狀態ニナッテ居ルノデゴザイマス、仍テ是ガ選任ニ當リマシテハ、裁判所ハ在野法曹ト緊密ナル關係ヲ保チマシテ、辯護士中ヨリ之ヲ選任スル方針ヲ樹テラレタイト希望スル次第デアリマスガ、如何デゴザイマセウカ、更ニ進ンデハ取締役、監査役中ニモ必ズ何程カノ辯護士ヲ入レルコトヲ必要トスルト云ッタ迄ニ進ンデ行クベキデハナイカト考ヘルノデゴザイマス、斯クシテ在野法曹ヲシテ單ニ喧嘩ノ片棒擔ギデアルカノ如キ感ヲ一掃シ、進ンデ各種機構ニ參畫セシメテ品位向上ヲ圖リ、其職業的立場ヲ確保スルト云フコトハ司法省ノ一ツノ努メデナクテハナラヌト思フノデアリマス、曩ニ司法省ガ辯護士法ヲ改正致シマシタ趣旨ニ照シマシテモ、辯護士ヲシテ斯ク進ンデ有ユル機關ニ參畫セシムルト云フコトノ必要ヲ痛感致シマス次第デアリマスガ、政府ノ御意嚮ヲ此際ニ承リタイト存ズル次第デアリマス

○大森政府委員 只今ノ御尋ニ依リマシテ、日頃私共ノ抱懷シテ居リマスル考ノ一端ヲ申上ゲル機會ヲ得マシタコトヲ私ハ大イニ喜ビトスルノデアリマス、御指摘ノ通

○野村委員長 是カラ始メマス——佐竹君對スル大森政府委員ノ御答辯ニ關聯致シマシテ、此際一言御尋ヲ申上ゲテ置キタイト考ヘマス、今回商法改正ニ當リマシテ、是ガ圓滑ナル運用ノ爲ニハ、裁判所職員並ニ

午前十一時五十五分休憩
午後一時四十分開議

○佐竹委員 先程山本委員ヨリノ御質問ニ對スル大森政府委員ノ御答辯ニ關聯致シマシテ、此際一言御尋ヲ申上ゲテ置キタイト考ヘマス、今回商法改正ニ當リマシテ、是ガ圓滑ナル運用ノ爲ニハ、裁判所職員並ニ

○大森政府委員 只今ノ御尋ニ依リマシテ、日頃私共ノ抱懷シテ居リマスル考ノ一端ヲ申上ゲル機會ヲ得マシタコトヲ私ハ大イニ喜ビトスルノデアリマス、御指摘ノ通

リニ此法律案ガ法律ニナリマシテ實施ヲスルコトニ相成リマスレバ、裁判所ノ充實ヲ必要トスルコト固ヨリ當然デアリマス、次ニ公證事務ノ改善是亦大イニ必要デアラウト思フノデアリマス、更ニ在野法曹トノ協調ヲ一層綿密緊切ニ致シマスルコト是亦言フ迄モナイ所ト考ヘテ居ルノデアリマス、私共ハ司法ノ末班ニ職ヲ奉ジマシテ、司法權擁護ノ一走卒トナルコトヲ以テ畢生ノ光榮ト存ジテ居ルノデアリマス、申ス迄モナク司法ト言ヒマスルモノハ正シキ權益ノ擁護ニ存スルノデアリマスルガ、此在野法曹モ亦勿論正シキ權益ノ擁護ニ當ルコトヲ以テ其職責トシテ居ラレル公職デアリマス、デアリマスルカラ私共ト全ク其職責目的ヲ同ジウスルノデアリマシテ、共ニ相助ケテ司法權ノ擁護ニ當ル次第デアリマス、率直ニ碎イテ申シマスレバ、私共カラ見マスレバ在野法曹ハ最モ頼リニナル味方デアリマス、在來私共ハ此感ヲ深く致シマシテ、在野法曹トノ協調ヲ深く且強クスルト云フコトニ努メテ居リマシタ、然ルニ吾々ノ努力ノ足リマセヌ爲ニ、兎角ノ非難ヲ招キマシタコトハ私共トシテ慚愧ニ堪ヘザル所デアリマス、丁度此商法改正案ノ提出ト云フ此機會ニ依リマシテ、更ニ此點ニ一層ノ努力ヲ致シタ

イト存ジテ居ル次第デアリマス、尙ホ調停制度、殊ニ金錢債務臨時調停法ニ付キマシテ、在野法曹ノ一部ニ非難ノアリマスルコトハ、私共モ承知ヲ致シテ居リマス、ケレドモ只今金錢債務臨時調停法ハ、ヤハリ之ヲ存續スベキモノデアルト云フ御意見ノ御陳述ガアリマシタガ、是ニハ全ク私共ハ感ヲ同クスル者デアリマシテ、多ク述べル必要モナイト存ズルノデアリマス、併ナガラ調停制度ガ辯護士ヲ排斥スルヤウニ出來テ居ル、左様ニ實際ノ運用モナッテ居ルト云フヤウナ御非難デアリマシタガ、御承知ノ通り借地借家調停法ノ第七條但書ニ依リマシテ、代理ノ許可ガアルノデアリマス、ケレドモ此許可ニ付キマシテハ此代理人ガ辯護士デアリマスルナラバ、唯委任狀ヲ出シサヘスレバソレデ宜イノデアッテ、特設ノ許可ヲ必要トシナイ、詰リ第七條但書ノ條文ヲ極度ニ擴張致シマシテ、自由ニ解釋致シテ居リマスルコトハ御承知ノ所デアラウト思フノデアリマス、要スルニ調停制度ノ運用ニ付キマシテ、私共ハ決シテ辯護士諸君ヲ排斥スル積リハナイノデアリマス、要スルニ先程モ申シマシタ通りニ、辯護士諸君トノ協調ヲ更ニ一層深く強クスルト云フコトニ付テハ、私共モ十分ニ努力ヲ致シタイ

ト存ズルノデアリマス、尙ホ此案ニ現レテ居リマスル通りニ、會社ノ整理及ビ特別清算ト云フ制度ヲ設ケタノデアリマス、此二ツノ制度ノ如キハ、本案改正ノ最モ重要ナル點ニ該當スル譯デアリマス、此整理ナリ特別清算ニ當リマシテ、御指摘ニ相成リマシタヤウニ、検査役トカ整理委員トカ監督員トカ管理員トカ云ツタヤウナモノガ、新ニ設ケラレル譯デアリマス、是等ノ職責ニ當リマスル人ハ、主トシテ債權債務ノ整理ニ當ル譯デアリマスルカラ、法律家ガ最モ適任デアルコトハ申上ゲル迄モナイノデアリマス、固ヨリ計算關係ノコトモアリマスルカラ、會計士、計理士ト云ツタヤウナ人モ必要デアリマスケレドモ、先以テ辯護士ノ方々ニ、之ニ當ッテ戴クト云フコトガ必要デアラウト存ズルノデアリマス、デアリマスカラ此方面ニ於キマシテ、更ニ一層辯護士ノ方々ニ大イニ活躍シテ戴キタイノデアリマシテ、丁度御承知ノ今日破産管財人トシテ辯護士ノ方ガ、十分其職責ヲ舉ゲテ居ラレマス、丁度サウ云ツタ具合ニ、今後斯様ナ方面ニモ御活躍ヲ願ヒタイノデアリマス、斯様ナ方面ニ御活躍ヲ願フコトニ依リマシテ、吾々協同ノ目的タル司法權ノ擁護ト云フコトヲ、一層十分ニ達成シタイト存ジテ居ル次第デアリマス、

最後ニ取締役ニ付テノ問題デアリマスルガ、是ハ各會社ノ内決メルベキコトデアリマスカラ、私共ト致シマシテ、斯様ナ人ヲ取締役ニシタラ宜イダラウト云フコトハ、固ヨリ申ス譯ニハ行カナイノデアリマス、併シ實際上ノ傾向ト致シマシテ、ヤハリ法律家ガ取締役ノ一員ニナッテ、サウシテ正シク業務ヲ執行シテ行クト云フコトハ、最モ望マシイ所デアリマス、之ヲ外國ノ例ニ徴シマシテモ、例ヘバ取締役ガ三人アリマスル場合ハ、一人ハ業務ニ堪能ナル人、一人ハ法律家即チ辯護士、他ノ一人ハ會計ニ精通シタ人、斯ウ云フ具合ニナッテ居ル實例ガ、多イヤニ承ッテ居ルノデアリマス、我國ニ於キマシテモ、段々サウ云フ具合ニ向イテ行クノデハナイカ、又向クベキデハナイカト私共ハ存ジテ居リマス、唯併シソレハ裁判所デ選任スル問題デアリマセヌカラ、私共トシテ之ヲ左様ニ導イテ行ク譯ニハ參リマセヌガ、此取締役以外ノ問題ニ付キマシテハ、十分御趣旨ニ副ヒマスヤウ、吾々懸命ノ努力ヲ致シタイト存ジテ居ルノデアリマス、右御諒承ヲ願フ次第デアリマス

○仲井間委員 一二三日前デシタカ、取引所ノ取引員ノ方カラ、アナタモ持ッテ居ラレルト思ヒマスガ、陳情書ガ參リマシタ、其陳

情書ヲ見マス、二百二十九條ノ義ニ御教示ヲ仰ギマシク點ニ付テ、私共疑義ガアリマス、ソレト同様ナ疑義ガ其方面ニモアツト見エマシテ、又實際ニ於テ今係争トナッテ居ル事件モアルヤウデアリマス、是ハ全ク二百二十九條ノ第二項ノ解釋ヲ、誤解シタ點ニアルノデハナイカト斯ウ思ヒマスノデ、此解釋ガハッキリト今ノ陳情者方面ニモ徹底スルナラバ、サウ云フ疑義ガナカリシモノト思フノデアリマス

〔委員長退席、西田委員長代理著席〕

ソレデ其疑義ヲ、速記録ヲ通ジマシテ一般ニ知得セシムル方法トシテ、此前委員會ノ濟ンダ後デ、政府委員ニ御尋シタアノ時ノ御答ヲ、モウ一回議事録ニ殘シテ置ク必要ガアルノデハナイカト斯ウ思ヒマスノデ、私カラ問ヲ發シマシテ、ソレニ對スル御答ヲ議事録ニ殘シテ置キタイト思ヒマス、即チ二百二十九條ノ第二項ノ中ニ「會社ニ就キ調査ヲ爲サバ」ト云フ文句ガアリマスガ、

是ハ必シモ會社ニ就キ調査ヲ爲シタル場合ノミヲ言フノデハナクシテ、相當眞偽ヲ判別スルコトガ出來ルヤウナ事情ノ場合ヲ言フノデアルカ、具體的ニ申シマスレバ、此會社外ニ於テ讓渡人ガ使用シテ居ル印鑑ガアル場合、或ハ又裏書ニ依リ讓渡ヲ爲ス場

合ニ、印鑑證明ヲ附シテ來タ場合、是ハ眞正ナル印鑑デアルト信用スベキ正當ノ事由ガアル場合ニハ、假令會社ニ保存サレテ居ル印鑑ト符合シナクテモ、總テ裏書ハ正當ナモノデアルト云フ御取扱ニナル御解釋デアラレルヤ否ヤ、殊ニ此陳情書ノ中ニ書イテアル東京デ讓渡シタ場合ニ、大阪マデ或ハ鹿児島マデ會社ニ行ッテ調ベナケレバナラナイノデハナイカ、コンナ不便ナ規定ヲ置イテ、東京デ取引サセルコトヲ避ケサセヨウトスル所ニ、不滿ガアルヤウナ意味ガアルノデスガ、必シモ會社ニ就キ調査ヲ爲サナクテモ、會社外ニ於テ十分ニ、ハッキリ判斷シ得ルヤウナ場合ニ於テハ、ヤハリ此趣旨ニ依ッテ讓渡ガ有效ナリト、斯ウ云フ風ニ御解釋ニナルノデアリマスカ

○大森政府委員 株式取引員組合ノ一部ノ方カラ、當委員會ノ方々ニ對シマシテ陳情書ト云フ書面ヲ送ッテ、サウシテ改正意見ヲ齎サレタト云フコトハ、私共モ承リ及ンデ居ルノデアリマス、私ハ此取引所取引員關係ノ方カラ、斯様ナ疑ノ起リマシタコトヲ寧ロ甚ダ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、ト申シマスノハ、此立案ニ當リマシテハ、取引所關係ノ方々ノ意見ヲ專ラ徴シマシテ、ソレ等ノ方々ノ意向希望ニ依リマシテ、此第二

項ト云フモノガ初メテ生レタノデアリマス、最初司法省デ商法改正ニ著手致シマスル其前ニ、東京商工議會所ニ於キマシテ、商法改正ノ委員會ヲ設ケマシテ、私共モ其委員ノ席末ニ加ハリマシテ、色々調査ヲシテ居リマシタ、其際ニヤハリ此株券裏書ノ問題ヲ提ゲマシテ、當業者ノ方々ニ意見ヲ求メタノデアリマス、其時ニ大體當業者ノ意向ナリ希望ガ分リマシタカラ、ソレニ基イテ更ニ吾々ノ方デ調査ヲ致シマシタ結果、此第二百二十九條ト云フモノガ出來タノデアリマス、デアリマスカラ此取引所關係ノ人ニハ、十分分ッテ居ル筈デアリマスルガ、斯様ナ疑ヲ持ツ人ガ一方ニアツタト云フコトハ、甚ダ残念ニ存ズルノデアリマス、此第二百二十九條ノ第二項デアリマスルガ、是ハ決シテ會社ニ就キ調査ヲスルコトヲ、必要トスルノデハナイノデアリマシテ、要スルニ偽造デアリマシタ場合ニ、其偽造ガ客觀的ニ見テ會社ニ就キ調査致スナラバ、直グ分ッチャウナ程度ノモノデアアル、即チ碎イテ申シマスレバ、甚ダヘマナ仕方ノ偽造デアリマシタ場合ニ、被害者ヲ助ケル、斯ウ云フ規定デアリマシテ、譬ヘテ申シマスルト會社ニ印鑑ガ預ケテアリマス、其印鑑ヲ盗用シテ偽造ヲシタトシマスレバ、此印鑑ト對照ヲ致

シマシテ中々偽造ナルコトハ分リマセヌ、斯様ナ場合ニハ第二項ハ適用ハナイノデアリマス、善意取得者トシテ保護ヲ受ケル譯デアリマス、又其印章ヲ盗用致シマセヌ場合デモ、非常ニ巧ニウマク偽造致シテアリマス云フヤウナ場合、一寸見タゲケデハ偽造ナルコトガ判別致シマセヌ、左様ナ場合ニモ、此第二項ノ適用ハナイノデアリマシテ、即チ善意取得者トシテノ保護ガアル譯デアリマス、ダカラ善意取得者トシテノ保護ノナイノハ、客觀的ニ見マシテ、其偽造ガ極メテ下手デアアル、何人ニモ容易ニ判定シ得ラレルヤウナ程度ノモノデアリマス、左様ナ場合ニ於テノミ善意取得者トシテノ保護ガナイノデアッテ、被害者ヲ保護スルト斯ウ云フ趣旨デアリマス、デアリマスルカラ會社ニ就キ調査スルコトハ、決シテ命ジテ居ル譯デハナイノデアアル、此位ノ程度ナリセバト云フ客觀的ノ標準ヲ一ツ定メ、ソレモ相當低イ標準デアリマス、ソレヲ定メテ居ルノデアリマスカラ、要スルニ取引所取引員ノ請願ナリ希望ナリト云フモノハ、理由ノナイモノデアアルト私共ハ固ク信ジテ居ル譯デアリマス、尙ホ此請願ノ中ニ、第二ト致シマシテ、商法ノ、此案ノ第二百六條ノ第四項ニ、一ツノ

シマシテ中々偽造ナルコトハ分リマセヌ、斯様ナ場合ニハ第二項ハ適用ハナイノデアリマス、善意取得者トシテ保護ヲ受ケル譯デアリマス、又其印章ヲ盗用致シマセヌ場合デモ、非常ニ巧ニウマク偽造致シテアリマス云フヤウナ場合、一寸見タゲケデハ偽造ナルコトガ判別致シマセヌ、左様ナ場合ニモ、此第二項ノ適用ハナイノデアリマシテ、即チ善意取得者トシテノ保護ガアル譯デアリマス、ダカラ善意取得者トシテノ保護ノナイノハ、客觀的ニ見マシテ、其偽造ガ極メテ下手デアアル、何人ニモ容易ニ判定シ得ラレルヤウナ程度ノモノデアリマス、左様ナ場合ニ於テノミ善意取得者トシテノ保護ガナイノデアッテ、被害者ヲ保護スルト斯ウ云フ趣旨デアリマス、デアリマスルカラ會社ニ就キ調査スルコトハ、決シテ命ジテ居ル譯デハナイノデアアル、此位ノ程度ナリセバト云フ客觀的ノ標準ヲ一ツ定メ、ソレモ相當低イ標準デアリマス、ソレヲ定メテ居ルノデアリマスカラ、要スルニ取引所取引員ノ請願ナリ希望ナリト云フモノハ、理由ノナイモノデアアルト私共ハ固ク信ジテ居ル譯デアリマス、尙ホ此請願ノ中ニ、第二ト致シマシテ、商法ノ、此案ノ第二百六條ノ第四項ニ、一ツノ

條項ヲ設ケテ貫ヒタイト云フコトガ書イテアリマスガ、今日白紙委任狀附ノ轉輾ガ行ハレテ居ルノデアリマス、ソレハ本案デモ認メマスルガ、其他ニ善意取得者保護ノ見地カラ、株券ノ裏書ニ依ル株式ノ讓渡ヲ認メタノデアリマス、株券ノ裏書ニ依ル株式ノ讓渡ニ於テハ、先程申シマシタ通り、善意取得者トシテノ保護ガアル譯デアリマス、デアリマスカラ、此要求モ亦無理デアリマス、旁、左様ナ關係ヲ以チマシテ、此請願ハ吾々ハ採用スルコトガ出來ナイモノト思フノデアリマス、唯其點ヲ只今仲井間委員ノ御發言ニ依リマシテ、明ニ知ルコトヲ得マシタノハ洵ニ仕合セデアリマシテ、此趣旨ニ於テ只今ノ御發言ニ對シテ、感謝ノ意ヲ表スル者デアリマス

○仲井間委員 宜シウゴザイマス、能ク分リマシタ

○西田委員長代理 ソレデハ第五章ヲ御願致シマス

○大森政府委員 第五章ハ株式合資會社ニ關スル規定デアリマス、御承知ノ通りニ株式合資會社ハ今日ニ於テモ其數ハ極メテ少ナイノデアリマス、又將來ニ於テモ是ガ甚シク殖エヨウトハ思ハレナイノデアリマス、デアリマスルカラ、株式合資會社ニ付キマ

シテハ、左程規定ヲ改正スル必要ガナイト存ジタノデアリマシテ、現行法ヲ變更シマシタ點ハ、極メテ少ナイノデアリマス、先ヅ第四百六十四條デアリマス、是ハ全ク新設ノ規定デアリマスルガ、創立總會デ定款ノ變更ヲ決議シマシタ場合ニ、ソレダケデ此定款變更ノ效力ガ生ズルトナリマスルト、無限責任社員ノ地位ガ甚ダ安定ヲ缺クヤニ存ズルノデアリマス、デアリマスカラ、其決議ガアリマシタナラバ、一週間内ニ無限責任社員ガ一致ヲシテ之ニ贊成ヲスレバ格別、然ラザル限りハ設立ノ廢止ヲ決議シタルモノト看做サレルト云フコトニ致シマシタ、申迄モナク株式合資會社ニ付キマシテハ、無限責任社員ガ中心トナツテ活躍ヲスルノデアリマスルカラ、其無限責任社員ノ意思ニ副ハザル定款ノ變更ガ出來マスルナラバ、ソレニ依ッテ會社ガ圓滿ニ進行スルトハ考ヘラレナイノデアリマス、左様ナ趣旨カラ致シマシテ此規定ヲ新設致シマシタ、次ニハ第四百七十一條デアリマス、無限責任社員ガ株式ノ全部ヲ取得スルコトノアル場合モ、考ヘ得ラレルノデアリマス、左様ナ場合ニハ株主ト云フモノガ無クナルノデアリマスルカラ、合名會社トシテ、會社ヲ繼續ヲスルコトノ途ヲ拓クコトガ適當デ

アラウト存ジマス、是亦現行法ニ缺ケテ居リマシタカラ、之ヲ補ツタ次第デアリマス、次ニ第四百七十八條デアリマスルガ、株式合資會社ニ對シマシテハ、會社ノ整理及ビ特別清算ノ制度ヲ除外致シマシタ、是ハ先程モ申述べマシタ通りニ、株式會社ニ於テコソ最モ必要ガアリマスルガ、株式合資會社ニ於テハ無限責任社員ガアリマスルカラ、合名會社、合資會社ニ於テ是等ノ制度ヲ採用セザリシト同様ニ、株式合資會社ニモ之ヲ持ッテ來ル必要ガナイト認メマシテ、其コトヲ茲ニ明ニシタ次第デアリマス

○西田委員長代理 此點デ御質疑アリマセヌカ

〔御進行願ヒマス〕ト呼フ者アリ

○西田委員長代理 ソレデハ第六章外國會社

○大森政府委員 第六章外國會社ニ於キマシテモ、別段規定ヲ改正スル必要ヲ感ジナカッタノデアリマスルガ、唯第四百八十四條、第四百八十五條ニ於キマシテ、相當重要ナル變更ヲ加ヘタノデアリマス、是ハ全ク現行法ニ缺ケテ居ッタ所デアリマシテ、之ヲ補充スル必要ヲ痛感致シタ次第デアリマス、即チ外國會社ニ對スル閉鎖命令ノ規定デアリマス、外國會社ガ日本ニ支店ヲ設ケ

マシタ場合ニ、相當ノ事由ナクシテ、丁度內國ノ會社ノ解散命令ニ該當スルヤウナ事由ガアリマシタ場合ニ、ヤハリ裁判所ガ之ニ對シテ其支店閉鎖ノ命令ヲ爲シ得ル所ノ途ヲ拓イタノデアリマス、內國ノ會社ニ對シテ解散命令ヲ爲シ得ル場合モ、外國會社ノ內國ニ在ル支店ニ對シテ閉鎖ヲ命ズベキコト、固ヨリ當然ダト思フノデアリマス、現行法ガ斯様ナ規定ヲ持ッテ居ナカッタノハ、洵ニ權衡ヲ失スルモノデアッデ、實際上ノ見地カラ申シマシテ甚ダしい缺陷デアッタノデアリマス、是ハ第四百八十四條デアリマス、次ニ第四百八十五條デアリマスルガ、斯クシテ支店ノ閉鎖ヲ命ジマシタ場合ニ、其外國會社ガ內國ニ在リマスル財產關係ニ付テ、清算ヲスル必要ガアルノデアリマス、外國會社本體ニ手ヲ觸レル必要ハアリマセヌシ、觸レルコトハ出來マセヌケレドモ、日本ニ殘シテ居リマスル財產ニ付テ、是ガ清算ヲシナケレバナライコトハ、固ヨリ云フ迄モナイコトト存ズルノデアリマス、デアリマスルカラ、第四百八十五條ニ於キマシテ利害關係人ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ、裁判所ガ日本ニ在ル會社財產ノ全部ニ付テ、清算ノ開始ヲ命ズルト云フ途ヲ拓イタノデアリマス、第二項ハ會社整理、

特別清算、是等ニ關スル規定デアリマシテ、
茲ニ持ッテ來ル必要ノアルモノヲ、茲ニ準用
シタ次第デアリマシテ、詰リ右申シマシタ
清算ノ手續ヲ、茲ニ明ニシタノデアリマス、
サウシテ此日本ニ在ル會社財産ノ全部ニ付
テノ清算ハ、外國會社ガ支店ヲ閉鎖シタ場
合デモ同様デアラウト思フノデアリマス、
詰リ外國會社ノ支店ガ閉鎖ヲ命ゼラレタ場
合、若クハ自分デ支店ヲ閉鎖シタ場合、斯
様ナ場合ニ日本ニ在ル財産ノ散逸ヲ除ギ、
又日本ニ在ル財産ヲ持ッテ逃ゲルト云フコ
トヲ豫防シナケレバナリマセス、左様ナ關
係カラ此特殊ノ清算ノ途ヲ拓イタノデアリ
マシテ、是亦實際上最モ必要ナル規定デハ
ナイカト存ズルノデアリマス

○西田委員長代理 六章御質疑アリマセス
カ

〔進行〕ト呼フ者アリ〕

○西田委員長代理 ソレデハ第七章罰則
○松阪政府委員 罰則ニ付キマシテ簡單ニ
御説明申上ゲマス、御承知ノ通り現行商法
ニ於キマシテハ、僅ニ四箇條ノ罰則シカナ
カッタデアリマス、甚ダ不備デアル爲ニ
本法案ニ於キマシテハ十五條ノ罰則ヲ設ケ
タ次第デアリマス、改正ノ眼目ヲ申シマス
レバ、第一ニハ新ニ規定ヲ設ケマシテ、處

罰ノ範圍ヲ擴大致シタト云フコトデアリマ
ス、從來規定ガナカッタガ爲ニ、取締リ得ナ
カッタ行爲ヲ、規定ヲ設ケテ取締ヲ致シタモ
ノデアリマスガ、或ハ規定ガナクシテ、刑
法ノ規定ニ依ッテ取締ッテ居リマシタモノ、
更ニ本法中ニ刑法ノ特別規定ヲ設ケタモノ
モアルノデアリマス、改正ノ第二ノ點ハ、
現行法ニ比シ刑罰ヲ若干加重致シタ點デア
リマス、此二ツノ點ガ改正ノ主タル眼目デ
アリマスルガ、其理由ハ、要スルニ現行法
ハ實施當時カラ約四十年ヲ經テ居リマス、
今日社會情勢ノ變化ニ伴ヒマシテ、會社ノ
發展ト云フモノハ著シキモノガアリマシテ、
其會社ノ資本ノ増大ト云フコトハ、非常ナ
モノデアリマス、又會社ノ組織内容、機構
ガ極メテ龐大致シ、完備サレテ居ル點モ著
シイモノガアリマス、又株主ノ數ガ非常ニ
多キヲ加ヘ、又社債權者ノ數モ多ク、株式
ノ募集或ハ社債ノ募集ニ付キマシテ、社會
一般ガ影響ヲ被ルコトモ非常ニ多イ、會社
ノ經濟活動ノ増大等、是等諸般ノ點カラ考
ヘマシテ、現行法ノ罰則ヲ以テハ到底完全
ナル取締ハ爲シ得ナイ、要スルニ會社ニ關
スル犯罪ニ付キマシテ、此犯罪ガ一般社會
大衆ニ及ボス影響ノ著シク甚大ニナッタト
云フ點ニ鑑ミマシテ、公益保護ノ立場ヨリ

今回ノ重要ナル改正ヲ加ヘタ次第デアリマ
ス、先ヅ新ニ設ケマシタ罰則ノ點ノ主ナル
モノヲ申上ゲマスレバ、約五ツバカリゴザ
イマスガ、第一ハ特別背任罪ノ規定デアリ
マス、四百八十六條ト四百八十七條ノ二箇
條ニ規定サレテ居リマスガ、會社ノ重役等
ノ背任罪ニ付キマシテハ、從來カラ刑法ノ
二百四十七條ニ背任罪ノ規定ガアリマシテ、
ソレニ依ッテ取締ヲ致シテ居タノデアリマ
ス、今申ス通り會社ノ機構ノ著シク變化シ
テ來タ、資本等ガ増大サレ、株主ガ多クナッ
タ、ソレ等ノ點カラ見マシテ、一般保護ノ
立場カラ、刑法ノ背任ヨリモ寧ロ刑罰ヲ加
重シナケレバナラスト云フノデ、特別規定
ヲ設ケタノデアリマス、刑法ノ背任罪ヨリ
モ加重シタル特別法ノ規定ガ四百八十六條
デアリマス、四百八十六條ノ一項ハ、會社
重役或ハ高級社員ノ背任ヲ規定致シテ居リ
マス、第二項ニ於テ、會社直接ノ役員デハ
アリマセスガ、整理委員、監督員等ノ背任ヲ
規定シ、次ノ四百八十七條ニ於テ社債權者
招集ノ代表者、又ハ其決議ヲ執行スル者ノ
背任ヲ規定シタノデアリマシテ、此三種類
ノ背任罪ヲ規定致シタ次第デアリマス、新
ナ規定ノ第二ハ四百九十條ノ規定デアリマ
シテ、株式又ハ社債ノ募集及ビ賣出ニ際シ

マシテ、偽リノ内容ヲ記載シタ文書ヲ行使
シタ罪ヲ、新ニ設ケタノデアリマス、是ハ
從來何等罪トスル規定ハナカッタノデアリ
マスルガ、御承知ノ通り株式ノ募集或ハ社
債ノ募集ニ當リマシテ、色々内容虛偽ノ文
書ヲ作ッテ公衆ヲ惑ハシ、不當ノ利益ヲ圖ル
事例ガ、屢アルノデアリマス、詐欺罪ニナ
リマス場合ハソレデ罰スルノデアリマスガ、
ソコ迄至ラナイ場合ニハ、文書ノ偽造デナ
イ限り之ヲ處罰スル規定ガナカッタノデア
リマス、斯ノ如キハ一般公衆ヲ保護スル所
以デナイト云フノデ、此規定ヲ設ケタ次第
デアリマス、改正ノ第三點ハ四百九十一條
ノ規定デアリマス、株金ノ拂込ヲ假裝スル
爲メ預金ノ行爲ヲ爲シタル場合、其預金行
爲ノ處罰ノ規定デアリマス、是亦實際上ノ
必要ニ應ジタル重要ナル規定デアリマス、
第四ハ瀆職ト申シマスガ、不正利得罪デア
リマス、其第一ハ會社ノ重役、高級社員等
ノ不正ノ利益ヲ得タル場合、之ニ從事シタ
ル雙方ヲ罰スルコトニ致シタノデアリマス、
四百九十三條デアリマス、第二ノ不正利得
罪ハ其次ノ四百九十四條デアリマス、會社
ニ關スル色々ノ種類ノ權利ノ行使ニ關シマ
シテ、不正ノ利益ヲ得タル場合、之ヲ處罰
スルノデアリマス、第七十議會ニ提案シマ

シタル政府ノ原案デハ、是ハ總テ刑法ノ賄賂罪トシテ規定シタノデアリマスガ、其當時貴族院ニ於キマシテ、賄賂ト云フ點ヲ修正セラレマシテ、不正ノ請託ニ依ッテ利益ヲ得タ場合ト云フ風ニ書カレマシタノデ、其當時其修正ニ政府モ同意致シテ居ルノデアリマスカラ、今回ハ其修正通りソレヲ原案トシテ、提出致シタ次第デアリマス、新規ノ規定ノ第五點ハ、株金ノ拂込ノ責任ヲ免レル爲ニ、他人又ハ假設人ノ名義ヲ用ヒテ、株式ヲ引受ケ、又ハ讓受ケ、及ビ假裝ノ株券讓渡ヲシタ者ニ對シテ、處罰スル規定ヲ設ケマシタ點デアリマシテ、是ハ四百九十七條ニ規定スル所デゴザイマス、是亦從來屢、行ハレタ惡例デアリマスガ、適當ナル處罰ノ規定ガナカッタガ爲ニ、相當弊害ヲ醸シタ點デアリマシテ、新ニ今回處罰規定ヲ設ケテ、其取締ニ當ルト云フコトニ致シタ次第デアリマス、以上五ツノ點ガ重要ナル點デアリマス、甚ダ簡單デアリマスルガ、之ヲ以テ罰則全體ノ説明ト致シマス

又ハ假設人ノ名義ヲ用ヒテ、株式ヲ引受ケタリ、或ハ讓受ケル、或ハ株式ノ讓渡ヲ假裝スルト云フヤウナコトハ、德義カラ見マズレバ如何ニモ善クナイコトダト云フヤウニ受取レルノデアリマスガ、ソレダケノ事實デ果シテ一年以下ノ懲役、又ハ千圓以下ノ罰金ト云フモノニ値スルカト云フコトニ付テ、少シ疑問ガアリマス、ソレデ御尋ヲ致スノデアリマスガ、此條文ニ依ッテ保護シヨウト云フモノハ、當局ノ豫想サル、範圍ハドウ云フ程度ノモノデアリマスカ、ソレヲ一寸承ッテ置キタイト思ヒマス

○松阪政府委員 本條ニ依ッテ直接保護セントスル點ハ、會社ノ資本ノ充實ヲ完備シヨウト云フ點デアリマス、間接ニハ會社ノ資本ノ充實ノ完備ニ依リマシテ、株主竝ニ社債權者其他ガ保護セラレルコトニナルノデアリマス、會社ノ社會的經濟的活動ノ重大ナル點カラ見マシテ、資本ノ充實ノ完備ト云フコトハ、何ヨリモ最も重要ナルコトデアリマス、其點ニ付テ株金ノ拂込ノ責任ヲ免レルヤウナ行爲ハ、何處マデモ嚴重ニ取締ル必要ヲ感ジタ次第デゴザイマス

○江原委員 御説明ニ依リマシテ、資本ノ充實ヲ期スルコトガ目的ダト云フコトハ分ッタルデアリマス、御承知ノ通り資本ノ充實ヲ期スルト云フコトハ、洵ニ大事ナコトダト存ズルノデアリマスガ、私ハ此條文デ果シテ資本ノ充實ヲ期スルコトガ出來ルカドウカト云フコトニ付テ、疑問ヲ持ッテ居ル、御承知ノ通り株式ハ之ヲ讓渡スルコトガ出來ル、隨テ大體ニ於テ株式拂込ノ責任ヲ免レヨウト云フヤウナ考ヲ株主ガ持ッテ居ル場合ハ大體其會社ガ宜クナイノデアリマス、宜クナイ會社デアルカラシテ拂込ヲ避ケヨウト云フ氣持ガ出ルノデアリマス、斯様ナ場合ニハ株主ハ幾ラデモ自由ニ讓渡ガ出來ル、隨テ此條文ニ觸レナイデ單純ニ讓渡シテシマヘバ、是ハ此條文デ罰スルコトハ出來ナイ、サウシマスレバ、結局此條文デ狙ッタ目的ハ達シ得ラレナイノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレルガ、如何デセウカ

○松阪政府委員 御説ノ如ク正式ニ自己ノ名義ニ於テ引受ケテ、後ニ讓渡スレバ之ヲ何等取締ル規定ハ無論ナイノデアリマス、本條ノ狙ッテ居ル點ハ固ヨリ目的罪デアリマス、初メカラ株金ノ拂込ノ責任ヲ免レル目的デ、他人ノ名義ニ持ッテ行クトカ、或ハ假設人ノ名義ヲ用ヒテ株式ヲ引受ケルト云フ行爲、其行爲ヲ處罰シヨウト云フノデアリマス

レナイデ、讓渡ヲ假裝シタ場合ニハ處罰サレル、此ニツノ事實ニ付テ考ヘテ見マスルニ、之ヲ會社ノ債權者方面カラ見、資本充實ノ方面カラ見ルト、賣ッタ場合ニ於キマシテモ、假裝シタ場合ニ於テモ、ドチラモ同ジコトダト思フ、勿論賣ッタ場合ニ於キマシテハ、ソレハ内容ハ賣ッタト致シマシテモ、實際ハ吳レルノデアリマセウカラ、貰ッタ方ノ人ハ支拂能力ノ無イ人ガ貰フ、隨テ資本ノ充實ニハナリ兼ネル、賣ッタ方ハ結局株ガナクナル、假裝シタ場合ニハドウカト云フト、假裝シタ場合モ同様ダト思フ、株式ノ讓渡ヲ假裝シテ持ッテ居ル、サウシテ拂込ガ來タ、其場合ニ假裝シテ居ルノデアルカラ、假裝名義人ハ勿論株式ノ拂込ノ責任ヲ免レヨウトスルノデアルカラ拂込マナイ、サウスレバ結局失權シテシマフノデアリマスカラ、單純ナ讓渡ヲシタ場合ニ於テモ、亦讓渡ヲ假想シタ場合ニ於テモ、ドチラニ於テモ、一方ニ於テハ株ヲ握ルノデアルシ、一方ニ於テハ拂込ヲシナイデ失權スルノデアル、隨ヒマシテドチラニ於テモ株主タル資格ハ無クナル、ドチラニ於テモ實際ノ拂込ハシナイト云フコトニナル、サウシマスカラバ、會社カラ見レバ、資本ノ充實ノ方面カラ見レバ、讓渡ヲ假裝シタ場合ニ於テモ、單純ニ讓渡

シタ場合ニ於テモ同ジダ、然ルニ拘ラズ一方ニ於テハ讓渡ヲ假裝シタト云フ事實ニ依リ處罰サレル、一方ニハ單純ニ賣渡シタト云フ事實ニ依ッテ處罰サレヌト云フコトニナルト、私ハ甚ダ不公平デハナイカト思フ、ソレデアルカラ資本充實ノ關係デナク、唯讓渡ヲ假裝ヲシタト云フ其心持ガ惡イト云フナラバ、ソレヲ處罰スルト云フコトハドウカト思フ、讓渡ヲ假裝シタト云フ心持ハ惡イ、洵ニソレハ道德的ニ見テ惡イト思フノデアリマス、所謂瞞スノデアル、所デ瞞シタト云フ事實ダケデ法律ハ處罰スルカト云フト、瞞シタト云フ事實ダケデ法律ハ從來處罰シテ居ナイ、瞞シテ不法ニ利益ヲ得タ場合ニ、或ハ詐欺ノ罪名デ處罰スルコトガアリマスガ、單ニ瞞シタト云フ事實ダケデ處罰スル例ハナイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ見マス、株ノ讓渡ヲ假裝シタ場合ト、株式ヲ讓渡シタ場合ト兩方比ベテ見マシテ、讓渡シタ場合ニ於テハ處罰サレズ、假裝シタ場合ニ處罰サレルト云フ處罰ノ根據ガ、一寸分ラナクナルノデアリマス、之ヲ御説明願ヒタイ

○松阪政府委員 固ヨリ正式ニ讓渡ヲシタ場合ニハ、其者ガ現實ニ株金拂込ノ責任ヲ免レタト致シマシテモ、ソレハ處罰ノ範圍

外デアル、申ス迄モナク讓渡ヲ假裝シタ者ヲ處罰スルノデアリマスカラ、讓渡セザルニ拘ラズ讓渡シタ形ヲ裝フト云フ行為ヲ處罰スルノデアリマス、先程申シマシタ如ク、法律上ノ規定ハ直接ニハ會社資本ノ充實ヲ目標ニ致シテ居ルノデアリマスガ、之ヲ以テ資本ノ充實ガ期セラレルト云フ譯デハアリマセヌノデ、資本ノ充實ヲ期スル爲ニ於キマシテハ、固ヨリ本條ヲ犯ス者ノ惡イ性質ヲ處罰シヨウト云フ趣旨ノ下ニ入ッテ居ルノデアリマシテ、讓渡ヲセザルニ拘ラズ讓渡ヲシタヤウニ裝ウテ、自分ノ權利ダケハ完全ニ行使シテ、義務ダケハ免レヨウト云フ行為ハ、是ハ處罰シナケレバナラス、ソレカラ又假設人ノ名義ヲ用ヒテ株式ヲ引受ケ、或ハ讓渡シタ場合モ同様デアリマシテ、初メカラ株金拂込ノ責任ヲ免レルト云フ目的ヲ以テヤルノデアリマス、サウ云フ實質的ニハ自分デ取得シテ置キナガラ、拂込ノ責任ダケハ免レヨウ、利益ダケハ得ヨウト云フ左様ナ惡德行爲ヲ處罰シヨウト云フ趣旨デアルノデアリマス

○江原委員 私ハ斯ウ云フ點ニマダ心配ガアルノデアリマシテ、此規定ニ依ッテ株ノ充實ヲ期スルコトニスル、斯ウ云フ考デ作ラレタトシタ所ガ、却テ逆ナ結果ニナリハセ

ヌカト云フコトニ付テ、疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、勿論此條文ヲ知ッテ居ル者ハ、實際ニ於テ拂込ノ責任ヲ免レヨウトシマスレバ、賣ッテシマフコトハ間違ナイ事實デアアル、所ガ實際ノ狀況ヲ見ルト、大分株式ノ拂込デ苦シンダ人ガ相當ニ世ノ中ニハ多イ、デアリマスカラ、一ツノ會社ガ出來マシタ時ニ、其事業ガ果シテ宜イカ惡イカト云フコトニ付テノ判斷ハ、中々困難デアルガ、一應マア會社ニ入ッテ見ヨウ、併シ好カッタソレデ結構、惡イ時ニハ、二回ノ拂込ヲシタクナイ者ハ、或ハ女房ノ名前デ入ッテ見ヨウ、或ハ使用人ノ名前デ入ッテ見ヨウト云フ者モ、相當アルト思フ、斯ウ云フモノヲ却テ防ガズニ利用シテ、資本ノ充實ヲ圖ルコトガ宜イデヤナイカ、ソレヲ逆ニサウ云フモノヲ嚴重ニ止メテシマフト、結局ハ株式ノ性質竝ニ事業ノ性質ガ本當ニ分ラヌ者ハ、株式ノ募集ニ應ジナイコトニナリハシナイカ、左様ナ喧シイ規定ガアルト、ドウモ株式ノ募集ニ應ズルコトハ厄介デアルカラ、先ヅ止メヨウト云フ考ヲ一般ニ與ヘヤシナイカト思ヒマスガ、其點ハ如何デスカ

○松阪政府委員 只今御示ニナリマシタ例ニ依リマシテモ、ドウモ初メカラ株金ノ拂

込ノ全責任ヲ負ヒタクナイ、會社ガ旨ク行ッテ居レバ責任ヲ負フガ、旨ク行カナケレバ、成ベク會社ノ株金拂込ノ責任ヲ負ヒタクナイト云フ意味カラ、自分ノ名前ヲ出サズニ、女房トカ、或ハ雇人トカ云フヤウナ資産ノナイ拂込ノ責任ヲ免レ得ル者ノ名義ニスルト云フヤウナ行爲ヲヤル、左様ナ行爲ハ一面ニ於テ惡德デアリ、他面ニ於テ資本ノ充實ヲ害スル行爲デアリマスカラ、處罰スル必要ガアルト考ヘルノデアリマス

○江原委員 諄クナルヤウデアリマスルガ、此一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金、此程度ノ問題ニ付テ御伺シタイト存ジマス、此罰則ヲ見マスルト幾多ノ保全處分ガアリマスルガ、保全處分ニ違背シテ、場合ニ依ッテハ、株式ヲ書換ヘタト云フヤウナコトモ豫想出來ルノデアリマス、左様ナ場合ニ付テハ五千圓以下ノ過料ノ規定ガアリマス、其規定ト比較シテ見マシタ時ニ、只今申スヤウニ、實際會社ガ惡イ時ニ拂込ヲシタクナイカラト云フソレダケノ理由デ、サウシテ此罰則ニ觸レル程度ノ問題ニ付テ、一年以下ノ懲役、千圓以下ノ罰金ト云フコトハ、五千圓以下ノ科料ノ適用ヲ受ケル關係ト比較シテ見マシテ、重クハナイカト考ヘルノデアリマスガ、此點ニ付テ御意見ヲ伺ヒタ

イト思ヒマス

○松阪政府委員 本條ハ單純ナル保全處分ノヤウナ場合ノ規定ト異リマシテ、一ツノ惡質ナル行爲ト見テ居ルノデアリマスカラ、一年以下ノ懲役或ハ千圓以下ノ罰金ト云フコトハ、左ノミ重クハナイト信ジテ居ル次第デアリマス

○中野委員 一寸總體ニ互ルヤウデアリマスガ、申ス迄モナク會社ノ中デ最モ憎ムベキモノハ幽靈會社デゴザイマス、幽靈會社ガ民事取引、商取引ノ安全ヲ害スルト云フコトハ、申ス迄モナイコトデアリマシテ、會社ノ設立ニ發起人ノ引受ト、ソレカラ一般募集ニ依ル分ト二通りアリマスルガ、是マデノ幽靈會社若クハ幽靈會社ト同視スベキ會社ノ數ハ、發起人デ以テ會社ヲ設立シタモノニ多イノデゴザイマセウカ、一般募集ノ會社ノ方ニ多イノデゴザイマセウカ、サウ云フ點ニ付テ當局ガ御調査ナサッテ居リマスレバ、御示シ願ヒタイ、今一ツハ、會社設立ハ事業本來ノ目的ニ依ッテ作ランケレバナラスノデアリマスルガ、其目的ヲ度外視致シマシテ、自己ノ爲ニ、就中債務免脱ト云フヤウナ憎ムベキ事柄ヲ目的トシテ、設立ヲ致シマス者ガ相當ニアル、斯様ナコトヲ致シマスルカラ、ソレガ所謂一波萬波

ヲ惹キ起スト云フヤウナ次第デアリマシテ、或ハ民事上ノ許害行爲取消ニ訴ヘルトカ、或ハ強制執行ヲ見ルトカ云フヤウナ忌ムベキ訴訟ガ澤山出來マシテ、ソレ自體ガ斯様な方法ニ依ッテ民事取引、商取引ノ安全ヲ害スルト云フコトヲ、明瞭ニ物語ルモノデアルト思フノデアリマスガ、斯ウ云フコトハ如何ニモ政治ト云フ立場カラ致シマスレバ、旨ク之ヲ防ギタイト念願スル次第デアリマスガ、其點ニ付テ、只今現狀ニ於テノ取締方法トシマシテハ、幾多ゴザイマセウガ、其方法ヲ私淺學ニシテ一々知ルコトハ出來マセヌガ、ドウ云フ點ニ依ッテ、ソレガ取締ッデアリマスガ、及ビソレニ對シマスル當局ノ御考ヲ伺ヒマスレバ仕合セデアリマス

○大森政府委員 御答ヲ致シマス、第一點デアリマスルガ、所謂幽靈會社ガ株式會社ノ中デ發起設立ニ多イカ、募集設立ニ多イカト云フ御尋デアリマシタガ、之ニ付キマシテ、私共モ實ハ御恥カシイ次第デアリマスルガ、統計上ノ計數ヲ知ラナイノデアリマス、幽靈會社ト云フモノガ幾ツアルカ、ソレヲ見ルコトガ第一困難デアリマスカラ、尙更ソレヲ分類シテ甄別スルコトガ難カシイノデアリマス、併シ唯想像カラ申シマスナラバ、現行法デハ御承知ノ通りニ、發起

設立ノ場合デハ裁判所選任ノ検査役ノ検査ニ服サナケレバナライコトニナッテ居リマス、此法案デハ、募集設立ニ於キマシテモ、或ル場合ニ於テハ裁判所ノ選任ノ検査役ノ検査ニ服サナケレバナライコトニ致シマシタノデアリマスルカラ、此法案ハ其點ハ是正サレマシタケレドモ、現行規定ノ下ニ於テハ發起設立ノ方ダケガ検査ニ服スルト云フコトニナッテ居リマシタカラ、發起設立ノ實質ヲ備ヘナガラ募集設立ノ形ヲ取ルガ爲ニ、實ハ大部分ハ發起人デ引受ケタケレドモ、殘リ僅カダケヲ態ト殘シテ置イテ、ソレヲ一般公衆ノ公募ニ任セルト云フヤウナ手續ヲ執テ居ッタ實例ハアルヤニ伺ッテ居リマス、左様ニ考ヘテ見マスルト、所謂幽靈會社トモ言フベキモノハ、寧ろ募集設立ノ方ニ多クハナイカト思ハレルノデアリマス、尙又御承知ノ通りニ、發起設立ノ募集設立トノ數ヲ比ベマスルト、募集設立ノ方ガ遙ニ多イノデアリマスルカラ、ヤハリ御質問ノ幽靈會社ト云フモノハ、募集設立ニ多クハナイカト、是ハ推測デアリマスルケレドモ、左様ニ存ジテ居ル次第デアリマス、ソレニ依リマシテ、御承知ノ通りニ此法案デハ募集設立ニ關シマシテ、幾多ノ嚴重ナル規定ヲ新ニ設ケタ次第デアリマス、

第二點デアリマスルガ、債務ヲ免脱ノ爲ニ所謂詐欺的ノ會社ヲ設立スルト云フコトハ、合名會社、合資會社ニ多クハナイカト思ッテ居ルノデアリマス、是ハ妙ナ話デアリマスルガ、俗ニ鉛筆會社ト云フモノガアルサウデアリマス、是ハ何處カデ善クナイ人達ガ集ッテ、鉛筆デサラ／＼ト定款ヲ書イテ會社ガ出來テシマヒマスカラ、之ヲ俗ニ鉛筆會社ト言フノダサウデアリマス、是ハ合名會社、合資會社ニ多イノデアリマシテ、其對象ト致シマシテハ、ヤハリ詐欺行爲ノ取消ト云フコトヲ、十分ニ行ハシメルト云フコトニ致サナケレバナライト存ジテ居リマス、ソレデ今日現行法ノ下ニ於テモ詐欺行爲ノ取消ハ民法デ出來ルノデアリマスケレドモ、此案デハ御承知ノ通り第四百十一條ニ於キマシテ、商法上更ニソレヲ明確ニ致シマシタ、其他之ニ關シテ必要ナル罰則ノ規定モ少々アル譯デアリマス、左様ナコトデ以テ豫防シテ居ルノデアリマスルガ、尙ホ實際上ノ問題トシテ之ヲ豫防スルト云フコトハ、種々其措置ヲ必要トスルノデアリマセウ、唯商法ニ關スル關係ニ於キマシテハ、左様ナ點カラ之ヲ防遏スルト云フヨリ外ニ、仕方ガナイカト存ジテ居リマス

○中野委員 能ク分リマシタ、是カラハ實

際問題ニナリマスノデ、單ニ是ハ希望ニ止メテ置キタイト思フノデアリマスガ、從來モ詐欺行爲ノ訴ニ能ク用ヒラレマスノガ、公正證書デアリマスガ、一片ノ公正證書ガアリマス、裁判官ヲシテ之ヲ覆ヘサスト云フコトハ中々骨ノ折レル仕事デアリマシテ、眼光紙背ニ徹スルト云フヤウナ頭ヲ以テ、公正證書ニ臨マレマスルナラバ、直チニ看破出來ルノデアリマシテ、普通ノ常識カラ考ヘマシテ、此公正證書ハ債務免脱ノ意味合ヲ持ッテヤラレタモノデアルト云フコトガ、何人モ想像ガ出來ルヤウナモノニ對シマシテモ、一本ノ公正證書ガアリマスレバ、直チニ之ヲ認定シテ行クト云フヤウナコトガ多イヤウデアリマス、但シ中ニハ判事ニ依リマシテハ、公正證書一本出シマシテモ、勇氣ヲ以テ之ヲ排斥セラレルヤウナノモアリマスガ、斯ウ云フコトハ一言ニシテ言ヘバ仕方ガナイト言ヘバソレデ事件其モノハ解決致シマスケレドモ、社會風教ノ上、ソレカラ又國民ト致シマシテノ思想ノ上ニ、非常ナ惡影響ヲ及ボスト云フコトハ、是ハ申ス迄モナイ次第デアリマシテ、常ニ其業ニ携ッテ居リマス私共ハ、職業柄商賣ト云フモノヲ度外視シテ考ヘテ居ルコトハ、非常ニ遺憾ニ存ジテ居ル次第デアリマ

スカラ、又時ニ觸レ場所ニ處セラレマシテ、サウ云フ點ニ付キマシテ、深甚ナル御考慮ヲ御拂ヒ下サルコトヲ御願致シマス

○大森政府委員 御懇篤ナル御注意ハ確ニ拜聽致シマシタ、申ス迄モナク證據判斷、事實ノ認定ト申シマスコトハ、最モ大切ナコトデアリマスカラ、吾々十分ニ其方面ニ更ニ努力ヲ續ケテ行キタイト存ジテ居リマス

○佐竹委員 商法ノ總則ニ付テノ審議ノ際ニ御尋ヲ致シタコトデアリマスガ、會社法ノ罰則トノ關係カラ、今一度御伺致シテ置キタイト考ヘマス、會社法ノ罰則ニ依リマスレバ、極メテ精密巨細ニ取締ラナサッテ居ラレルノデゴザイマス、所ガ總則ノ場合ニ於テハ其罰則モ、僅カニ二箇條バカリノヤウデアリマス、而モ其一箇條ハ會社ニアラズシテ、會社タルコトヲ示スベキ商號ヲ用ヒタルコトニ關スル罰則デアリマス、是モ先ヅ會社ニ關係アル罰則ト見テ宜イノデアリマスガ、ソコデ唯一箇條、二十條ノ第一項ニ反スル場合千圓ノ過料ニ處ス、斯ウ云フコトニナッテ居ルヤウデアリマス、而モ此二十二條ノ規定ニ依ル二十條第一項ノ商號ヲ使用シテ居ルモノヲ千圓以下ノ過料ニ處ス、是ハ過チ料デ一寸是ハ刑罰トハ申サレ

マセヌ、結局スルノニ總則ニハ罰則ガナイト先ヅ見テ差支ヘナイト云フ氣持ガ致シマス、所ガ實際ニ於テハ株式會社ノ各罰則ヲ設ケマシタ場合ト同様ニ、一般商人ニ付テ取締ラシナケレナラヌ場合ト云フモノガ、相當澤山ニアルト考ヘマス、譬ヘテ申上ゲマスナラバ帳簿ヲ備付ケナケレバナラヌ義務、或ハ正當ニ記載シナケレバナラヌノ拘ラズ、之ヲ記載シナカッタ場合、例ヘバ三十四條ノ「財産目錄調製ノ時ニ於ケル價格ヲ超ユルコトヲ得ズ」之ヲ會社ニ於テ違反致シマスト直ニ處罰サレル、一般商人ハ處罰サレマセヌ、斯ウシタ例ハ隨分澤山アリマス、尙ホ四百九十八條ニ依ル規定カラ致シマシテモ、第一號ノ「本編ニ定ムル登記ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ」コチラデハ罰シテ居リマス、總則デハ罰シマセヌ、第二號、第五號第十九號其他澤山ゴザイマスガ、先ヅ斯ウシタ二三ノ點ヲ申上ゲマシテモ、隨分不權衡デアルト考ヘマス、此改正ヲ致シマス時ニ、會社ニ付テノ其罰則ヲ御考慮ナサイマシテ、一般の商人ヲ律スル罰則ト云フコトニ付テハ、何等ノ御考慮ヲ拂ハナカッタ云フ風ニシカ思ハレマセヌ

(西田委員長代理退席、委員長著席)
此權衡ヲ失シマスルコトハ、單ニ法理ノ見

地ニ立ッテ是ハ不權衡ノコトデアルト云フ
ノミデハゴザイマセズ、嚴重ナ、サウシタ
取締ノ規定ヲ設ケテ置クト云フコトガ、會
社法ニ於テ必要デアルト同様ニ、一般商人
ノ場合ニ於テモ亦必要デアルト考ヘマスガ、
政府ニ於カレマシテハ其必要ガナカッタ
御考デゴザイマセウカ、此點會社ノ罰則ニ
關聯ガアリマスノデ、主トシテ之ヲ御起草
ナサイマシタ政府委員ヨリ、御意向ヲ承リ
タイト考ヘマス

○松阪政府委員 御説ノ通り商法中ニ規定
致シマシタ刑罰ハ、専ラ株式會社及株式合
資會社ニ關スルモノデ、一般商人ニ關スル
規定中ニハ刑罰ハ設ケテ居ナイ、只今御指
摘ニナリマシタ如ク、一部分ニ過料ナル行
政罰ヲ課シタ例ハアリマスガ、ソレモ極メ
テ範圍ガ狭イノデアリマス、兎ニ角刑罰ト
シテハ一般商人ニハ課シテ居ナイ、商人ノ
ミナラズ合名會社、合資會社ノ重役等ニ對
シテモ、會社法ノ第七章ニ規定スルガ如キ
嚴重ナ處罰ハ、規定シテ居ナイノデアリマ
ス、其趣旨ハ先程申上ゲマシタ通り、株式
會社並ニ株式合資會社ナル近代資本體系ノ
會社ガ、一般株主、社債權者、或ハ一般社
會公衆ニ及ボス影響ノ甚大デアルト云フ點
ヲ重視致シマシテ、ソレ等ノ點ニ付テ或ル

種ノ行為ヲ犯罪トシテ、處罰スルト云フ必
要ヲ生ジタノデアリマスガ、商人或ハ合名
會社等ニ於テ、サウ云フ影響ノ少イモノニ
付キマシテハ、或ハ刑法等ノ規定ニ依ッテ取締
テ行ク、一般犯罪ノ取締ヲ以テ足ルト考ヘ
マシテ、其分ニ付テハ刑罰ヲ以テ制裁ヲ科
スルコトハ必要ガナイト云フ見解ノ下ニ、
刑罰ヲ設ケナカッタ次第デアリマス

○佐竹委員 一般商人デモ數十万、數百萬
ノ資本ヲ擁シテ、商賣ヲ致シテ居リマス人
モアリマス、合資會社、合名會社等ニ至リ
マシテハ、見ヤウニ依レバ株式會社以上ノ
モノガ澤山ゴザイマス、株式會社ナル稱號
ヲ用ヒマシタ爲ニ罰セラレル、ヨリ以上ノ
資本ヲ擁シ、ヨリ以上ノ社會ニ利害關係
ヲ廣ク且ツ大ニ感ゼラルベキ場合ニ於キマ
シテモ、之ヲ罰セラレナイト云フノハ、均
衡ヲ失スル嫌ヒガアルト考ヘマスガ、如何
デゴザイマスガ

○松阪政府委員 株式會社、株式合資會社
等ノ重役其他ニ付キマシテハ、何レモ是ハ
會社自體ガ有限責任ノモノデアリマシテ、
個人商人或ハ合名會社、合資會社等ノ業務
ヲ執行スルモノハ、自ラ無限ニ於テ其責任
ヲ負フノデアリマスカラ、其責任ヲ負フ程
度ニ於テ非常ナ差ガアリマスノデ、之ヲ同

様ニ同ジヤウナ罰ヲ設ケルコトハ、如何カ
ト存ズルノデアリマス

○佐竹委員 只今ノ御答辯ハ結局民事上ノ
責任ヲ基本ト致シマシテ、刑事上ノ責任モ
區別ヲナサツヤウナ御答辯デアリマシタ、
私共ハ其御答辯ニ満足スルコトハ出來マセ
ヌ、最初ノ御答辯ハ社會一般ニ及ボス利害
關係ヨリ論ゼラレタヤウニ承ツタ、所ガ今度
ハ責任ガ無限デアルカラ合名會社等ニ付テ
ハ其責任ニ於テ自ラ差等ガアル、是ハ到底
解スルコトガ出來ナイノデアリマス、民事
上ノ責任ガドレダケ重クテモ、之ガ爲ニ其
爲シマシタコトノ會社のニ及ボス影響、殊
ニ刑事罰ヲ以テ罰シナケレバナラヌ所ノ、
其不正ヲ防グ趣旨ニ於テ、何等其間區別ヲ
設クベキ筋合ノモノデハナイカト考ヘマス
ガ、甚ダ諄クナリマスケレドモ、今一言御
説明ヲ承リタイト思ヒマス

○松阪政府委員 或ハ私ノ言葉ガ足りナ
カッタ點ガアルカト思ヒマスルガ、先ニ答ヘ
マシタノト、後ニ答ヘマシタノト、別箇ノ
理由ヲ述べタ積リハナカッタノデアリマス、
固ヨリ此株式會社ニ對シテ、特ニ嚴重ナ刑
罰ヲ課シテ居リマスノハ、先程來屢、申シテ
居リマスヤウニ、近代ノ企業組織ニ於テ、
株式會社ナルモノガ社會ニ對シテ持ッテ居

ル機構並ニ機能、社會公衆ニ對シテ及ボス
影響ヲ重視シテ居ルノデアリマシテ、其不
都合ナ行為ニ對シテハ刑罰ヲ以テ臨ム必要
ガアル、尙又株式會社等ハ有限會社デアリ
マスルカラ、一般個人商人或ハ合名會社
ト、多少其處ニ相違ガアルト云フコトヲ述
ベタノデアリマス、別箇ノ理由ヲ申述ベタ
意思ハナカッタノデアリマス

○佐竹委員 押問答致シマシテモ仕方ガア
リマセヌガ、唯先程例示トシテ申上ゲマシ
タ如ク、例ヘバ公告ヲシナケレバナラヌ時
ニ公告ヲ怠ツタリ、或ハ登記ヲシナケレバ
ラヌ時ニ之ヲ怠ツタリ、其他法律ノ命ズル所
ニ從ッテ之ヲ適當ニ處理シナケレバナラヌ
時ニ、之ヲシナイ爲ニ、一般社會ニ及ボス
重大ナル影響ガアルコトヲ考ヘマシテ、罰
則ヲ設ケテ居リマス、其趣旨ニ付テハ株式
會社ナル名稱ヲ用ヒルト否トニ拘ラズ、其
保護サルベキ法益ニ付テハ同一デアルト、
私共ハ考ヘテ居リマス爲ニ、先程來重ネテ
御質問申上ゲテ居ル譯デアリマス、併シ是
以上申上ゲマスコトハ議論ニ互リマスノデ
省略致シマスガ、今一言御尋ヲ致シタイノ
ハ——御尋ト申シマスヨリモ、希望ト申上
ゲル方ガ適當カモ分リマセヌガ、商法違反
ト云フコトニナリマス、甚ダドウモ共言

葉ダケデ非常ニ輕視サレマス、刑法ノ條章中ニアリマス行爲ヲ犯シマス時ニハ、刑法犯ト致シマシテ、所謂罪人デアルト云フ氣持ヲ強ク致シマス、所ガ商法違反ト云フコトニナリマス、世間ガソレダケデモ輕ク扱フ、隨ヒマシテ檢事局等ニ於ケル取扱ニ付テモ、例ヘバ告訴發等ヲ致シマシテモ、容易ニ手ヲ染メナイ、扱ッテモ輕ク扱フ、相當重大ナル案件デアルト考ヘテ之ヲ申告致シマシテモ、マア是ハ商法違反ダト云、タヤウナ氣持ガ、非常ニ濃厚デアリマスノデ、此改正案ガ成立致シマスナラバ、是ガ施行ニ付テハ相當司法當局ト致シマシテ、御考慮ヲ願ヒマセスケレバ、舊來ノ慣習ト申シマスガ、情性ト申シマスガ、其事ニ依ッテ法ノ本當ノ目的ガ達セラレナイ憾ガアルデハナイカト私ハ考ヘマスガ、サウ云フ御心配ハナイノデゴザイマセウカ

○松阪政府委員 御意見ノ程ハ洵ニ御尤ト

存ズルノデアリマス、裁判所或ハ檢事局ト致シマシテハ、商法違反ト云フ名デアアルガ故ニ輕ク扱フトカ、刑法上ノ罪名ヲ附セラレテ居ルガ故ニ鄭重ニ扱フトカ云フ考ハ毛頭ナイノデアリマシテ、固ヨリ之ヲ犯罪トシマスル以上ハ、刑法犯タルト、其他一般特別法ノ犯罪タルト、其間少シモ差異ハ設ケテ

居ナイノデアリマス、固ヨリ會社ノ取調ニ付キマシテハ、檢事局ナドニ於テモ相當慎重ヲ期シテ居ルノデアリマス、例ヘバ銀行等ノ下級行員ノ使込ミ等ノ告發ナリ何ナリガアリマシテモ、直チニ銀行ノ帳簿ヲ押收シ、相當ナ人ヲ取調ベルト云フコトニナルト、萬一取付デモアリマス、經濟社會ニ及ボス影響ハ洵ニ測リ知ルベカラザル被害ヲ及ボスノデアリマス、ウツカリ輕々ニ手ヲ著ケルト云フコトハ餘程考ヘナケレバナラヌコトデアリマス、隨テ非常ニ慎重ニヤラナケレバナラヌト云フ考ハアリマスガ、罪ノ輕重其他ニ關シマシテハ、決シテ會社ナルガ故ニ寬大ニ扱フトカ、個人ノ犯罪或ハ刑法規定中ノ犯罪ナルガ故ニ嚴重ニヤルト云フヤウナ考ハ、固ヨリナイノデアリマス、名前ノ如何ニ拘ラズ、犯罪ノ罪質ノ内容ニ依ッテ、ソレノ適當ニ處置シテ居ル次第デアリマス

○佐竹委員 御趣旨ハ能ク分リマシタ、唯

實際ニ取扱ハレテ居リマス傾向ガ、只今申上ゲマスガ如ク、商法違反ト云フ名稱ノ付キマス案件ニ付テハ、事實ノ上ニ於テ輕視サレテ居ル傾向ガアルノデゴザイマス、ドウカ其實質ヲ十分ニ酌ンデ、此會社法改正ヲ機ト致シマシテ、サウシタ方面ニ於ケル

取締ヲ十分ニ嚴ニセラレテ、社會福利ノ爲ニ十分其趣旨ヲ徹底セラレンコトヲ希望スル次第デアリマス

○松阪政府委員 御趣旨洵ニ能ク諒承致シマシタ、本法實施ニ當テ是ガ取扱ニ付キマシテハ、十分慎重ヲ期シ、又公平ヲ期スルヤウニ致ス積リデアリマス

○山本委員 四百八十六條ノ規定ト四百九十一條ノ規定トヲ對照致シマシテ、發起人、取締役、株式合資會社ノ業務ヲ執行スル無限責任社員、監査役、ソレカラ二百五十八條以下ノ職務代行者、支配人茲マデハ此罰則規定ニ依リ七年以下ノ懲役、又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處スト云フ重刑ヲ科スルコトモ必要ナリト了承致シマスガ、其次ノ「營業ニ關スル或種類若ハ特定ノ事項ノ委任ヲ受ケタル使用人」此場合ヲモ尚且ツ七年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處スト云フコトハ、四百九十一條ノ規定ニ依ル預合ノ場合ト對照シテ、少シク重キニ失シハシナイカト思ハレルノデアリマス、四百九十一條ノ預合ノ場合ハ、寧ロ私ハ四百八十六條ノ取締役、監査役ト同様ニ罰セラレル方ガ、必要デハナイカト思ハレル、ソレハ預合ヲスルコトノ弊害ハ、單ニ不正ナコトヲスルト云フコトヨリモ、其爲ニ第三者ガ資本ノ充實ヲ

シテ居ルモノト過信シテ取引ヲシ、不測ノ損害ヲ被ムルコトガ、觀念上ヨリモ、實際上ヨリモ多イ、隨テ是ハ當然罰シナケレバナラスノデアリスガ、此場合ノ弊害ハ或ル特殊ノ營業或ハ特定ノ事項ヲ委任セラレタ使用人ナドノ不正ノ行爲ヨリモ、犯罪ノ及ボス影響ガ甚大アル、然ルニ四百九十一條ニ於テハ五年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金デ、四百八十六條ノ使用人ニ對シテハ七年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下ノ罰金ト云フノハ、權衡ヲ失スルヤウニ思ハレルノデアリマスガ、御意思ヲ承リマス

○松阪政府委員 見方ニ依リマシテハ御意

見洵ニ御尤ニモ存ジマスルガ、政府ト致シマシテハ四百八十六條第一項ノ方ハ、他人ノ業務ニ從事スル者ガ、其信任ニ背イテ私利ヲ圖リ、或ハ損害ヲ加ヘルト云フコトデアリマスルカラ重ク處罰スル、預合ノ行爲ノ方ハ左様ナ信任關係デハナク、専ラ自己ノ會社ニ對スル關係デアリマシテ、一般的ニ見マシテヤハリ四百八十六條ノ方ガ重イデヤナイカ、唯下級ト言ヒマスガ、或ル種類若クハ特定ノ事項ノ委任ヲ受ケタル使用人ノミヲ取ッテ比較スルト、左様ナ感モ一應起ラナイデモナイヤウニ思ハレマスガ、全般的ニ見マシテハ、ヤハリ是デ權衡ガ取レ

テ居ル、斯様ニ存ジテ居リマス

○山本委員 使用人以外ノ場合ト四百九十一條ト比較シタ場合ニハ、私モ御説ニ賛同致シマス、唯個々ノ使用人ノ場合ハ、成程信任ニ背クト言ハレ、バ是モ考ヘラレマスルガ、四百九十一條ノ預合ヲ爲ス、發起人其他ノ者モ、之モ結局ハ自己ノ會社ト雖モヤハリ委任關係ニ依ル仕事ヲスル者デアリマスカラ、其點ニ於テハ同様デアラネバナラス、ソレ故ニ他ノ取締役、發起人或ハ監査役等ノ四百八十六條ノ場合ノ、斯ウ云フ不正ノ行爲ヲ爲シタ場合ト區別シテ、五年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ輕ク處罰スルト云フコトハ諒承出來マスガ、四百八十六條ノ使用人ノ場合ハ、是ト對照シテ重キニ失シマスカラ、寧ロ此使用人ノ場合ハ一般背任罪程度、或ハ五年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ト云フコトニシテ、此四百九十一條程度ニ改正スル御意思ハナイデセウカ

○松阪政府委員

使用人デハアリマスガ、此第四十三條ニ依ル番頭、手代ニ準ズベキモノデアリマシテ、使用人トシマシテモ、高級者デ、支配人ニ準ズベキモノデアリマスカラ、之ヲ削ッテ支配人ニ止メルト云フコトハ、贊成致シ兼ねルデアリマス

○山本委員 四百九十三條四百九十四條、

此規定ハ昨年提案セラレタ規定ニ於キマシテハ、賄賂罪ニナッテ居リマシテ、ソレヲ貴族院ニ於テ、御説明ノ如ク修正ナサレテ、ソレニ同意セラレタカラ、本議會ニ於ケル本法ノ提出ニ當リマシテハ、不正ノ請託ヲ受ケ財産上ノ利益ヲ收受シト訂正セラレタヤウニ御説明ヲ承リマシタガ、私ノ所屬シテ居ル東京辯護士會ニ於キマシテハ、數次調査研究ヲシマシタ結果、貴族院ノ修正ハ改惡デアルト、昨年度ノ委員會ニ於テモ私陳述シタ記憶ガアルノデスガ、是ハ先程佐竹委員ヨリモ意見ガアリマシタヤウニ、商法違反ト云フト、中々ソコニ大シタ重罪ヲ犯シタヤウナ感ジヲ持タナイヤウナコトガ、實際ニ於テアリ得ル、ソレダカラヤハリ斯ウ云フコトヲスル惡イ者ハ、賄賂罪所謂刑法上ノ賄賂罪ト同ジヤウニ、商法ノ罰則違反デアルケレドモ、賄賂ヲ收受シタ、怪シカラスト云フノデ、所謂賄賂罪デ罰スルト云フコトノ方ガ效果のデアリ、直截簡明デアリ、而シテ世道人心、社會風教上カラ見テモ其方ガ正シイ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、何カ賄賂罪ヲ本案ノ不正ノ請託ヲ受ケ財産上ノ利益ヲ收受スルト云フコトニ訂正スルコトニ付テハ、今マデ承リマ

シタモノ以外ニ、何カ根據ガオアリデゴザイマセウカ

○松阪政府委員

政府ニ於キマシテモ、御承知ノ通り初メ第七十議會ニ本案ヲ提出シタ際ニハ、職務ニ關シ賄賂ヲ收受シタト云フヤウニ規定致シテ居ッタデアリマス、此賄賂罪ト致スノト、今回ノ原案ノ不正ノ請託ヲ受ケ財産上ノ利益ヲ收受シタト云フノトハ、其處罰セラレル場合ノ範圍モ相當相違ヲスルデアリマス、政府ト致シマシテハ初メハ理想的ノ立法ト云フ考ヲ以チマシテ、賄賂トシテ規定シタデアリマスガ、貴族院ニ於キマシテ委員ノ方々ノ御意見ニ依リマスレバ、刑法デハ賄賂罪ヲ以テ官公吏ノミヲ處罰シテ居ルノデアル、今官公吏同様に公務員デナイ所ノ會社ノ取締役其他重役等ヲ處罰スルト云フノハ、餘リ是ハ行過ギテ居ヤシナイカト云フ御意見ガアリマシタノデアリマセウケレドモ、公務員ト會社重役ト今直チニ同一ニ處罰スルト云フコトハ、或ハ少シク行過ギテ居リハシナイカ、刑法ガ改正ニナリマシテ、刑法ノ公務員ノ賄賂罪ガ更ニ規定ガ擴張サレタ場合ニ、初メテ商法モ重役等ニ付テノ賄賂罪ノ規定ヲ設ケルガ宜カラウ、マダ刑法ノ改正セラレザル以前ニ、一

躍シテ私人ニ對シテ賄賂罪ノ規定ヲ設ケテ處罰スルト云フコトハ、餘リニ行過ギテ居

リハセスカト云フヤウナ御意見ガアリマシタノデ、政府モ慎重研究ノ結果、此飛躍的ノ改正ハ、或ハ漸進的ニ致シタ方ガ宜イデハナイカ、貴族院ノ修正ヲ尤モト存ジマシタノデ、賄賂ト云フ文字ヲ不正ノ請託ヲ受ケ財産上ノ利益ヲ收受シト云フコトニ修正スルコトニ同意致シマシタ次第デアリマス

○山本委員 四百九十七條ノ規定デアリマスガ、株式ノ假裝讓渡ヲシタ場合ニ、ヤハリ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處セラレルコトニナッテ居リマスガ、讓渡ノ假裝ナリヤ否ヤト云フコトハ、非常ニ難シイ問題デアリマシテ、實際ノ取扱上、觀念的ニハ簡單デアリマスガ、實際上相手方ガアルノデアリマスカラ、實際讓渡ス方カラ言ヘバ、潜在意識ト云フヨリモ心裡留保トデモ言ヒマスカ、腹ノ中デハ此會社ハドウモ二回三回ニ拂込ヲ徴收シサウダ、危イ、是以上貧乏會社ノ株式ノ未拂徴收ヲサレルノハ迷惑至極デアルカラ、一層ノコト讓ッテシマフト云フコトデ、株式ノ讓受人ヲ探シテ、宜イ鹽梅ニ讓受人ガ見付カッテ、十二圓五十錢ノ拂込ノ株ヲ二圓ニ賣ッテ、買受人ガ買ッテ、所ガ半年經タナイ中ニ拂込ガ掛ッテ

來タ、サウスルト此規定ガアルモノダカラ買受人ノ方ハ飛デモナイ話デアル、アレハ拂込ノ責任ヲ免レル爲ニ僕ノ所ニ賣ツタニ違ヒナイノダ、初カラサウ云フ目的デ、實際ハ二圓ノ金ノ授受ヲシタケレドモ、實ハ是ハ裝ハンガ爲ニヤツタノダト云フコトヲ言フ、是ハ言ハザルコトヲ保シ難イ、サウ云フコトニナツテ來ルト大變ダト云フノデ、讓受人カラサウ云フコトヲ持込マレルト、ドウモ仕方ガナイ、ソレデハ一年以下ノ徵役ニ處セラレテハ堪ラヌカラ、實際ハ自分ハサウ云フ積リデハナイ、本當ニ賣ツタノダケレドモ、所謂假裝讓渡デナイノダケレドモ、檢事局ヘデモ引張ラレテハ大變ダカラト云フノデ、遂ニ拂込ラスルト云フヤウナコトガ、實際問題トシテ起リ得ルノデアリマス、茲ノ假裝讓渡ナリヤ否ヤ實際檢事局ニ於テ取扱フ場合ニハ、相手方ト讓渡人トノ關係ニ於キマシテ、代價ノアル讓渡ナリヤ否ヤ、或ハ代價ノナイ、代價ノナイ讓渡ナリヤ否ヤト云フ標準以外ニ、何カ之ニ付テノ假裝ナリヤ否ヤノ標準トデモ申シマス、斯ウ云フ場合ハ假裝ト認メラレルノダト云フ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松阪政府委員 讓渡ガ假裝ナリヤ否ヤハ、是ハ法律的ニ申シマスルナラバ、眞實

讓渡ノ意思ナクシテ、讓渡ノ形式ヲ取ツタト云フ以外ニナイノデアリマスガ、實際ノ事實ガ假裝ナリヤ否ヤト云フコトヲ調べマール段ニ付キマシテハ、相當ニ慎重ヲ期サナケレバナラヌシ、相當難シイ問題モ起リ得ルト思ヒマスガ、之ヲ假裝ト認定スルニハ、色々ノ材料ガアリ得ルダラウト存ジマス、要スルニ讓渡ノ意思ナクシテ讓渡ヲシタ形式ヲ取ルノデアリマスカラ、讓渡人ニ於テ其後モ引續イテ配當ノ金ヲ實際自分ノ所得ニシテ居ルト云フヤウナコトモ、ソレノミデハ假裝トハ言ヘマセヌガ、假裝ノ認定ノ資料ノ一ツニハナルデアラウト思ヒマス、或ハ讓受人カラ實際ハ是ハ自分ガ讓受ケタノデハナイ、何時デモ返スノダト云フヤウナ、返シ證デモ取ツテ居リマスルナラバ、ソレハ又讓渡ノ假裝ヲ立證スル一ツノ資料トモナルカト思ヒマス、其他ノ諸般ノ事情、本人ノ意思アリヤ否ヤト云フコトヲ立證スルコトニ依ツテ、決メル外ハナイカト存ジマス

○山本委員 最後ニ一點伺ヒマス、是ハ各條文ニ關係ノアルコトデアリマス、第七章ノ罰則規定ハ確ニ一覽シタケデハ、行過ギハセヌカト云フ感ジノスル程、嚴罰主義ヲ採ラレテ居リマス、併シ總テ何年以下、

何千圓以下ト云フ規定デアリマシテ、必シモ其最高罰ヲ以テ臨ムト云フ意味デハナイカラ、是ハ是ノ罰則規定ヲ置イテ、社會一般大衆ヲドウスルト云フ意味カラ諒承出來ルノデアリマスガ、此商法違反ノ罰則ヲ適用スル迄ニ、詰リ犯罪ノ捜査ノ任ニ當ル檢事ノコトニ付キマシテ、政府ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、從來商事議反ノ事件ニ付キマシテハ、往々ニシテ取扱檢事ガ社會ノ實際上ノ慣行トカ、取扱トカ、或ハ實業社會ノ仕來リトカ、又實際ノ經濟上、社會上ノ狀態等ニ通曉セズトハ申上ゲマセヌケレドモ、比較的其知識、認識ガ不足ノ爲ニ、往々ニシテ實業界人カラ見レバ殆ド非常識ナ取調ヲシ、起訴ヲスルヤウナコトモ今日マデナキニシモアラズ、此第七章ノ如ク、斯ウ云フ風ニ嚴罰主義ニナリ、廣汎ナル罰則規定ヲ設ケタ以上ハ、色々事案ガ起ツテ來ルト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ特別ナ規定ノ違反事件ヲ取扱フ檢事ハ、特ニ商事ニ明ルクシテ、實際社會ニ通曉セラレタ特別ノ優秀ナル檢事ヲ配屬シテ、サウシテ過チナカラランコトヲ期スルノガ當然ダト思ヒマス、ケレドモ、之ニ對スル政府ノ對策如何ヲ伺ヒタイ

○松阪政府委員 御説極メテ御尤デアリマ

シテ、此改正法ノ運用ニ當リマシテハ、取締ニ當リマスル檢事ガ單ニ商法ノ規定ニ精通スルバカリデナク、經濟社會ノ實情ヲ十分承知シテ、適切ナル取締ニ當ラナケレバナラナイコトハ、洵ニ申ス迄モナイノデアリマス、現在ニ於キマシテモ其必要ハ痛感致シテ居ルノデアリマス、唯事件ガ多ク、人手モ少ク、多忙ノ爲ニソレ等ノ十分ナル知識ヲ吸收シ、實情ヲ知ルダケノ暇ハ中々思フヤウニナイト云フ點ヲ、遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマスガ、一面檢事モ人數ヲ増員致シマシテ、多少ノ修養ナリ、經驗ナリ、實際社會ヲ見ルノ餘裕モ與ヘ、又之ニ對シテ司法省トシテモ相當ナル教養ノ方法ヲ講ジテ行キタイト云フ考ハ持ツテ居リマス、ソレ等ニ付テハ司法省トシテモ財源ノ努力ヲ致ス考デアリマス

○山本委員 諒承致シマシタ、ドウゾ其御方針ヲ貫徹セラレル爲ニ、本法案ガ通過致シマシテ實施セラレントスル場合ニハ、特ニ其取扱ノ爲ニ、ソレ等ニ要スル經費ヲ相當要求セラレマシテ、實際社會ノ不測ノ損害ヲ被ルコトナカラシムルヤウ、司法當局ニ於カレマシテモ萬全ノ策ヲ講ゼラレンコトヲ希望スル次第デアリマス

○田村委員 私ハ總體的ニ此罰則ノコトニ

付テ關聯シテ一寸承リタイノデアリマス、此罰則ハ現行法ノ罰則ト比較スル時ニ、一見洵ニ劃期的ナ重罰主義ニナッテ居ルノデアリマス、併シ現在ノ經濟的ナ發展カラ見マシテ、利益ヲ追求セントスル者ノ不正行爲ヲ罰スル上ニ於テ、或ハ一万圓或ハ五千圓ト云フ金罰デ行ツテ居ルト云フコトハ、立法ノ趣旨カラ諒解ハ出來得ルノデアリマスガ、之ニ關聯シテ刑法ノ二百四十七條デシタカノ背任罪、ソレカラ瀆職罪中ノ贈賄罪ト云フモノヲ、罰則ノ公正ヲ期スル體刑ノ上カラ言ツテ、之ヲ改正スル必要ガアリハセヌカト思フノデアリマス、商法ノ方ハ利益追求ノ不正行爲ヲ大キナ罰金デ罰スル、體刑ノ方モ大キナモノデシテ居ル、マア背任罪ノ方ハ相當ニ規定ハシテ居リマスケレドモ、罰金刑ハ極メテ小サイモノニナッテ居ル、ソレカラ贈賄罪、是ハ私ノ理論デスガ、私ハ此贈賄ノ實情ヲ見テミマスルニ、役人ガ一タビ收賄シテ此瀆職罪ニ掛ツタ時ハ、殆ド一生ヲ棒ニ振ツデシマフ、所ガ一方利益ノ追求ヲシテ居ル所ノ贈賄側ニナルト、役人ニ賄賂ヲ贈ツデ、サウシテ不正ノ利益ヲ得テ、ソレガ極メテ大キナ會社トカ、大キナ商店ノ關係者ナドト云フヤウナ場合ニハ、自分が多少ノ罰ヲ受ケテモ、而モ此罰ハ罰金デ

アリマス、マア罰金刑、三年以下ノ懲役ニナッテ居リマスケレドモ、多クハ判例ハ罰金ニナッテ居ルト云フヤウナコトデ、寧ロ之ヲ惡用スル、幾ラカ贈賄罪位ニナッテモ構ハヌ、儲ケサヘスレバ宜イト云フヤウナ風ガ實際ノ實情ニ於テアルヤウニ思フノデス、ソコデ此不正ノ利益ヲ得ントスル者ニハ、是ハ金ト云フコトガ第一デ、名譽モナケレバ地位モナイ、斯ウ云フ者ニ痛イ刑罰ヲ加ヘルト云フコトハ、體刑ニアラズ、名譽ヲ罰スルニアラズシテ、金デ罰スルト云フコトガ、一番罰則トシテノ效果ヲ持チ得ルノデハナイカト私ハ考ヘテ居ルノデス、ソコデ贈賄罪ニ對シテハドウシテモ大キナ、或ハ一万圓デモ十萬圓デモ、其物ニ依ッテ罰金ヲ取ルト云フ制度ヲ拵ヘナケレバ、瀆職罪ノ贈ル方ハ罰セラレナイ、役人ハボンヤリシテ居ツテ、小サナ役人、百圓カ百五十圓位取ツテ居ル者ガ、一時ノ家計ノ都合上ナンカデ迷ハサレテ、一生ヲ棒ニ振ルト云フ悲酸ナ事例ヲ、辯護士ナドシテ居ルト能ク見受ケルノデスガ、サウ云フ時ニハ吾々ハ贈賄側ヲ憎ンデ、收賄側ヲ氣ノ毒ニ思フト云フヤウナコトヲ時々現實ニ見ルノデス、ソコデ偶、商法ノ改正ニ當ッテ利益追求デ斯ウ云フコトヲヤツデ、一万圓乃至五千圓ノ罰金ヲ

取ルト云フコトデハ、時代ノ要求ニ即セヌ、ソレデ罰則ヲ拵ヘヨウトスレバ刑法ノ方ノ贈賄罪、此金額ヲモウ少シ時代ニ即應シタヤウニ改正シナケレバイケナイカト思ヒマスガ、斯ウ云フ點ニ付テ政府ハ御考ニナッテ居ラレマスカ、又今後其御考ガアレバ、時代ノ要求ニ應ジテ適當ノ改正ヲセラレントスル御趣旨デアリマスカラ御聽シタイ

○松阪政府委員 御尤デアリマス、其點ニ付キマシテハ政府デモ之ヲ考ヘマシテ、目下刑法改正委員會ニ於テ、適當ナル成案ヲ得ル爲ニ審議中デアリマス、隨テ御說ノ通り刑法デハ、刑法ノ瀆職ノ罰ニ付キマシテハ三年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ト云フコトニナッテ居リマシテ、罰金ガ甚ダ少

イノデアリマス、隨テ本法案ニ於キマシテハ、三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ト云フコトニ、四百九十三條ノ規定ヲ設ケマシテ、罰金ノ最高額ヲ非常ニ上ゲテ居リマス

○一松委員 私一寸簡單ニ只今ノ田村委員ノ質問ニ關聯致シマシテ、伺ッテ見タイノデスガ、刑法ノ瀆職罪ノ場合ニ於ケル收賄ノ約束ヲシタ者、若クハ收賄ヲシタ者ト云フヤウナ者ニ對シマシテハ、只今政府委員ノ御說明ノ通り、三年以下若クハ千圓以下ト

云フ規定ガアリマスガ、刑法ニ因テ不正ノ所爲ヲ爲シタ場合ニ重ク罰シテ居ル、トコロガ本法案ニハ因テ不正ナ所爲ヲ爲シタ規定ガナイノデス、是ハ何カ御考ガアッタノデセウカト云フコトガ一ツ、因テ不正ノ所爲ヲ爲シタコトニ付テハ別ニ規定シナクテモ、第四百八十六條、四百八十七條、四百八十九條等ノ任務ニ背キ財産上ノ損害ヲ加ヘタト云フヤウナコトヲ、サセタ場合ニ於ケル共犯ニ於テノ責任デモ負ハセルトカ、或ハ一個ノ行爲ニシテ數個ノ法ニ觸レタト云フコトデ制裁ヲスレバ、因テ不正ノ所爲ヲ爲シタ者ト特ニ規定ヲシナクテモ宜イト云フ御趣旨デアリマセウカ、其邊一ツ明ニシテ置キタイ

○松阪政府委員 御說ノ通り刑法ノ賄賂罪ニ於キマシテハ、賄賂ヲ收受シ、不正所爲ヲ爲シタ場合ニ於キマシテハ、一年以上十年以下ノ懲役處分ニナッテ居リマスガ、商法ニハ左様ナ不正所爲ヲ爲シタ場合ヲ規定シテゴザイマセヌガ、ソレハ只今御述ニナリマシタ通り商法第四百九十三條ノ犯罪ノ主體ハ、會社ノ高級役員デアリマス、左様ナ者ガ不正ノ請託ヲ受ケ財産上ノ利益ヲ得タト云フ風ナ不正ノ所爲ヲ致シマスレバ、殆ド皆四百八十六條ノ背任罪ニ該當スル場合

デアルノデアリマシテ、賄賂罪ノ外四百八十六條ノ罪ガ成立致シマス、其方デ相當重ク處罰シ得ルノデアリマスカラ、刑法ノ百九十七條後段ニアリマスヤウナ規定ハ、設ケナカッタ次第デアリマス

○一松委員 私ハ唯疑ヲ解ク爲ニ御尋シタ譯デスガ、今一ツ伺ッテ置キタイ、此株式會社ニ關シマスル今度ノ會社法規ハ、總テ特別法中ニ規定サレル株式會社ニ適用サレルモノト思フノデアリマスガ、ソレハ間違ナイデセウカ

○松阪政府委員 特別法中ノ規定ニ依ッテ設立シマシタ會社ニ付テハ、勿論適用ガアル筈デス

○一松委員 ソコデ私ガ不思議ニ思ッテ居ルノハ、今期議會ニ提案セラレマシタ日本發送電株式會社法、ソレカラ無盡業法中改正法律案、日本産金振興株式會社法案、東洋拓殖株式會社法中改正法律案、工作機械製作事業法案、有價證券引受業法案、斯ウ云フヤウナ法案ガ全部ハ株式會社ニ關スル規定ナンデス、然ルニ斯ウ云フ法案ヲ提出スルニ當リマシテ、司法大臣ガ之ニ全部關係シテ居リマセヌ、外ノ行政大臣ハ皆關係シテ居ルノニ、何故ニ司法大臣ガ關係シナイノカト云フコトヲ不思議ニ思ッテ居ル、

是ハ司法大臣ガ之ニ關與シテ居ラレマスルナラバ、所謂大森政府委員ノヤウナ商法ノ會社法ニ御堪能ナ方ガ、此法文ヲ御覽ニナリマス、之ニハ斯ウ云フ缺點ガアル、是ハ商法ノ是ト矛盾ガアル、牴觸ガアルト云フコトガ御分リニナルコトと思フ、然ルニ今私が擧ゲマス今期議會ニ提案サレタ此株式會社ニ關スル斯ウ云フ重要法案ニ、司法大臣ガ一ツモ之ニ御關與ナサライノハ、何カ理由ガアルノデセウカ、實ハ私共ハ斯ウ云フ株式會社等ノ原則法案ヲ審議スル上ニ當ッテ、他ノ商工大臣トカ内務大臣トカ大藏大臣等ダケガ之ニ關係シテ、一番大切ナ法ヲ司ル所ノ司法大臣ガ、今私が擧示致シマシタヤウナ株式會社法案ニ御關與シテ居ラシヤライナイ、ソレガ何時モ、吾々ハ危

虞ノ感ヲ以テ、サウ云フ法案ヲ審議シテ居ルコトハイカスト思ッテ居ッタノデス、之ヲ一ツ明ニシテ戴イテ、若シサウ云フコトガ惡例デアラナラバ、ソレヲ變ヘテ戴キタイ、ソコヲ一ツ明カニシテ戴キタイ

○大森政府委員 只今御尋ニナリマシタ事項ハ、他省ノ事柄ニ關係致シマスルカラ、私カラ御返事申上ゲルコトハ如何カト存ズルノデアリマスガ、御指摘ニナリマシタ其總テト云フコトハ、此際申上ゲラレマセヌ

ケレドモ、他省カラ提案致シマスル法案デモ民事、刑事ニ關係シマスル部分ニ付キマシテハ、私共ニ相談ガアル筈デアリマス、又多ク從來相談ガアリマシタ、今後ト雖モ左様ニ相成ルベキモノト心得テ居リマス、若シ私共ノ方ニ相談ガナケレバ、コチラカラ積極的ニ其相談ヲ求ムベキモノト存ジテ居リマス、此程度ニ於テ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○一松委員 私ハ司法大臣ノ權限ヲ大イニ擴張シタイト云フ主義デアリマス、一體斯

ウ云フ株式會社ニ關シマスル幾多ノ法案ガ出テ、ソレヲ見マス時何時デモ司法大臣ガ關係シテ居ラス、ソレガ爲ニ根本ノ株式會社法案ヲ審議シテ居ル此司法大臣ノ關與スベキ法案ト、法案ノ内容等ニ於テ矛盾牴觸ガアリハシナイカト云フコトヲ何時モ思ウテ、法案ヲ見ル度ニ比較研究シテ、私ハ見テ居ルノデゴザイマスガ、斯ウ云フコトハ政府當局カラ一ツ司法大臣ニ進言ナサイマシテ、是ハ當然司法大臣ノ關與スベキコトダト私ハ思フカラ、サウ云フヤウニ御取扱ニナリマシテ、斯ウ云フ司法省ニ關係スル株式會社ノ法律案ヲ提案スル時ニハ、常ニ司法省ニ之ヲ諮ッテ、ヤハリ司法大臣ガ署名シテ、責任者トシテ議會ニ提案スルヤウニ

ト云フコトガ、商法改正委員會デ問題ニナッタト云フコトダケハ、明ニシテ置イテ戴キタイコトヲ、御願申上ゲテ置キマス、私ノ質問ハ外ニハゴザイマセヌ

○大森政府委員 只今ノ御陳述ハ司法省ノ爲ヲ御思ヒ下スッテノ御注意デアリマシテ、洵ニ吾々感謝ヲ致ス次第デアリマス、御注意ノ趣キハ固ヨリ上司ニ其儘傳ヘルコトニ致シマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○野村委員長 内藤君

○内藤委員 一言ダケ伺ッテ置キマス、是ハ有限會社法案ノ時ニ伺フ問題カモ知レマセヌガ、罰則デアリマスカラ序デニ伺ッテ置キマス、ソコデ有限會社法案ノ八十九條ニ「有限會社ハ商法ヲ除クノ外他ノ法律ノ適用ニ付テハ之ヲ商法ノ會社ト看做ス」斯ウ書イテアル、此意味ハ「商法ヲ除ク」ト云フコトニナルト伺ッテ宜シイカ、サウスルト罰則ニ付テモ、商法ノ規定ヲ除クト云フコトニ言ヘルノデスカ、其點ハ如何デスカ

○松阪政府委員 左様デアリマス、有限會社ニ付キマシテハ、罰則ニ付テハ商法ヲ除ク譯デアリマス

○内藤委員 規定ハナイノデスカ

○松阪政府委員 有限會社ニハ有限會社トシテノ罰則ヲ別ニ設ケマシテ、商法ノ此罰

則ノ規定ハ適用ニナラナイ譯デアリマス

○内藤委員 ソレカラモウ一點伺ヒマス、

昨年本案ハ流産シタノデアリマスガ、其時ノ速記録ニ依ルト、其當時刑罰ガ重キニ失

スルト云フノデ、衆議院ノ院議トシテハ、

モウ少シ輕カラシメタラト云フ點モアツタ

ノデス、此度ノ御提案ニ付テハ、其點ハ少

シモ御改正ガナイヤウデアリマス、御都合

ノ宜シイ時ニハ院議ヲ尊重スルト仰シヤッ

テ、其以外ニ於テハ頼被リヲシテ行カウト

スルヤウニ、私共ニハ見エルのデアリマス、

昨年ノ速記録ハ司法省デモ能ク御覽ニナッ

テ居ルドラウト思ヒマス、此點ハドウ御考

デゴザイマセウカ

○松阪政府委員 第七十回議會ニ於キマシ

テノ審議ノ際ニ、委員會ニ於テ一二ノ委員

ノ御方カラ、左様ナ御意見ヲ承ツタコトハ確

ニ承知致シテ居リマスガ、其當時ハ衆議院

ノ院議ハ未ダ決マラナカッタノデ、實ハ私

ハ全體ノ御意見トハ思ハナカッタノデアリ

マス、併ナガラ其點ハ相當重要デアリマス

カラ、其御意見ノ程モ尊重致シマシテ、其

後重キニ失セズヤト云フノデ、本法案ヲ提出

スル迄ニ色々研究ヲ致シタノデアリマス、

併ナガラ結局最近ノ刑罰法規ノ立法方ノ趨

勢等ニ鑑ミマシテ、ヤハリ此原案ノ刑ガ相

當デアラウト考ヘマシテ、原案通りノ刑ヲ

盛リマシテ、提案致シタ次第デアリマスガ、

其點ニ付テハ十分研究致シタ積リデアリマ

ス

○内藤委員 餘リ難カシイコトヲ御尋シヨ

ウトモ思ヒマセスガ、刑罰法規違反ニ付テ

ノ罰則ノ適用ハ、其人ニ依ツテ統一サレナ

イ傾キガ多イノデアリマス、今日同ジ事實

ガ甲ノ土地ト乙ノ土地トニ起ツタ場合ニ、刑

罰法規ノ適用ノ量定ニ付キマシテモ、殆ド

同ジデアレバ問題ハアリマセスガ、所ニ依

リ、人ニ依リマシテ、少シモ統一サレナイ

傾向ガアルノヲ、私共實務家トシテ悲シミマ

ス、隨テ同一事實ニ付テ、起リマシタ場所

ノ如何ニ依ツテ運不運ガアル、斯ウ云フ風

ニ世間デ非難ヲスル者ガ澤山アル、商法ニ

關シタコトデアリマセスガ、選舉法違反

デ偶、甲ノ裁判所ニ於テハ體刑ヲ以テシ、乙

ノ裁判所ニ於テハ罰金ヲ以テシ、又或ル

裁判所デハ同一事實デソレヨリ重イモノニ

對シテ、公民權ノ停止ヲシナカッタト云フ

ヤウナコトモアルヤウデアリマス、商法違

反ハ普通ノ刑罰法違反トハ違フノデアリマ

スガ、斯ウ云フモノニ付テ、裁判統一ヲド

ウ云フヤウニ御圖リニナルカト云フコトヲ、

第一點トシテ伺ヒタイ、ソレカラ第二ニ伺

ヒタイコトハ、四百八十九條ノ二項ニ「何人

ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ會社ノ計算ニ於

テ不正ニ其ノ株式ヲ取得シ又ハ質權ノ目的

トシテ之ヲ受ケタルトキ」斯ウアリマスガ、

此「不正ニ」ト云フ意味ヲ一ツ伺ツテ置キタイ、

又「質權ノ目的トシテ之ヲ受ケタルトキ」ト云

フモノハ不正ト云フモノニ掛ラナイノデセ

ウカ、此點ヲ一ツ伺ツテ置キタイ、要スルニ

裁判ノ統一ト、ソレカラ是ハ刑罰法規ト

異ルノデアリマスカラ、慎重ニ此法條ノ

適用ニ付テハ考ヘナケレバナラスト云フ

點デアリマスカラ、親切ナ御説明ヲ願ヒマ

ス

○松阪政府委員 第一點ノ裁判ノ統一デア

リマス、之ニ付キマシテハ、先般ノ選舉ナ

ドノ犯罪ニ付キマシテ、甚ダ裁判ガ區々デ

アルト云フヤウナ御非難ガアツタコトハ、私

共モ屢々耳ニシタノデアリマス、中ニハ左様

ナ事實モアツタカト思ヒマスガ、兎ニ角各地

ノ裁判所ニ於テ、各判事ガ獨立シテヤッテ

居リマスノデ、中々此統一ヲスルコトハ事

實困難ナコトデアリマス、併ナガラ第一次

的ニハ、控訴院ガ其統一ニ當ツテ居リマス

シ、第二次的ニハ大審院ガ其統一ニ當リ、

法制上ハ公正ヲ期スルコトニナッテハ居ル

ノデアリマス、併ナガラ相當困難デアルコ

トハ屢々感ズルノデアリマスガ、公正ニ行ハ

ナケレバナラス、刑罰ハ權衡ヲ得ナケレバ

ナラスト云フコトハ、私共モ常々考ヘ、又

裁判ニ當ツテ居リマス裁判官モ檢察官モ、

十分考ヘテヤッテ居ルコトデアリマス、唯是

ハ決シテ辯解ヲ申上ゲル積リデハナイノデ

アリマスガ、例ヘバ背任罪、横領罪ノ如キ、

假令一万圓ノ金ヲ横領シタ罪モ、一方デハ

一年ノ刑ヲ受ケ、一方デハ二年ノ刑ヲ受ケ、

色々違フヤウニ見エマシテモ、其横領ニ至

ル動機、原因、其犯狀、賠償ノ有無等、色々

ナ點カラ見レバ、必シモ同一ノ刑ニ科スベ

キモノデナク、刑ノ違フノガ當然デアリマ

スガ、新聞等ニ現ハレマス、片一方ハ一

萬圓横領シテ六箇月デ済ンダノニ、一方デ

ハ二年ヤラレル、甚ダ權衡ヲ失スルト云フ

ヤウナ非難ヲ屢々聞クノデアリマス、ソレ

等ノ點ハ裁判ノ實情ニ能ク御精通ニナッテ

居ル内藤委員ハ、固ヨリ御承知ノコトデア

リマセウガ、世間ノ非難ノ中ニハ往々左様

ナ非難モアルノデアリマス、併シ御注意ノ

通り、裁判ニ於テ刑ノ統一、公正妥當ヲ得

ナケレバナラスコトハ、非常ニ大切ナコト

デアリマスカラ、今後トモ其點ニ付テ、各

判檢事ノ十分ナル注意ヲ喚起致ス積リデ居

リマス、第二ノ四百八十九條ノ第二號ノ「不

正」ノ意義ハ、ヤハリ社會通念ニ依ッテ決マルノデアリマス、法令ニ違反スル場合ノ如キモ、不正デアリマス、定款等ノ規定ニ違反スル場合モ不正デアリマス、此不正ハ株式ノ取得ノ場合ノミナラズ、質權ノ目的トシテ之ヲ受ケル時モ勿論冠サルノデアリマシテ、質權ノ目的トシテ之ヲ受ケルノモ不正デナケレバナラス、多クノ場合ニハ、質權ノ目的トシテ之ヲ受ケルコトハ違法デアリマスガ、法律ノ規定上、適法ニ質權ノ目的トシテ受ケ得ル場合ノ規定モゴザイマスノデ、此不正ハ雙方ニ掛ルモノト解釋シテ居ルノデアリマス

○内藤委員 サウ云フヤウナ御答辯デシタラ、突キ進ンデ私ハ尙ホ御尋致シマス、大體此商法ハ澤山ナ法規デスガ、此法規デ新シク補充シタカ、或ハ從來疑義ノアツタコトヲ避ケル爲ニ、新シク規定ヲ御設ケニナツタコトハ、是ハ誰デモ分ッテ居リマス、所ガ中ニハ新設シタモノモアリマスシ、色々ニ茲ニ現代ノ時代ノ流れヲ御汲ミニナリマシテ、思想的ニ取入レラレタ法文モ、各所ニ見得ラレルノデアリマス、之ヲ一年ノ期間デ——勿論皆偉イ方バカリデアリマスガ、眞ニ之ヲ統一シテ理解ガ出來ルカドウカニ付テ、私ハ疑ヲ持チマス、是ハ裁判官ダケデ

ハナイト思フノデアリマシテ、此商法ノ規定ニ依ッテ裁判ノ發動スル場合ハ間々アリマスガ、其多クハ事業者、株主相互ノ間ニ於ケル問題デアリマスノデ、裁判所ノ發動ヲ求メル場合ハ少ナイノデアリマス、併ナガラ誤ッテ色々ナ問題ガ起キマス時ニハ、ソレゾレノ法令ニ基キマシテ裁判所ガ發動スル場合モアリ、又幾多ノ職務ガ新シク出來テ居ルノデアリマスガ、ソコデ此ノ商法ノ罰則ノ運用、罰則ノ問題ヲ研究スル爲ニハ、一般法文ノ研究モシナケレバナラス、之ヲドウ云フヤウニシテ徹底的ニ周知セシメルト云フ方法ヲ御採リニナリマスカ、是ハ理窟カラ申シマスレバ、御裁可ニナッテ公布サレ、バ勝手ニ研究シタラ宜イデヤナイカ、又裁判官ハ裁判官デ研究シタラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ御答辯ガアルカモ知レマセヌケレドモ、ソレダケデハイケマイト思フ、其法律ガ出來上ツタ以上ハ、或ハ全國ノ裁判官ヲシテ司法官ノ會同ヲ行ツタ上ニ、裁判官ノ入レ替ヲ爲シテ、地方ニモ良イ裁判官ヲ廻シテ、此法案ノ趣旨ヲ徹底スルヤウニスル、又法案ノ研究ニ付テ、動モスレバ實情ニ疎イ所ガ出來マス、都會地ハ別トシテ、都會以外ノ刺戟ノ少ナイ地デハ疎イ所ガ出來マスカラ、斯ウ云フヤウナ法律ノ運用ヲ誤

リノナイヤウニスル爲ニ、刺戟ノ少ナイ地方ノ司法官ハ都會ヘ一遍轉任サシテ、能ク之ヲ鍊ヘテ、サウシテ又元ヘ還元スルト云フコトニシテ、統一、徹底ヲ圖ルトカ何トカシテ戴カスト、私共ハ得心ガ行キ難イノデアリマス、旨ク行クカ行カヌカト云フコトハ疑問デアリマス、殊ニ妙ナ御話ヲシマスケレドモ、此委員會ニハ大抵辯護士ガ居ラレタリシテ、此處デ聽イタモノハ速記録ヲ讀ムト分リマス、大體ニ於テ分ラスト云フコトハナイ、所ガ多クノ人ガ全部分ルカト云フト、ソレハ飛ンデモナイコトデアール、失禮ナ話ダガ代議士全部ニ分ルカドウカサヘ疑問デアール、況ンヤ一般ノ場合ニ於テ、ドウシタラ間違ノナイヤウニシテ何處迄モ商法ノ規定ヲ分ラセルヤウニスルコトガ出來ルカ、其爲ニハ私ハ特別ノ考ヘ方ガ要ルト思ヒマス、罰則ノ場合ニ於テ抽象的ニ聽イタ譯デアリマスガ、其點ニ付テ何カ御抱負ナリ御經綸ガアレバ、此機會ニ十分御説明下サランコトヲ御願致シマス

○松阪政府委員 罰則ニ關シテノ御質問デアリマスガ、或ハ民事局長カラ御答スルノガ適當カモ存ジマセヌガ、罰則關係ニ付テ私カラ申上ゲマスガ、此點ニ付キマシテハ固ヨリ檢事或ハ刑事ノ裁判官ニ、之ヲ知ラ

セルノミデハ足りナイ、犯罪ガ起ッテカラ之ヲ處罰スルダケデハイケナイ、一般公衆ニモ斯ウ云フ罰則ガアルト云フコトヲ知ッテ貰ッテ、斯ンナ罰則ガアルカラスウ云フコトヲヤッテハイケナイト云フコトヲ、國民ニ徹底セシムルコトガ先決問題デアール、之ヲ旨ク運用スルコトモ必要デアルケレドモ、罰則ノ趣旨ヲ國民ニ徹底スルコトガ第一要件デアール、隨テ此點ニ付テハ運用ニ付テ、若干ノ豫算上費用モアリマスノデ、國民ニ周知セシムルニ付テ「パンフレット」ナリ、其他ノ文書ヲ出ストカ、其他ノ方法ハ今攻究中デアリマシテ、此邊ノコトハ民事局長カラ答辯ヲ致スト思ヒマスガ、是ハ判檢事ニモ固ヨリ訓令ヲスルノミナラズ、更ニ色々ノ方法デ、此運用ニ付テ、適切ナル運用ヲ期スル方法ヲ講ジタイト思ッテ居リマス、出來得ルナラバ會同モ催シタク考ヘテ居リマス、一般周知ノ方法等ニ付テハ、民事局長カラ御答致スグラウト思ヒマス

○大森政府委員 御答ヲ致シマス、先ヅ外部ニ對スル關係デアリマスガ、只今刑事局長ヨリ申述ベマシタ通り、少額デハアリマスケレドモ此商法ガ法律ニナリマシタ場合、此實施準備ノ爲ニ多少ノ費用ヲ豫算デ得タノデアリマス、尤モ是ハ御協賛ヲ願ッテ居

ル問題デアリマスガ、是ガ豫算トシテ確定スレバ、其金ヲ一般周知ノ方法ニ向ケタイト存ジマス、或ハ講演、或ハ「パンフレット」ノ發行、其他其範圍ニ於テ出來得マス所ノ最善ノ方法ヲ盡シタイト存ジテ居リマス、尙又内部ニ對スル對策デアリマスガ、只今御指摘ニナリマシタヤウニ、此實施準備期間中ニ判事ノ會同ヲ催シテ、オ五ニ此法律ニ付テ詳細ナル研究ヲ遂ゲ、且ツ取扱ノ打合せニ遺漏ナキヲ期シタイト思ヒマス、尙ホ御承知ノ通り此案ニ於テハ、地方裁判所ニ於ケル非訟事件ガ大變殖エタノデアリマス、會社ノ整理、特別清算ニ於テ殊ニ然ル譯デアリマス、デアリマスカラ此法律ノ實施ニ付テハ、ドウシテモ此爲ニ判事ノ充實、又延イテ移動ト云フコトモ起ルガラウト思ヒマス、折角是ガ御協賛ヲ得ルコトニナリマスレバ、其準備並ニ施行ニ付テ萬遺漏ナキヲ期シタイノデアリマス、只今御注意ニナリマシタ諸點ハ、吾々ニ於テモ御趣旨ノ通り運ビタイト存ジテ居ル次第デアリマス

○一松委員 私モウ一ツ刑事局長ニ伺ヒタイ、ソレハ先刻ノ特別ノ株式會社法案ニ對シテ、司法大臣ガ關與シテ居ナイト云フコトニ對スル私ノ疑問ニ關聯シテデアリマスガ、特別ノ株式會社法案、例ヘバ今期議會

ニ提案セラレマシタ工作機械製造事業法案、是ハ株式會社デアルノデスガ、刑罰法規ヲ規定シテアル、ソレカラ航空機製造事業法案、是モ株式會社ガアルノデスガ、刑罰法規ガ規定シテアル、ソレカラ有價證券引受業法案、是モ株式會社ガアルノデアリマス、之ニモ刑罰法規ガ規定シテアル、斯ウ云フ刑罰法規ハ是ハ司法省ノ刑事局ノ方ノ何カ審査ニ附シタデセウカ、若クハ刑事局長ハ此刑罰法規ノ内容ヲ御審査ナサツタデアリマセウカ伺ヒタイ

○松阪政府委員 只今御指摘ニナリマシタ三法案ニハ、何レモ刑罰法規ハ設ケラレテ居リマスガ、ソレノ立法ニ當リマシテ罰則ノアル分ニ付キマシテハ、當該主務官廳カラ司法省刑事局ヘ相談ガアリマシテ、私共其審議ニ關與シテ居ルノデアリマス、勿論私自身ハ議會ヘ出席シテ居リマシタ爲ニ、私直接扱ハズニ、課長ガ扱ツタ分モゴザイマスガ、後ニ報告ヲ受ケテ私自身承知シテ居リマス、罰則ノ附イタ法律ニ付テハ、刑事局ガ必ズ相談ニ與リ、相談ニ關與シテ居ルノデアリマス

○一松委員 ソレデ安心致シマシタ、サウ致シマス、斯ウ云フヤウナ刑罰法規ニ對シテ關與セラレタ以上ハ、ヤハリ商法ノ罰

則等ヲ比較對照シテ、公平ナル罰則デアルト云フコトヲ十分ニ御考慮ノ上、特別ノ株式會社法案ニ對スル刑罰ニ御同意ニ相成ツタモノデアリマスカ

○松阪政府委員 如何ニモ御説ノ通り、商法ノ罰則ニ付キマシテハ、常ニソレヲ念頭ニ置キマシテ、其權衡ヲ取リツ、特別法ノ罰則ニ付テモ、審議致シタ次第デアリマス

○一松委員 特別法ハ普通法ニ優ルノデアリマシテ、此特別法ノ株式會社ニ關スル刑罰法規ガ、只今私共ノ審議シテ居リマス商法ノ刑罰ヨリ輕イ場合ガ多イ、サウ云フ場合ニハ此特別ノ株式會社ニ規定セラレテ居ル輕キ刑罰ヲ以テ、處罰スルト云フコトニナルコトガアリマス、マア例ヲ舉ゲマセヌ、サウスルト却テ不公平ニナリハセヌカ、其邊ハ十分比較シテ御覽ニナツタデセウカ、ソコヲ非常ニ心配シテ居ルノデス

○松阪政府委員 私ノ記憶シテ居リマス所デハ、商法第七章ノ罰則中ノ刑罰ヲ課シタ部分ニ對シテ、特別ニ刑ヲ低クシタ規定ハナカッタヤウニ考ヘテ居リマス

○一松委員 サウ云フヤウニ刑罰法規ノアルモノハ、刑事局長ガ之ニ關與スルト云フコトデアレバ、斯ウ云フヤウナ司法省ガ直接主宰シテ居ル法案ノ提出ニハ、司法大臣

ガ關與シナケレバナラスト云フコトヲ、一層痛感致シマス、是ハ私ハ此委員會バカリデアリマセス、今申上ゲマシタヤウニ、委員會ニ於テ司法大臣ヲ「オミット」シテ居ル、各委員會ニ於テ何故司法大臣ヲ、之ヲ關與セシメナカッタカト云フ質問ヲ致シマシテ、私共ノ主張ヲ徹底サセル考デアリマスガ、ドウカ司法省ニ於キマシテモ、御自身ガ關係シテ刑罰法規等ニ關與シテ居ルヤウナ時ニハ苟モ法令ノ提案ニハ司法大臣ノ御名前ヲ堂々御入レニナルコトガ宜イト思ヒマスカラ、一層御注意相成ルヤウニ願ヒタイ

○内藤委員 私ハ適當ナ機會ニ質問ヲ保留ヲ願フコトニ致シマスガ、一松氏ガ先程言ハレマシタヤウナ同ジ事項デ、特別法ニ基イテ設立セラレタ會社ノ罰則ト同一事項デ、商法ノ方デハ刑期ガ長ク、又罰金ニ付テモ重クナツテ居ルモノガアルコトヲ、今私宙ニ憶エテ居リマセスガ、例ヘバ不實ノ陳述ヲシタリ、事實ヲ隱シタリシテ居ル場合ニ、商法ノ罰則ノ方デハ五年以下トカ、五千圓以下トカ、特別法ハ僅カ千圓以下ト云フヤウナ、少クナツテ居ルモノガアルト思フ、今日罰則ニ入ルコトハ存ジマセスデシタカラ、調べテ參リマセヌデシタノデ、調

ベタ上デ彼此對照シテ、尙ホ適當ナ機會ニ
質問スルコトヲ委員長ニ御願致シマスト共
ニ、今司法省ニ、ハッキリ伺ッテ置クノデス
ガ、若シアツタトシタラ、司法省ハアチラノ
方ノ罰則ヲ正確ナ法案ト見テ、此方ノ修正
ヲサレルヤウナコトガ將來ナイトモ限リマ
セスカラ、是ハドウ云フヤウナ御考デゴザ
イマセウ、商法ハ商法トシテ行ク、アレハ
アレトシテ行クノダ、ソレデ一松サンノ前
ニ言ハレタヤウニ、アレハ特別法ダカラ、
普通法ヨリ特別法ハ先ニ立ツト云フヤウナ
意味合カラ、サウ云フ特別法規ノアル時ニ
ハ刑ガ輕クナル、斯ウ云フコトニナルノデ
セウカ、之ヲ伺ヒタイ、若シサウ云フコト
ニナルノダト云フ御話ニナルト、政府ノ保
護ヲ受ケ、若クハ政府ガ幾ラデモ關與シタ
會社ハ、罰ヲ受ケル場合ニ於テモ重役ガ輕
イ、普通ノ事業會社ノ方ハ、商法ノ罰則デ
重キ刑ヲ受ケルト云フコトニナツテ、何レニ
致シマシテモ、會社法規ノ違反ニ對シテ彼
此レト、日本國內ニ於テ刑ノ規定ガ違フト
云フ現象ハ面白クナイト思フ、何レモ會社
法ニ違ヒハナイノデアリマス、其點ニ對シ
當局ノ御説明ヲ煩ハシテ置イテ、私ハ研究
ノ上デ又質問ヲ致シマスカラ、後日ニ保留
シテ置キマス

○松阪政府委員 只今ノ御質疑デアリマス
ガ、固ヨリ司法省ト致シマシテハ、刑事局
ニ於キマシテモ、會社ノ罰則ニ付キマシテ
ハ、申ス迄モナク會社法ノ罰則ガ基本法ガ
アリマス、ソレヲ輕クスルトカ、或ハ重ク
スルトカ云フコトニナルト、基本法規トノ
權衡ハ重大ナ問題デアリマシテ、固ヨリ輕々
ニ出來ナイ、非常ニ慎重ヲ期スル譯デア
リマス、先般來政府カラ提出シテ居リマス
各種特殊會社ノ法案ニ付キマシテモ、罰則
ガアリマスルガ、私ノ記憶ニ誤リナシトス
ルナラバ、此商法ノ罰則ヨリ特別規定ト
シテ特ニ輕クシタモノハナイ筈デアリマ
ス、若シ記憶ガ間違ッテ居リマシタナラバ
訂正致シマスガ、只今一寸御述ニナリマ
シタ、不實ノ陳述ヲ爲シ事實ヲ隱蔽シタル時
ニ付テ、他ノ會社ニ付テハ輕ク罰シテ居ル
規定ガアツタヤウダト云フ御意見デアリマ
シタガ、私モ是亦記憶デアリマスカラ、何
レ調査シテ正確ナコトヲ申上ゲタ方宜シ
イガ、本法ノ四百八十九條ハ、會社ノ設立
又ハ資本増加ノ場合ニ於テ、株式總數ノ引
受、株金ノ拂込若クハ現物出資ノ給付ニ付
テ、又裁判所又ハ總會ニ對シ不實ノ申述ヲ
爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタル時ノ處罰ハ、是
ハ五年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金

デ、可ナリ重イノデアリマス、併ナガラ是
ハ資本ノ充實上極メテ重大ナ規定デアリマ
スカラ、裁判所又ハ總會ニ對スル事實ノ隱
蔽ハ重ク罰スルト云フノデアリマス、他ノ
特別會社ノ法規中ニ、不實ノ申述ガ輕クナッ
テ居ッタノハ、此資本ノ増加、會社ノ設立ノ
場合ノ株式總數ノ引受等以外ノ事柄デアッ
タト私ハ記憶致シテ居ルノデアリマスル
ガ、是ハ何レ法案ヲ見タ上デ、又正確ニ御
答ラスル積リデ居リマス

○内藤委員 私ハ咄嗟ノ場合デアリマ
シテ、オ互議論シテモ間違ヲ起シテ嗤
ヒラ後日ニ殘シテモイケマセスカラ、
又調査シテカラ御質問致シマスガ、若
シ私ノ言フ議論ガ正論デアレバ、司法省
ハ相當ノ考慮ヲシテ御答辯ヲ煩ハシタイト
云フコトヲ、特ニ申上ゲテ置キマス、モウ
一點ハ、四百九十二條、是ハ此前ノ議會ノ
時ニ問題ニナツタガ、罰金ト懲役ノ併科主
義ニナツテ居ル、是ハ「又ハ」ト云フコトニ變
ヘタガ宜イデヤナイカト云フ議論ガアツタ
ガ、其當時ノ政府當局ノ意見トシテ「及罰
金ヲ併科スルコトヲ得」デアルカラ構ハス
デヤナイカト云フ議論デ、逃ゲラレタノデ
アリマスガ、成程答辯トシテハソレデ宜イ
ガ、併シ法文ガアル以上ハ裁判官ニ依ッテ之

ヲ濫用スル人ガナイトモ限リマセスガ、是
ハ明ニ速記録ノ中ニ司法省トシテ御殘シ
願ツタドウカト思フ、是ハ「懲役及罰金ヲ併
科スルコトヲ得」トアリマスカラ得ト云フノ
デアルカラ必ズ此法文通り併科スルモノデ
ナイ、斷ジテナイ、事情ニ依ルト云フコト
ガ力瘤ヲ入レテアル、恰モ關稅法違反ノ時
ニ、罰金ガ非常ニ併科サレマスカラ、特別
ナ惡質ノ場合、斯ウ云フヤウナ場合ト云フ
コトヲ明ニシテ戴キマセスト、委員ノ方モ
満足出來マセスガ、甚ダ此間ノヤウナサラッ
トシタ御説明デハ、得心行キ兼ねルガ、如何
ナモノデセウカ、ハッキリシタ御説明ヲ願ヒ
タイ

○松阪政府委員 御尤デアリマス、第四百
九十二條ハ「情狀ニ因リ懲役及罰金ヲ併科
スルコトヲ得」トアルノデアリマスガ、是
ハ「得」ト云フコトデ、必ズ科スベシト云フ
モノデナイノデアリマス、情狀ニ依ッテ科シ
テモ宜イ場合ガアルゾト云フコトヲ、明
云シテ居ルノニ過ギナイノデアリマス、斯
様ナ規定ヲ設ケマシタ理由ハ、御承知ノ刑
法改正問題ニ付キマシテ、大正十五年ニ其
綱領ヲ發表致シテ居リマスルガ、其第九條ニ
自由刑ニ當ル罪ニ付情狀ニ因リ罰金ヲ科ス
ルコトヲ得ベシト云フ規定ヲ設クルコトト

云フ綱領ヲ定メマシテ、總テ利益ヲ得ル目
的デアツタ場合ニハ、罰金ノミデハ足りナ
イ、又自由刑ノミデモ十分デナイト云フ場
合、雙方併科シタガ宜シイト云フ意見ガ、
學者竝ニ實際家ノ間ニアリマシタノデ、刑
法ノ改正ニ當ツテモ其趣旨ヲ尊重シテ、改正
ニ當ツテ居ルノデアリマスカラ、商法改正ニ
當リマシテモ其趣旨ヲ採リマシテ、斯様ナ
規定ヲ設ケタ次第デアリマス

○一松委員 一寸私最後ニ……私前回ニハ
刑罰法ガ重イト云フコトヲ主張シタ一人デ
アリマスガ、其後政府ガ資本金ノ半額以上
ヲ出シテ設立スルヤウナ特別ノ會社ガ、段々
必要トナツテ參リマシテ、先刻來例ヲ擧ゲ
マシタヤウナ會社、國防其他ニ付テ國策ヲ
遂行スル上ニ於テ必要ナ會社ガ、澤山出來
テ參リマシタ、而シテサウ云フ會社ハ所謂
公法人デアリマセヌ爲ニ、サウ云フヤウナ
會社ノ人々ニ賄賂ヲ提供スル、或ハサウ云
フヤウナ會社ノ人々ガ賄賂ヲ取ルト云フヤ
ウナ場合、特別ニ刑法ノ制裁ヲ受ケルコト
ガ出來マセヌ、デスカラシテ丁度本條ノヤ
ウナ賄職ニ値スル場合、之ニ制裁ヲ加ヘル
規定ノ必要デアルコトハ、私ハ是ハ宜イコ
トデアルト思フ、先年私共協賛致シマシタ
日本製鐵株式會社即チ八幡ノ製鐵所、アレ

ガ國營デアリマシタ時ニハ、ソコニ勤メテ
居リマスル役人ナドニ賄賂ヲ提供シタト云
フコトニ依ツテ、罪ヲ生ズルコトガアリマス
ガ、ソレガ日本製鐵株式會社ト云フ一ツノ
私設會社トナリマシタ後ニ於テハ、賄賂ヲ
ヤツタカラト云ウテ今ノ儘デハ賄職罪ハ成
立シマセヌ、ソコデ商法ガ斯ウ云フ規定ヲ
設ケタノハ、最モ是ハ機宜ニ適シタヤリ方デ
アルト思フ、殊ニ今回ノヤウナ國防上必要
デアリマスル工作機械製造會社、或ハ飛行
機ヲ造ル會社ト云フヤウナモノデ、國家ガ
資本ノ半分以上ヲ出シテ會社ヲ拵ヘテヤラ
セルナドト云フコトニナレバ、自然事業ノ
内容ガ國家的ニナツテ參リマスカラ、其理
事者ト云フモノハ餘程責任ガ重クナリマス、
隨テ責任ノ重イ人々ガ其事業ヲ遂行スルニ
當ツテハ、餘程慎重ニ總テノ事ヲヤラナケレ
バナラス、其人ガ輕率不謹慎ナ仕事ヲシタ
リ、或ハ不注意ナル事業ヲ遂行シテ見タリ
シテ、會社ニ損害ヲ與ヘル、或ハ自己ノ私
腹ヲ肥スト云フヤウナ場合ニ、普通ノ刑法
ヨリ重キ刑罰ヲ以テ臨ムト云フコトハ、當
然デハナカラウカト實ハ考ヘテ、昨年ノ、
刑罰ガ重イト云フ意見ヲ考ヘ直シテ見テ居
ルノデアリマスガ、政府ガ唯此會社ナドノ
仕事ガ段々重クナツテ來タノダカラ、今マ

デ有リ觸レタ個人會社ノ重役等ニ普通ノ刑
罰ヲ科スルト云フコトガ、少シ輕過ギルカ
ラ重ク罰シタト云フコト以上ニ、今私ノ
申上ゲルヤウナコトヲ加味スルガ故ニ、
刑罰ガ重クナルノダト云フ御説明デア
ルト、吾々ハ一應承服ガ出來ルノデアリマ
ス、ケレドモ、唯今マデノヤウナ個人會社
デ五十萬圓ヤ百萬圓ノ人ガ商賣スル爲
ニ、會社ヲ拵ヘル、ソレニ何カ不正ナ事
ガアツタト云フノデ、今俄ニ重ク罰スルト
云フコトハ餘リ酷イデヤナイカト云フ感
ジガ起ル、今私ガ申上ゲマスルヤウナ、國防
ダトカ國策ノ遂行ト云フヤウナ、政府ガ金
ヲ出シテヤラセル株式會社ト云フヤウナモ
ノガ、段々殖エテ來タ以上ハ、刑罰ヲ重ク
シテソレ等ノ責任ニ重キヲ加ヘシメ、仕事
ヲ注意シテサセルト云フ爲ニハ、今日ノ刑
罰ガ必要デヤナイカ、斯ウ云フヤウニ御説
明ヲシテ戴ケバ、吾々ハ納得出來ルノデア
リマスガ、其邊ハ如何デセウカ

○松阪政府委員 洵ニ御尤デアリマス、最
近ノ立法ヲ見マシテモ、特殊會社ガ非常ニ
殖エテ參リマシタ、是等會社ノ幹部役員ハ、
殆ド實質ニ於テハ公務員ト大差ガナイヤウ
ナ身分ヲ持ツテ居ル、隨テ左様ナ特殊ノ會社
ガ國策ノ線ニ沿ウテ多ク出來テ來ルニ從ッ

テ、商法ノ賄職罰ノ規定ト云フモノハ、益々
其必要ヲ加ヘルコトト存ジマス、只今一松
委員ノ御述ニナリマシタ理由モ、喜ンデ政
府ハ之ニ加ヘサセテ戴キマス

○内藤委員 モウ一點ダケ伺ツテ見マス、法
案ノ中ニ「法令又ハ定款ノ規定ニ違反シテ
利益又ハ利息ノ配當ヲ爲シタルトキ」之ニ
關聯シテ伺ヒマス、是ハ法令ノ規定ニモ違
反セズ、定款ノ規定ニモ違反セズ、又利益
配當ハ無論スルト思ヒマスガ、斯ウ云フヤ
ウナキツイ規則ヲ以テ御臨ミニナルト、仕
事ハ正確ニ致シマスケレドモ、重役ガ重役
報酬ヲ非常ニ餘計ニ取ルト云フコトガ起リ
ハシナイカト思フノデアリマス、司法省トシ
テハ是ハ總會ノ決議ニ依ルコトダカラ、人
ノ意思ニ依ルノダ、不合理ナコト不正ナコ
トヲヤルノデハナイカラ、ソコ迄ハ何トモ
出來ナイト云フヤウニ仰セニナルノデアリ
マスガ、是ハ何カ司法省ノ方デハ、先程一
松サンノ御話ノアツタ通り、將來配當制限ニ
關スル法規ト云フモノガ、何カノ時ニ出來
ルト云フ御考ヘ方カラ、斯ウ云フ進ンダ法
案ヲ御拵ヘニナツテ居ルノデセウカ

○松阪政府委員 此罰則制定ニ當ツテハ、配
當制限ヲ別ニ考慮ニ入レテ居リマセヌガ、
若シ法律ヲ以テ配當制限ヲスル場合ガ生ジ

マシタナラバ、勿論其法律ニ從ハナケレバ、本條四百八十九條第三項ニ違反スル事項ニナルノデアリマス、本法制定ノ趣旨ニ於キマシテハ、利益ニ付キマシテハ二百九十條、配當ニ付キマシテハ二百九十一條ノ規定ガゴザイマスノデ、ソレ等ノ規定ニ違反シタル配當ハ、刑罰ヲ以テ取締ル又定款ニ規定スルナラバ一應ソレニ從フ、其規定ヲ尊重スルノデアリマスガ、然ルニ規定ガアルニ拘ラズ、其規定ニ違反シタル場合ノ利益配當、利息配當ハ、是ハ違法トシテ刑罰ノ制裁ヲ致ス、斯ウ云フヤウニ致シタノデアリマス

○内藤委員 私ノ質問ノ趣旨ハ御分リニナッテ居リマスカ、的違ヒノコトヲ言ッテ居ラレハ、私ノ言フノハ、法令ニ違反シタリ、定款ノ規定ニ違反シタリシテ配當スルモノハ、恐ラク今後取締ルデセウ、併ナガラ法令ニ違反セズシテ、特ニ配當制限ガナイ限り、定款ニモ特ニ定メテナイ限りハ、必ズヤ今ノ情勢カラ見レバ、特殊ノモノハ非常ナ高度ノ利益ヲ得ルノデアリマス、デアリマサルカラ、餘計ニ利益ヲ得ルコトニ依ッテ、フンドンニ取リタクツテ置イテ、平素然ルベク之ヲ行ッテ、アナタガ豫期シタヤウナ旨イ通リニ網ニ掛ライダラウ、サウ云フノデ

アリマスカラ、ソコ迄考ヘマスト、司法省ニハ賢明ナ方ガ居ラレマスカラ、恐ラク將來配當制限トカ云フヤウナコトノ御腹案モ、御考ニナッテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ伺ッタノデアリマス

○松阪政府委員 實質的ノ配當制限ノ問題ニ付テハ、是ハ刑罰關係デ、私人デ御答申上ゲルヨリ民事局長カラ御答申上ゲタ方ガ宜イカト思ヒマス

○大森政府委員 司法省ノ現在ノ狀態ニ於キマシテハ、一般基準法規デアリマスル商法ニ於キマシテ、配當制限ノ規定ヲ設ケルト云フコトヲ考ヘテ居リマセヌ、右ノ實情ダケ申上ゲテ置キマス

○野村委員長 罰則ニ付テハ他ニ御質疑ガナイト認メマス、此際中野君ノ質問ヲ願ヒマス

○中野委員 百九條ニ於テ、重大ナル過失トゴザイマシテ、輕過失ニ付テハ責任ガナイコトニナッテ居リマスガ、民法ニハ重輕共ニ過失ガアレバ責任ヲ負フコトニナッテ居ル、所デ會社合併ト云フヤウナコトハ、會社ニ取リマシテモ非常ナ重大ナコトデアアルコトハ、言フ迄モナイノデアリマスガ、ソレニ對シテ訴ヲ起スト云フ——此訴ト云フコトハ本條ノ訴ニ限ラズ、吾々ト致シマシ

テモ洵ニ遺憾ニ思フコトデアリマス、サウ云フ訴ヲ起スト云フコトニ付キマシテハ、結果カラ申シマシテ、今申シマスヤウナ重大ナコトデアリマスカラ、而シテ人ノ忌ム訴ヲ苟モ出スト云フコトニ付テハ、相當ナ注意ヲ拂ハナケレバナラヌト、事自體ハ、サウナッテ居リマスカラ、過失デアラウガ責任ヲ持ツノガ至當デハナイカ、殊ニ民法トノ權衡上、左様ニ考ヘルノデアリマスガ、特ニ茲デ輕イ過失ヲ御除キニナリマシタ根本ノ理由ヲ、伺ヒタイト思ヒマス

○大森政府委員 御答ヲ致シマス、御説ノ通りニ、此案デハ第百九條二項ニ於キマシテ、輕過失ヲ除イテ居ルノデアリマス、併シ是ハ原告ガ敗訴シタ場合デアリマシテ、其裁判ノ結果ニ付テノ問題デアリマスカラ、斯様な場合ニ付テ輕過失ノ責任ヲモ追及スルコトハ、當ヲ失スルモノト存ジタカラデアリマス、尙ホ御承知ノ通りニ、現行法ガ、斯様な場合ニ惡意又ハ重大ナル過失トアリマシテ、輕過失ヲ除イテ居リマシテ、其趣旨ヲ踏襲致シマシタニ過ギナイノデアリマス

○中野委員 百六十七條ニ付テ御尋致シマス、百六十七條ニ「定款ハ公證人ノ認證ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ有セズ」トアリマス、此公證人ノ認證ト云フノハ、公證人が爲シマス確定日附デモ宜イト云フ意味デアリマスカ、ソレデハイケナイト云フ意味デアリマスカ

○大森政府委員 此百六十七條ノ認證手續ニ付キマシテハ、御承知ノ現行法ノ公證人法ハ之ヲ豫想シテ居リマセヌカラ、此公證人法ヲ改正致シマシテ、之ニ關スル手續ヲ新ニ設ケル積リデ居リマス、是ハ今日ノ吾々ノ腹案ト致シマシテハ、定款ノ原本ヲ二ツ拵ヘマシテ、サウシテ之ニ認證ヲシテ貫ヒマシテ、一ツハ會社ニ備ヘ、他ノ一ツハ公證人ノ役場ニ備ヘテ置ク、斯ウ云フ積リデ居リマス、右ノ手續規定ハ何レ明年御協賛ヲ願ヒマスコトニ相成リマセウト存ジマス

○中野委員 サウスレバ明年サウ云フコトニ御運ビニナリマス、ソレ迄ハドウ云フ風ニシタラ宜シイカ、只今申シマシタ確定日附ト云フモノハ入レテ宜シイノデアリマスカ、或ハソレデハ不足デアルト云フ御見解デアリマセウカ

○大森政府委員 此法案ガ幸ニ御協賛ヲ得マシテ、法律ニナリマシテモ、公布後先ヅ一年間ハ實施準備ノ期間ヲ置キタイト思ッテ居ルノデアリマス、ソレ迄ニ非訟事件手續法、公證人法其他之ニ必要ナル改正ヲ致

シマスカラ、ソレ等ノ改正ヲ俟タズシテ實施ヲスルト云フコトガナイト、斯様ニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

○中野委員 モウ一ツ、百七十八條ニ付テ御伺致シマス、最初拂込場所ヲ決メルト云フコトニ付テハ、許可ノ手續ガ要ラナイヤウニ考ヘルノデアリマスガ、サウ致シマスレバ、最初ニ決メルコトニ付テ許可ガ要ラナイ、後ニ變更ノ場合許可ガ要ルノダト云フコトニナッテ居ル、其立法趣旨ガ第一ニ御聽キシタイ、ソレカラ本條ニ「銀行若ハ信託會社ヲ變更シ」トアリマスノデ、ソコデ疑ヲ生ジマスノハ、拂込ノ取扱場所及ビ取扱者ハ銀行又ハ信託會社ニ限ルト云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマスガ、ソレハドウデゴザイマセウカ、若シサウデナイトシタナラバ、何故場所及ビ取扱者ノ中、特ニ銀行ト信託會社ノ變更ノ場合ノミニ限ラレタ其理由ハドウデアリマスガ、今一ツハ拂込金ノ保管替デアリマスガ、其保管替ノ時期デアリマスガ、ズット保管替ハ長ク、何時マデト云フノモ語弊ガアリマスガ、是ハ創立總會後ニ至ルモ、保管替ヲ致シマスニ付テハ、ヤハリ其時期ガアルト云フコトデアリマスカ、御示ヲ願ヒタイ

○大森政府委員 第一點ニ付キマシテハ成

程御指摘ノ通りニ、最初此銀行ナリ、信託會社ヲ指定シマスルニハ、裁判所ノ許可ヲ要シナイノデアリマス、併シ一旦指定致シマシタ場合ニ、ソレヲ株式申込書ノ記載要件トシテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ遽ニ而モ容易ニ變更スルト云フコトハ、甚ダ危険デアリマス、又不安ヲ來ス所以デアリマス、デアリマスルカラ變更スル場合ニハ、必ズ裁判所ノ許可ヲ要スルト云フコトニシタノデアリマス、即チ濫ニ之ヲ變更スルコトヲ得ザラシメルノ趣旨デアリマス、第二點デアリマスルガ、是ハ銀行ト信託會社トニ限定スル積リデアリマス、ソレデ其趣旨ニ於テ銀行若クハ信託會社ト書イタノデアリマス、何ガ故ニ之ニ限定スルカト申シマスルト、ヤハリ拂込金保管ノ確實ヲ期シマスルガ爲ニハ、銀行、信託會社ダケニシテ置キマシテ、其他ノモノニ之ヲ保管セシムルト云フコトヲ避ケタ方ガ、宜カラウト存ジタノデアリマス、尤モ他ノ特別法デ特別ノ事情ガアリマシテ、銀行、信託會社以外ノモノヲ指定スルコトヲ許ス場合ガアルカモ知レマセヌガ、法律ヲ以テ之ヲ許スト云フコトハ、又別問題デアリマスガ、一般基準法タル商法トシテハ、此二者ニ限定スル積リデアリマス、又第三點デアリマスルガ、此拂込金ノ

保管換ニ付テ、斯様ナコトヲ命ジテ居リマスルノハ、設立ノ登記ヲ完了スルマデノ話デアリマシテ、設立ノ登記ガ完了シマスレバ、此必要ハナイノデアリマス、其コトハ設立ニ付テノ確實ヲ期スル爲ノ規定デアリマスルカラ、解釋上自ラ明カデアラウト思ッテ居ル次第デアリマス

○中野委員 最後ニ登記スベキモノヲ登記シナカッタ場合ノ御叱リデアリマスルガ、從來取締役ノ住所ガ變リマシテモ、登記ヲ怠リマス、連帶デ以テ、皆ヤラレルヤウニナッテ居ッタノデアリマスルガ、只今デモヤハリサウナッテ居リマスルカ、一寸見エナイヤウデアリマスガ……

○大森政府委員 現行非訴事件手續法ニ依リマスルト、御指摘ノ場合ニハ取締役ニ若シ代表者ガアリマスルナラバ、代表取締役ダケガ罰セラレルト云フコトニ相成ッテ居ルト承知シテ居リマス

○内藤委員 一言此機會ニ二百一條ノ假設人ノ名義ト云フコトニ付テ、伺ッテ置キマス、近來斯ウ云フコトガ流行ルノデスガ、是ハ速記録ニ明ニシテ置カナケレバナラヌト思フノデ、御答辯ヲ求メテ置キマス、何ダカ親ノ付ケタ名前ヲ嫌ガッテ、姓ハ變ヘルコトハ出來マセヌガ、名前ヲ變ヘ

ルコトハ随分ヤッテ居リマス、私ノ親族デモ財産家デ随分サウ云フノガアルノデス、下ノ名ガ變ッテ居ル、例ヘバ民事局長デ言ヘバ大森ト云フ名ハ變ヘラレマセヌケレドモ、下ノ方ハドウモ是デハイカスト云フノデ名ヲ變ヘテ、ソレヲ通名トシテ商業家ナドデ、ヨクヤッテ居リマス、併シ親ノ付ケタ名デハナイカラ、戸籍ノ方カラ言ヘバソレハ通ラヌ譯デス、ダカラ裁判所ニ事件ガ起ルト、本名ヲ使ッテ、商賣デハ通名デ通スト云フヤウナ勝手ナコトヲヤッテ居ル、サウ云フヤウナモノハ私ハ假設人デハナイト思ヒマスルガ、ソレハ答辯モサウダラウト思ヒマス、ソコデ此假設人ノ名義ト云フ事柄ハ、所謂本當ノ架空ノ人デアッデ、其人ニ通名ガアル、例ヘバ本當ハ庄吉ト云フノダガ、ソレデハ丁稚ラシイカラ之ヲ庄兵衛ト變ヘルトカ、或ハ庄太郎トカ云フ風ナコトデナク、此假設人ハ所謂全然架空ノ人デアル、斯ウ云フコトニ御答辯ニナルモノト思ヒマスガ、之ヲ一ツ明ニシテ置キタイノデアリマス

○大森政府委員 全ク御説ノ通りデアリマシテ逐一御同感デアリマス

○中野委員 モウ一言最後ニ御尋致シマス、登記ノコトデアリマスルガ、サウスルト代

表者が決ツテ居ナケレバ、重役一同ガヤラレ
ル、斯ウナルノデスガ、代表者が居ル場合
ニハ、ソレデ結構デアリマスルガ、重役ノ
住所ガ變ルト云フヤウナコトハ、實際ニ於
テ代表者が決ツタ場合デモ、亦決ラヌ場合デ
モ、他ノ重役一同ガ知ラウトシテモ知ルコ
トガ出来ナイ場合ガアリマスガ、サウ云フ
ノデモ從來ハ總テ罰セラレテ居ルト思ッテ
居リマス、洵ニドウモ條理ガ立タヌコトト考
ヘマスガ、其點ドウデゴザイマセウカ

○大森政府委員 御説ノ通りニ非訟事件手
續法ノ第百八十八條ノ第三項ニ依リマシテ、
重役ノ氏名又ハ住所ノ登記ハ、會社ノ代表
取締役ガヤラナケレバナナイコトニナッ
テ居リマス、隨テ代表取締役ガ居ナケレバ、
取締役全員ガヤラナケレバナナイコトニ
ナルノデアリマシテ、之ヲ怠リマシタ場合
ニハ、ソレ等ノ者が責ヲ負フコトニナッテ
居リマス、ソレニ對シテ是ハ酷ニ過ギルト
云フヤウナ御意見モアツクヤウデアリマス
ルケレドモ、一面現重役ノ現在ノ住所ヲ一
般ニ知ラシメテ置クト云フコトガ、公示ノ
原則カラ來ル當然ノ必要デアリマスルカ
ラ、ヤハリ其登記ヲ怠リマシタ場合ニハ、
一定ノ制裁ヲ必要トシマスルガ、其場合ニ
當該取締役ダケノ責任ニ致シテ置キマシタ

ノデハ、此登記ノ履行ト云フコトハ期セラ
レナイカト存ズルノデアリマス、デアリマ
スルカラ代表者がアレバ代表者、代表者が
無い場合ニハ取締役全員ト致シマスルコト
ハ、寧ロ必要デハナイカト考ヘテ居ル次第
デアリマス

○野村委員長 ソレデハ本日ハ是ニテ散會
致シマス、明日ハ午前カラ施行法案ト有限
會社法案ヲ審議致シマス

午後四時二十六分散會